

ばんえい

DRAFT.RACE

NO. 13



市営競馬施行30周年
市協設立15周年

Y.R.

北海道市営競馬協議会

人馬一体
苦節30年の歩み



本会設立15周年
市営競馬施行30周年

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 会報発刊に寄せて..... | 3 |
| 「一部事務組合」今昔..... | 4 |
| ばんえい30年を顧みて..... | 5 |
| 市営競馬30周年北海道市営競馬協議会設立15周年に寄せて..... | 6 |
| 市営競馬施行30周年市協設立15周年を迎えて..... | 7 |
| 2 開催増と場外発売をやつと前年確保の厳しい年..... | 8 |
| ばんえい競馬の今昔..... | 12 |
| ばんえい競馬調騎会20年を振り返つて..... | 13 |
| 農林水産大臣賞典競走3勝馬..... | 14 |
| アメリカの競馬..... | 15 |
| 産業功労賞受賞の喜び..... | 19 |
| 1、000勝の思い出..... | 21 |
| マスコミに取り上げられたばんえい..... | 23 |
| 女性と子供に狙いをつけよう..... | 28 |
| ばんえい競走広報活動実施状況..... | 29 |
| ばんえい便り..... | 30 |
| 各地の祭典ばんば..... | 34 |
| 昭和57年度北海道市営競馬協議会馬産奨励者名簿..... | 38 |
| 昭和58年度番組編成要領..... | 46 |
| 昭和57年度リーディング..... | 48 |
| 昭和57年度賞金受賞ランキング..... | 49 |
| 昭和57年度種雄馬ランキング..... | 50 |
| 昭和57年度道、市営競馬成績..... | 51 |
| 昭和57年度引退馬..... | 52 |
| まだ日本に輸入されたことのない馬の紹介..... | 60 |
| 市営競馬30年の歩み..... | 61 |
| 北海道市営競馬協議会15年の歩み..... | 65 |
| 市営競馬施行30年の発売額及び出走頭数調..... | 67 |
| 年度別予算額及び職員・嘱託員数調..... | 68 |
| 昭和58年度市営競馬日程表(予定)..... | 72 |
| 昭和58年度道営競馬日程表(予定)..... | 72 |

会報発刊に寄せて



北海道市営競馬協議会

会長 坂 東

徹

昭和二十八年に地方競馬のヒノキ舞台に乗

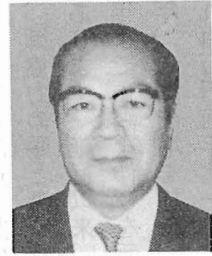
た。

り、競馬法上の競走に認められてから、満三十年を迎えたことは感無量であります。顧りみまずと地方競馬にあつては類をみないしかも世界で一つしかない競馬であるだけに、社会的、経済的に幾多の苦難時代を経て今日に至りましたが、当時、先見したよりこんなに大きく成長することができましたことは、驚くばかりであります。これもひとえに農林水産省はじめとし北海道、関係諸機関・団体の御指導、御協力の賜と深く感謝の意を表すものであります。施行以来、開催成績は昭和五十五年まで順調な伸びを示しておりますが、昨年、二開催増を加え、総額二百四十九億六千九百万円前年比一〇〇・七%とわずかながら増えたものの一日平均前年比において、九〇・六%と二年続いて大幅な減となり、不況に強いといわれた定説はもろに崩れまし

今や経営収支は一段と悪化し極めて憂慮すべき事態に直面、その先行への不安は想像に絶するものがあります。すでに昨年の時点で地方競馬の三分の一が経営危機にさらされている状態にあるだけに、現下の不振を打開するため、開催成績向上のための制度や運用の両面の改善が緊要とされていることから、この際、四主催者が現下の状況にかんがみ共通認識に立つて当面実施しなければならぬ振興策を分析し、共同で実施可能なものは共同で、どうしても共同で不可能なものは相互に情報交換し合つて実施するという決意でござまなければ、ばんえい競馬を維持することは至難な状況に追い込まれていくのではないかと案ずるものであります。特に、昭和五十六年からの入場人員は著しく減少傾向にあり、ばんえい全体にみても今後大幅に増えること

はまず期待することはできません。その意味からも「ファン獲得の競争時代」に入ったという認識をもたなければならぬと考え、それだけに共同運命体、共存共栄の精神はいまにして發揮しなければならぬことを強調せざるを得ません。しかも競争の厳しい時代を迎えた以上、満三十年を契機として、企業の原因に立ちかえり、企業意識に徹し慣行にこだわることなく、しかも時間的な成長力をめざし現状はもろろんのこと八十年代の後半さらには九十年代を展望し、ばんえい競馬独自の当面実施すべき振興策の具現化に着手しなければ競争から脱落する恐れさえ覚えます。今年には市営競馬施行満三十年・市営競馬協議会設立満十五年という二重の記念すべき年であり、それにふさわしく、懸案であつた職能分離の完全実施、一部事務組合の方向づけ、さらには、相互場外の本格的な始動がされるという意義の深い年でもあります。このことが、直接的、間接的に不況脱出の原動力となるよう大きな期待をかけるものです。三年連続の落ち込みに歯止めをかけ、四主催者とも開催が好成績で終了されることを心から祈念するとともに多くの方々を支えられ満三十年を迎えたことを改めて感謝し、心から本当にありがたうございますと申し上げごあいさついたします。

「一部事務組合」今昔



旭川市営競馬開催執務委員長

旭川市審議員 多田政明

低迷をつづける地方競馬の現状を考えると

き、市営競馬施行三十周年並びに市協設立十五周年記念を、どう意義づけ、今後、どのような姿勢で、どの方向に踏み出すべきか、むずかしい。しかし、避けて通るわけにはいかない、厳しい選択が迫られているように思う。

景気回復も、ここ当分見込薄の状況下で、いえることは、一日も早く、一部事務組合を結成し、効率的な競馬運営を図ることであろう。すなわち、収益日程の設定、相互場外による収益増大の追求、このことに、いい尽くされるのではないだろうか。

一部事務組合設立についての、四市の努力は、十数年に及ぶ、その経過は、大方の皆様御承知なので、ここでは省略したい。

一昨年十月より、道を含め、事務組合設立へ向けて、スタートラインについた。

われわれも、不透明な、現況を踏まえ、これが打開のためにも、積極的な姿勢で参加す

るつもりである。

四十二年頃からであろうか、すでに、一部事務組合をつくり、公正競馬を執行しようという構想があり、四市で真剣に協議を重ねてきた歴史がある。

その頃の想い出話のだが。

当時、岩見沢の川村市長は、将来的には、

平地競馬を、という考えを、おもちのようであつた。そのようなことになれば、四市の、

ばんえい競馬の結束が乱れ、とりかえしのつかないことになる。このことが、部長会の話

題となり、この際、川村市長にお会いし、その

心底を、お聞かせいただくと共に、是非、

ばんえい競馬に踏み止まってもらい、四市強い

絆のもとに競馬運営をはかって行こうとい

うことになった。帯広市の木呂子部長、北見

市の栗村部長、岩見沢市は、川村市長の実弟

で温厚な川村部長、旭川は私（農政部次長）。

謹厳実直、古武士の風格を、そなえられた

川村市長と面接するに当って、事前打合せをし話しの切り出しをどうするかなど、真剣に考えたものである。

結果は、当面、そのような考えはないということで、安堵したものである。

紙面に余裕があるようなので四十二年頃の、もう一つの想い出話しをしてみよう。

当時、四市の競馬実績は、上昇の途を辿り、ファン層も、ファンニーズも急激に変化しつつあつた。このような状況の下で、道競馬協力の

会の派遣職員に頼つての競馬執行では、一朝有事の際、主催者は、いかに対処すべきか？

このあたりで、主催者の主体性を確立すると共に、懸案である一部事務組合の推をも図

るべきであるという四市共通の認識に立ち、競馬のエキスパートを採用しようということ

になった。

それで、協議の結果、当時現役のバリバリであつた現、鈴木局長をスカウトすることに

なつた。全権大使は、同期であり、親友ということ

で、私が指名され、琴似の自宅に要請に行つたが、見事に断られてしまった。その

時の情景、詳細については、この場合避けることとするが。

十数年振りに、市協の局長という立場で再会することになったのだから、人生のキビを、しみじみと感じさせられる今日、この頃である。

ばんえい三十年を顧みて



帯広市営競馬開催執務委員長

帯広市農務部長 菅原靖夫

昭和二十八年に、市営競馬が発足してから三十年を迎え、古くから競馬に関係している私として、現在のばんえい競馬の目覚ましい発展を思うと、万感胸にせまる思いがします。

又、市営競馬協議会設立十五周年、平地競馬に追いつき追い越せを合言葉に今日の近代化されたばんえい競馬が確立されたことは、市営競馬協議会事務局長をはじめとする職員一同のご尽力に、ほかならないと感謝する次第です。先日、書物を整理しているとある一冊の雑誌に目がとまりました。

それは、市営競馬二十周年と、帯広競馬場の新築を記念して「ばんばを語る」という座談会の内容を記した記念誌でした。出席者は、今は亡き大原喬平氏（元帯広競馬協力会会長）、山数栄氏（元同副会長）、西谷幹雄氏（前帯広地方競馬審議委員会委員長）、現在、帯広競馬協力会会長の中橋政市氏、前市営競馬協議会事務局長の内田靖夫氏他、数名で皆さん

は平地より多い。この歓声は馬が止まる時に上がる、「ウワー」という歓声が上がったり止まったりするところにばんえいのおもしろさがあると。以上、読むままに申し上げましたが、これらの諸先輩の並々ならぬ辛苦と努力により今日のばんえい競馬の発展があつたものと、私共は胸に刻み「ウワー」という歓声をさらに大きな歓声へ上げる責任と使命があると痛感いたします。

ばんえい競馬も二年連続して売上が前年を下回る結果に終り、いよいよ過渡期を向かえ、今までの「私益」的考えから脱却し、「公益」的考えの時代に入った感を強くいたします。

今こそ、主催者、馬主会調騎会が、三位一体となつてこの不振を深刻に受け止め、将来の展望に立つた魅力あるばんえい競馬をみんなで作え、実現しなければならぬと思ひます。そのため、早急に主催者を一本にした事務組合を設立し、相互場外馬券の発売、単調なレースからの脱皮、冬期間開催の研究等、勇気をもつて立ち向かい検討していくことこそ、ファンに親しまれる魅力あるばんえい競馬の実現となることを強く確信します。最後に、ばんえい競馬の発展に寄与された諸先輩の方々、馬主会、調騎会の方々に深く感謝を申し上げるとともに、今後、より一層のご協力ご支援を願うものです。

今日の帯広ばんえい競馬の基礎を築かれた草創のメンバーの人達でした。読んでいくうちに、昭和二十八年の開催にこぎつけるまでの苦労話しや、開催中、協力会会長自ら、場内取締で頑張つた話（職員不足のため）、又、一日の売上げが百八十万〜二百万円ぐらいで収支トントンにするのが精一杯であつたこと、それから、馬集めには大変な苦労をしたこと、その頃、旅馬（ばんえい專業馬）が少なく地元の馬車馬や農用馬を競馬協力会の人達にお願いして十勝管内を奔走していただいて、ようやく集めたことなど、いづれにしても当時と今日では公正競馬、運営、ファンサービスとも、隔世の感があり、よくやってこれたものだと、内心想い起こすたびにひや汗が出る思いがします。又、内田さんは、このようなことを言っていました。それは、ばんえい特有のおもしろさを失くしてはならない。ばんえいファンが「ウワー」と上げる歓声

市営競馬三十周年

北海道市営競馬協議会設立十五周年に寄せて



北見市営競馬開催執務委員長

北見市助役 横道 武

昭和二十六年競馬法が全面的に改正されてのち、旭川市、岩見沢市、帯広市、および北見市の四市関係者の努力が実り、待望の地方競馬開催の指定認可を受けて、昭和二十八年市営競馬を開催して以来本年度で三十周年を迎えることができましたことは誠に同慶に堪えません。

又、昭和四十三年、四市の連帯協調をはかり、相携えて地方競馬の公正、明朗化を推進し、健全で円滑な競馬の運営の発展に寄与すべく北海道市営競馬協議会が設立されてから十五周年を迎え、この二重の喜びを関係各位とともに深くかみしめ、改めて意義深い年であることの認識を強くもつものであります。

過ぎし三十年を顧りみますと、戦後の国民生活が、やっと安定しかかった昭和二十八年、旭川市、岩見沢市、帯広市、北見市のほか、

小樽市、室蘭市共々、各市それぞれの思惑をもって市営競馬開催の認可を得たものと思われませんが、当時は勝馬投票券の発売金額も少なく赤字続きのため、小樽市、室蘭市はあいついで廃止してしまいました。もちろん北見市においても赤字経営ではありましたが、当時の市長の信念「競馬事業の赤字は、市全体の経済の潤いで充分」ということで続けられたいもので、今日では一般会計への繰り出しもできるまでに発展をみたものです。

しかし、ここ数年來の経済環境の悪化、レジャーの多様化等に起因していると思われる入場者数の減少、勝馬投票券発売金額の減少は大巾なものがみられるにもかかわらず、開催経費は高騰するばかりであります。これらを克服し、なお一層の発展をみるべく主催者としても勝馬投票券の場外発売の実施、広報

活動の充実、ファンサービスの設定等、企業としての努力をしております。さいわい地方競馬全国協会においても昨年七月、第四次企画調査委員会を設置し「現下における地方競馬の振興策如何」ということについて検討を加えられ、その振興策も報告されており本年度より徐々に実施にうつされその効果が期待されるわけですが、主催者としてもまた北海道市営競馬協議会としても関係者一体となり、その総力をあげファンに喜ばれる競走や施設の改善に取り組み、多様化したファンのニーズに応えられる競馬運営を心がけなければならぬものと思えます。

本年、市営競馬三十周年、北海道市営競馬協議会設立十五周年を迎えたことをひとつの節目とし、新たな思考を加え、現在山積されている問題の解決を図りつつ今後、益々の隆盛を祈念してお祝いの言葉といたします。



市営競馬施行三十周年

市協設立十五周年を迎えて



岩見沢市営競馬開催執務委員長

農務部長 谷村 寿 昭

営も曲がり角とも考えられるところであり、すが私達は今、かつて先人の経験したものと異なる誠に厳しい試練に直面しこの試練を乗り越えて明日の市営競馬のすすむべき道を切り開いて行くことこそ、現代に生きるものの責務であると存じます。

市営競馬施行三十周年、北海道市営競馬協議会設立十五周年を迎えるに当り、岩見沢市営競馬を担当する一人として謹んでここにお喜び申し上げます。

昭和二十八年市営競馬が施行された当時としては戦後の混乱期にあり、また、新しい制度としての競馬法が施行された直後でもあり、社会的、政治的にも極めて不安定な時代であったことと思います。

市営競馬施行以来今日までの三十年間に、社会的、経済的に変転窮まりない日々であり、この間幾多の苦難、曲折を経て今日の一般大衆の健全娯楽としての「ばんえい競馬」が発展し、近代的な競馬事業への形成のためにも諸施策が次々と進められていますことは、誠に心強い限りでございます。これはひとえに

先輩各位の競馬事業に対する御熱意とご努力の賜と深い敬意を表する次第であります。

この間昭和四十三年にばんえい四市の連絡協調とばんえい競馬の公正明朗化推進のために北海道市営競馬協議会が設立され、本年は意義深い十五周年を迎えることとなり、関係機関協調のもとに年々発展、充実がなされ、今日の市営競馬の発展の基礎を築いておりますことは、関係職員の日々努力の賜と感謝にたえません。

今日の市営競馬の収益は畜産振興をはじめ、地方財政に大きく寄与しておりますことはいうに及ばず岩見沢市発展の礎となり、競馬事業はその成果が期待されております。しかしながら近年の競馬事業はレジャー産業の多様化と共にその運営が複雑化されておりこの経

問題点はいづれをとり上げてみても共通の悩みでありますだけに、相互に英知を集め適切な対策を打ちたてていきたいものであります。従ってこれらの問題点解決のためには長期的、かつ広域的な展望に立つ対策が講じられなければなりません。

私はこの貴重な体験を基に、今後市営ばんえい競馬の発展のために一層の努力をいたしたいと念じているものであります。

重ねて今日までの三十年間にわたり市営競馬の発展のために御尽力賜りました諸先輩各位並びに関係機関各位の御熱心なご指導、ご協力に感謝申し上げます、この機会に「ばんえい競馬」発展の意識を更に高め大衆娯楽として増々ファンに親しまれるようご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます御多幸を祈念し、市営競馬施行三十周年、市営競馬協議会設立十五周年を迎えご挨拶いたします。

一 開催増と場外発売で やつと前年確保の厳しい年

北海道市営競馬協議会

事務局長 鈴木一彦

今年も厳しい一年であった。

全国的経済環境の悪化、レジャーの多様化、昭和五十五、六年と連続二年の冷水害の影響が尾を引く等で、二十八年間順風満帆で伸び続けてきたばんえいも、昭和五十六年度は、史上初の売上低下を経験し、本年度こそはと淡い期待を持ちながら、四月二十九日北見競馬を皮切りに開幕したが、悪戦苦闘の連続であり、二開催増と北見市営競馬の帯広場外発売で、総売得金額はやつと前年対比微増の一〇・七%を確保できたものの、一日平均売得金前年対比では、全国平均九二・六%を下廻る九〇・六%に低下し、二年連続大幅ダウンの不振な成績で終了した。

(五十七年度を 顧みて)

本年度のばんえい競走は、公正確保を

最重要点とし、開催増に伴う執務体制の増員強化、電算化システム採用による近代化、報償費総額増に伴う厩舎関係者の経済安定化と競馬番組の斬新充実化、ファン感謝デー等のファンサービスの充実を図り、四月二十九日北見競馬を皮切りに二〇回、一二〇日の予定で開催、十一月二十三日の北見競馬を最終日として、全日程を無事終了することができました。

(開催回数と日程)

昭和五十六年十月二十日付で、農水省は競馬法施行規則の一部を改正する省令を公布、北海道における指示回数は三回増の三十七回に改正され、年度途中の關係で北見市の一回増に留まったが、本年度は各市共に五回、計二〇回、一二〇日の開催となった。

四月下旬から十一月下旬までの限られた三〇週で、二〇回を消化する前例のない過密日程となり、中央競馬、道営競馬、市営競馬の三巴の日程調整は困難を極

め、寒冷密集地域の承認を得て、火曜、水曜日も使い、また、岩見沢、帯広両競馬場は連続五開催という変則日程を組まざるを得なかった。

(売得金額)

本年度の売得金総額は二四九億六九四万円、前年対比、一億七三三三万円増(二〇・七%)でしたが、二開催増と北見競馬の帯広場外でやつと前年売上を確保しただけで、一日平均前年対比は九〇・六%に低下して二年連続減少の憂目にあい、経営収支悪化の憂慮すべき事態となった。

各競馬場の売得金額は、

旭川 七〇億三六一一万円
帯広 六〇億六六五七万円
北見 五六億六二八四万円
岩見沢 六二億四四〇万円
で、予算をそれぞれ大幅に下廻り、一日平均売得金の前年対比は、

57年度 (56年度)
旭川 八一・八%(九六・二%)
帯広 一〇〇・六%(七六・六%)
北見 九五・一%(八八・八%)
岩見沢 八三・七%(九一・七%)
平均 九〇・六%(八七・一%)

で、昨年度より若干上向いたものの、五年前の成績まで落ち込む凋落振りである。数字の上では、帯広が前年確保、北見も九五%と健闘した様に見えるが、両場共に56年度の落ち込みが甚しく、特に全国ワーストNo.2のブリービーに転落した帯広

が、やつと前年確保ができたにすぎず、北見も場外発売で何とか息がつけたと言ふ成績であった。

しかし、この様な低調ムードの中で、明るい希望が持たれたのは、テストケースで実施した北見競馬の帯広場外発売での大成功と、北見競馬最終回に実施した農林水産大臣賞典競走において、レレースの売上が一億五二九万円のレコードを樹立し、また、第五回旭川競馬の第十三回旭王冠賞で九〇五八万円の当該レースのレコードを更新する等、番組内容が良く、かつ公正競馬を実施すれば、必ずファンがついてくると言う自信を得たことでもあります。

一人平均購買額(除場外関係)については、五〇九一〇円(前年比一〇四・二%)で、五万円の大台を突破して新記録となった。

(入場人員)

昭和五十五年に念願の五〇万人突破の記録をブイクとし、入場人員は売得金額と同様に低下の一途を辿り
総入場人員 四八一、七三四名
総数 前年対比 九四・九%
一日平均前年対比 八五・四%
と、大幅に減少した。

(除場外)は、

旭川 一四三、三九三名 八〇・七%
帯広 一二六、四五三名 一〇〇・〇%
北見 一〇〇、六五八名 八四・三%

岩見沢一、二、三〇名 七四・〇％
で、岩見沢と旭川の落込みが目立ったが、帯広は奇跡的にも一桁まで同数の一〇〇％を確保することができた。

十五歳以下の子供を含めた入場者は、
男性 四〇六、七一四名 七八・八％
女性 七五、〇二〇名 一四・五％
子供 三四、四五三名 六・七％
合計 五一六、一八七名

男性の比率は前年より〇・五％減少したが、女性が〇・四％、子供が〇・一％増加し、女性と子供の比率が二一％を越え年々「ファミリーばんえい」化の傾向が目立ってきた。

特に五月五日の「子供の日」には、入場者七七一八名中、女性と子供の数が、二七七九名で三六％の高率となり、この比率は恐らく全国一の記録ではなからうか。

（場外馬券発売）

四競馬場相互場外馬券発売のテストケースとして、第四、五回北見競馬の場外馬券を帯広競馬場で十二日間発売しましたが、三億円の前算を大幅に上廻る好成績で終了することができた。

売得金

第四回 一億八、五〇二万円
第五回 二億五、九九五万円
合計 四億四、四九七万円
入場人員
第四回 七、一七二名
第五回 八、一二九名

合計 一五、三〇一名

男性 一三、八四二名 九〇・五％
女性 一、四五九名 九・五％

一人当り購買額 二九、〇八二円
場外発売額比率 一五・九％

一レース最高 二六・九％
一日最高 二一・五％

入場人員は一日平均一、二七五名で、最高は一、九四三名、ピーク時間帯の残留人員は総入場人員の五七％の一、二三〇名のもあり、狭い場内は混雑を極め、一日最高七、〇八二万円の売上の日もあった。

今回のテストケースのデータを基礎として、四場相互場外発売に向って今後強力に推進を図り、電算室担当職員の養成、本場と同時締切、オッズの発表、レースのテレビ放映、混雑緩和対策等山積されている問題点を検討解決し、四場相互場外の完全実施による売上増を図る以外には、この悪化した経済不況を切抜ける道はないのではなからうか。

（公正競馬）

昭和五十年のそり事件、昭和五十二年の油まき事件と、ばんえい競馬の根底を揺るがす悪夢の様な不詳事件が隔年に発生し、その対策として抜本的な施行体制の改革により事故防止に努力してきましたが、その後不詳事件や騒擾事件の発生を見ることなく、本年度で無事故五年を達成することができました。

地方競馬の歴史を省みれば、不詳事件

は四、五年サイクルで惹起するケースが多く、災は忘れたころに起きるものであることを肝に銘じ、五年を一つの節目とし今後この記録を十年、二十年と延ばすことこそ主催者の責務であり、公正確保に寸時も怠せにすることなく開催する決意であります。

施設面での改善としては、

公正審判委員用競走監視VTRがオールカラー化され、判断の正確化と迅速化を図り、また、発生委員室にも公正用VTRを流して、一段と発走と公正の緊密な連携をとり、公正競馬の強化が図られた。

執務体制の強化としては、

新規正職員の二名と嘱託職員二名を増員し、場内整理、獣医、馬場管理、番組編成等に配置し、また、本年度から地全協の発走委員が全開催に派遣される等、全般的に執務体制の強化が図られた。

競走用具による競走中の事故は、公正競馬を害し、ファンの信頼を裏切る大きな要因となるが、十数年来の諸用具改善の中で、最も遅れをとっていたのが併走馬とかじ棒がらみ防止対策であった。

このことにつき、五十六年秋から試作品を製作してきたが、五十七年春の能力検査から全馬に装着させ、九二レース、八六二頭で実験した結果、一件のかじ棒がらみも発生しなかつたので自信を得、試作品をさらに改良し、一部調教師の反対を押切つて旭川競馬から使用させたが、成績は極めて良好で、通常のようによ

るかじ棒がらみは完全に防止することができ、ばんえい競走発足以来三十六年目にして、やっとかじ棒がらみ「事故皆無」の念願を達成することができた。

（競馬番組）

昨年度は大幅な売上低下となったが、本年度の報償費は諸情勢からダウンすることができず、開催回数二回増に伴う増額分を含め、前年比二億円増の二十三億円を計上した。

出走頭数は年々増加の傾向にあり

出走延頭数 一一、六七六頭

競走回数 一、二五二レース

一レース平均 九・三頭

で、それぞれ記録を更新し、多頭数による充実した番組の編成ができた。

特に、フルゲート10頭のばんえい競走としては、初の一日10レース、出走頭数一〇〇頭のオールフルゲートの記録を、第四回北見競馬第四日で達成できた。

賞金は前年並に確保したが、最低一着賞金の底上を実施した結果、一着賞金が一〇〇万円台の特別競走に敵寄せがきて六八レースに減少したが、看板レースであるオーブンクラスの重賞競走は、農林水産大臣賞典競走を最高に、旭王冠賞、岩見沢記念の三大競走は六五〇万円、帯広記念の六〇〇万円、旭シルバークップの五〇〇万円と続き、四〇〇万円台が一レース、三〇〇万円台が一三レース、二〇〇万円台が一二レースの編成となり、ファンに充実した競馬を提供することが

できた。

(出走馬)

出走申込頭数 一、二、三、一頭
出走実頭数 六九九頭
新馬登録頭数 六六七頭
それぞれ約九%の増加となった。

年齢別出走実頭数は、

三才 二〇七頭 四才 一三九頭

五才 一一八頭 六才以上三三五頭

で、前年比六〇頭増の内、%の四一頭が今後のばんえいを背負うであろう四才五才馬で占められているが目立った。

年間受賞額の最高は、十九戦五勝、旭王冠賞を制覇した

ハヤホマレ号 一、七七〇万円

が古馬No.1に輝き、昨年五才馬のNo.1であったキンタロー号が、地全協賞、岩見沢記念に優勝し十一戦四勝で一、六九四万円と続き、キヨヒメ号は、農林水産大臣賞典競走を二年連続通算三回の大記録を樹立して、一、六三〇万円の受賞額となった。

五才馬では、旭川記念、全公営賞に勝上り十四戦三勝の

ヤマトウンリユウ号 一、〇〇一万円
が昨年四才No.1のハイスピード号を迎えてNo.1となり

四才馬では、ダービー一着の

タカラショウウリ号 八二九万円
が王座に輝いた。

三才馬では、開催前からはばんえいのハギノカムイオーと騒がれ、十八戦六勝、

ホクレン賞優勝馬の

ハヤカゼ号 八八三万円

が、タカラタイトル号を一万円のハナ差で抑えてチャンピオンになった。

競走経歴種雄馬の産駒の活躍は、最近目覚しいものがあり、本年度の三才馬でも上位一〜四位まで独占した。

一位 タカラハヤブサ(ハヤカゼ)

二位 タカラコマ(タカラタイトル)

三位 シゲノハラ(ゴールデンスター)

四位 タカラコマ(クログタカ)

五位 楓朝(キンタイコ)

三才馬の重賞競走は、競走経歴種雄馬の産駒で総紙の感があり、特に本年初仔が三才として出走した、タカラハヤブサ号、シゲノハラ号、ムサシ号等現役時代に活躍した種雄馬の二代目が、立派な競走馬として好成績をあげていることは、

馬産の基本的考えである「ダービー馬はダービー馬から」の生産体制に、ばんえい競馬も一歩近づいてきたことは、

大変喜ばしいことである。

馬体重量については、三才馬は若干大型化の傾向が見られているが、総体的には大幅な変化はなかった。

本年度最終馬体重量の一頭平均は

三才 八七〇kg(二kg増)

四才以上 九三四kg(三kg減)

全馬平均 九一五kg(増減なし)

で、平均馬体重量はこれで三年連続九一五kgに留まった。

一トンは五八頭で、三才馬の最高は、タカラタイトル号一、〇一〇kg、四

才以上はマルトダンサー号一、一〇七kgであったが、三才馬の春の馬体検査時に一トン以上の大型馬が二頭も検査を受けたことは、ばんえい史上初のケースであった。

(騎手成績)

調教騎手 四七名(新規三名)

騎乗騎手 三六名(新規二名)

調教騎手の成績は

取得賞金 林 正男 六、七三九万円

勝 率 中西関松 一六・四%

勝 率 中西関松 五九勝

が、それぞれ第一位となった。

騎乗騎手の成績は、

取得賞金 金山明彦 一億二、二九二万円

勝 率 工藤正男 一八・七%

勝利度数 工藤正男 一二七勝

が、第一位となったが、取得賞金一億円を突破した者が、工藤正男、尾ヶ瀬富雄の兩名が居るので、一億円騎手三名誕生の記録となり、また、年間勝利度数は昭和四十九年金山明彦が樹立した一二〇勝を、八年振りに更新された。

金山騎手は昨年度はスランプで六九勝に留まったが、本年度は一一六勝で年間

一〇〇勝突破八回目と記録を伸ばし、第一回岩見沢第三日第一レースにおいては、

ダイリンエース号で念願の一、〇〇〇勝を達成するばんえい史上初の大記録を樹立した。

新人騎手の西康幸は三六勝の好成績であり、小林勝二も二五勝で兩名共に☆印

がとれる活躍振りであった。

ばんえい界の重鎮中西調教師は、競走成績もリーディングトレーナーに輝いたが、永年に亘る産業用馬の育成調教とばんえい競馬隆盛の基礎を築いた功績が認められ、八月八日に開催された、帯広市開基百年市制施行五〇年記念式典において、「産業功労賞」を授賞されたことは、特筆すべきことであった。

(馬産対策)

道内の農用馬飼養頭数は、昭和五十五年の二一、六九二頭を最低に、昭和五十六年度から上昇カーブに向ってきた。

本年度も前年対比一、六一八頭増の一五、二二〇頭に増加し、特に十勝、網走地区の約五〇〇頭増と渡島地区の三〇〇頭増が目立った。

昭和四十八年度から実施している本会の生産奨励事業が徐々に実を結び、競走馬と肉資源の確保にやと愁眉が開かれたところである。

しかし、頭数は確保されつつあるものの、価格は下落の一途をたどり、ばんえい競馬の一日平均売得金が昭和五十二年頃に凋落したと同様に、二才馬のせり市場平均価格は昭和五十二年頃の価格まで下り、六二一、五〇〇円で、前年比六七%の安値となり、昭和五十五年迄過熱気味に昂騰し続けてきた馬価格が、昨年から雪崩現象に入った事は、馬生産者に与える影響は甚大なものがあり、この憂慮すべき事態を回復するには、一日も早い

経済状況の回復を待つしかないのではなからうか。

全道各地の農業団体及び馬事振興団体が組織されている「北海道純用馬振興対策協議会」が、本会の事業補助金二〇〇万円の援助を受けて、本道における最初の「第一回北海道優良種馬展示会」を九月三日帯広市において開催したが、全道各地から馳参じた優良種馬約七〇頭が、一同に会した壮観さは生産者に対し強い刺激となり、今後の優秀な競走馬生産に良き参考とされることを念願するものである。

(施設改善)

昭和五十六年度の大規模な売上ダウンが影響し、各競馬場共に大規模な施設改善については予算化することはできず、小規模な部分改善に留まるを得なかった。

しかし昭和五十五年から発足の第三次企画調査委員会で検討されていた、中央情報処理電算化システムが、本年度から全国競馬場で採用が決定し、ばんえい競馬四場及び本会に四月から端末機が設置され、第一回北見競馬から電算機の使用が開始され、複雑な事務処理の合理化、情報の有機的かつ多目的利用による運営の改善等、時代に即応した電算化システム時代を迎えることになった。

スムーズな操作ができるまで、若干の期間を要したが、番組編成に、成績表の作成に、賞典事務処理にと多目的に活用してその成果は一応あつたが、まだ部分

的に改善の余地も多々あり、その早期解決が問題点として残された。

(ファンサービス)

本年度は各競馬場共に、例年のないファンサービスに努力した。

詳細については「別途掲載」してありますが、各場共に「ファン感謝デー」の日数を増加し、それぞれ趣向をこらしたノベルテイの贈呈を始め、旭川ではキャラクターネーム募集でバイク一台の抽せん、ビッグプレゼントとして折たたみ自転車一〇台、ヘッドホーンステレオ一〇台、超薄型カメラ一〇台、マイクロテレビ付ラジオ一〇台の豪華賞品の抽せん会、帯広ではお楽しみ抽せん会でオリジナルTシャツとスポーツタオルの贈呈、音楽隊とバトントワラーズショー、北見では五月五日子供の日には子供用自転車一五台、ウオークマン一〇台のプレゼント等々、数々のファンサービスを実施し好評を得ました。

また、岩見沢では婦人競馬教室の開催で、四五〇名の女性入場者があり大盛会であつたこと、帯広では美人コンパニオンを四名配置して好評であつたこと等、例年のない新企画で努力しました。

しかし、何と言つてもファンサービスの筆頭は、北見競馬の場外馬券を帯広で発売して大好評を得、相互場外発売の大きな足がかりとしたことであり、また、例年通り第八レース以降についての重複のみ前売を実施して、ファンサービスを

図つた。

(昭和五十八年度に向つて)

平地競走の低迷を後目に、昭和五十五年度迄は二桁台の躍進を続けてきたばんえいも、昭和五十六年度にはかつて経験したこともない厳しい事態で終り、本年度も経済好転の兆しも見られないまま、二年連続売上ダウンの最悪の年となつてしまつた。

しかし、意気消沈し手をこまねいているばかりでは、この憂慮すべき事態を切り抜けることはできず、創意工夫をこらして運営改善に努力しなければならぬ正念場の年となつた。

昭和五十八年度は、市営競馬施行三〇周年と併せて本会設立十五周年に当りますが、ばんえいの歴史の中での一つの節目として、この二つの記念すべき行事を迎えるに当り、これを契機に暗雲低迷する全国的な不況を一気に吹飛ばす年として、鋭意努力する所存であります。

この不況を切り抜ける活路は、ばんえい競馬だからこそ実施できる四場の相互場外発売に求めるのが、最も確実な手段であり、昭和五十八年度は、相互場外の第一歩として、帯広と北見が手を結び、それぞれ五開催の場外発売を実施する予定であります。秋の旭川競馬の場外を北見で発売することも検討中であり、近

い将来の夢である、四競馬場間での相互場外発売に向つて、大きく一歩前進することになりました。

また、前売発売についても、北見で実施していますが、その他の競馬場でも、目下前向に検討中であります。

ばんえい競馬四主催者で設立する一部事務組合については、昭和五〇年以来、難産に難産を続けながらまだ産声を聞くことができませんが、昭和五十七年に入つてから、北海道を含めた五主催者による一部事務組合設立の機運が高まり、前向な検討が進められておりますが、経営の合理化、執行体制の一元化と強化等、メリットの多い組合が、一日も早く設立できることを願うものである。

昭和五十八年度の競馬は、四月二十九日旭川競馬で開幕、二〇回、一二〇日を開催し、十一月二十八日帯広競馬で終了する予定であります。この不況を乗り切るためには、信頼される公正競馬の開催を第一とし、企業的センスに基づく運営、経営の見直しによる合理化、女性と若年層のファン開拓等を重点に、ファンに愛される「ファミリーばんえい」として、懸命に努力する決意でございます。で、何卒よろしくご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



ばんえい競馬の今昔



北海道ばんえい競馬馬主会
会長 松浦慶三

昨年十月本会設立二十周年記念式を挙
行し、ばんえい競馬の二十年を振り返って
見ました。

世界に唯一しかない、北海道ばんえい
競馬もすっかり近代的競馬に改革された
跡が歴然としており、隔世の感を深くす
るところであります。このことは、主催
者と厩舎関係者の不断の努力の結晶であ
ると思うとともに、これからもこの貴重
品とも言うべきものを、大切に守り育て
て行きたいと念願するのであります。

その昔のばんえいは馬集めが一番大き
な仕事で、野良で働く馬を狩り集めたり
等苦労しておりましたが、今では三才馬
だけでも七七〇頭の登録と、それから敵
しい能力検査を受けて、出走権を握る馬
はその三分の一と言う盛況となり、馬格
もその当時五五〇kgでも出走しており

したが、今では一ト級がざらと言うよう
に、ばんえい競馬の馬産改良に果たした役
割の非常に大きかった事を痛感致します。

馬主として最高の満足感、自分の馬
が優勝したときであります。馬の眼に何
物にも替え難い魅力を感じる、この眼を
見たときどの様な苦勞も忘れる事の出来
るのが馬主だろうと思えます。馬主にと
って勝負の世界はきびしく、馬の選定に
ついて大いに心をくばるものです。血統
的に実績があり、雄大な馬格をもち、勝
負根性のしっかりした強い馬を得るのは、
非常にむずかしいがそれを得たときの喜
びは、又馬主のみが楽しめる最高のもの
であります。

古来日本の歴史の中で馬と人とのつな
がりは深く、各地に馬にちなんだ銅像が
名所になっております。

地方競馬全国協会が毎月発行している
機関誌の表紙は、馬の玩具を日本各地よ
り収集紹介し、今なお続いております。

日本の各地方地方に生れた、馬を題材と
したコレクションは何百種になるであろ
うか。素朴な藁細工や木彫のものが大半
のように思うが、そのほか各地の神社に
掲げてある神馬、又、文化財としての相
馬の野馬追、流鏑馬、チャグチャグ馬つ
子、駒踊等々、これほどに古き時代から
民族の発展と馬とのかわり深いよう
な気がする。

戦後機械化が進み、北海道開拓の中で
三十万頭に及んでいた馬も、今は二万頭
と激減し、僅かに競走馬資源として残っ
ているようにも思えます。しかし、産業
用馬として又肉資源としての需用も、農
業経営の中に占める畜産の一部門として、
北海道農業の重要な部門であり、ばんえ
い競馬が果している役割も大きいものが
あります。このように人類の生活と密着
した競馬は、凡そ他公営競技とは異り、
単にギャンブルを求めるのではなく、こ
よなく愛着をもつ人との触れ合いの中か
ら生れたものと思えます。

事務局が独立して十年たちましたが、
特に馬主経済と最も関係の深い競走馬の
共済事業は、昭和四十九年度に始めてか
ら現在まで九年間に、へい死又はト殺一
三九頭、休養馬一二三頭、共済支払金一
億二、五〇〇万円を支払っております。

これを道営競馬と比較して見ますと
昭和五七年 ばんえい 道 営

へい死又はト殺 一六頭 一四頭
治療休養馬 七頭 九二頭
用途変更 七頭

計 二三頭 一一三頭

となっており、しかもばんえいは業務
中の事故で、競走中の事故は殆んどない
が、道営の競走中もの七〇頭に達して
いる、事故にあった方には気の毒ではあ
るが、道営と比較するときは危険の慶合
が極めて少いことが判って頂けると思
います。

臨時家畜市場についてはテスト落馬や
停年馬を対象として、毎年二百数十頭の
出場馬の市場を開設し公正な消流に寄与
してきました。

幸い各主催者に於ても年々高まるファ
ンに対応して、スタンド及びきゆう舎の移
転新築を始め、目を見張るような近代的
設備に改善せられ、家族連れで楽しめる
レジャーの場として整えて頂き敬意を表
しているところであります。

売上を見て隔世の感を深くする急上
昇を見て、きゆう舎関係もプロとしての
地位を確立されてきましたが、近年世界
経済をいうか、日本経済というか不況の
アオリが競馬界にも及んできました。

今後はやはりより多くのファンが明る
く楽しめるレジャーとして、相互場外発
売や、テレホン投票発売、通年開催等に
発想の転換を図り、勇気をもって取組ん
で頂くよう念願する次第であります。

ばんえい競馬調騎会

二十年を振り返って



北海道ばんえい競馬調騎会

会長 晴 披 孝 治

ばんえい競馬調騎会二十年の歩みという課題で原稿の依頼を受けましたので、思いつくまま記録を辿りながら振り返って見たいと思います。

昭和五十七年一〇月六日旭川市北海ホテルに於て、北海道ばんえい競馬馬主会調騎会設立二十周年記念式が、関係者多数出席の下に盛大に行われました。一口二十年と言ってもばんえい競馬にとつては、随分変革の多かった二十年と思います。

当時を記憶と記録で振り返って見ますと、昭和三十七年は地全協が設立され、本会も又設立された年(初代会長長谷脇光則氏)であります。当年の騎手免許者(地全協免許前)三四六人、出走馬は北見一二六頭、旭川二七九頭、帯広二六五頭、岩見沢一四二頭で、開催回日数、八回三八日、

六枠制で、U字コース、肉眼による着順判定、馬の格付は主催担当者と協力員の協議による体型区分によっておりました。

(昭和三十九年より金馬重量制となり、現在は取得賞金制となつてゐる)。又スタンドも木造、厩舎に至つてはバラック的なものが多かった。売得金は四市合計で昭和三五年一・三億円、昭和四〇年で四・三億円であり、一日平均三八〇万七〇〇万、入場人員、一日一〇〇〇人前後と記録されております。私は昭和三十年頃から水田耕作の合間を見て、旭川競馬場に出場し、二三年後から各市の競馬場に出場する様になり、昭和三四年頃から本格的に取組むようになりました。

この様な姿のばんえい競馬も主催者の並々ならぬ努力の積み重ねの結果、現在では各競馬場共新設され、さながら一大

遊園地、スポーツ公園と言つた感を呈しております。今日までに改善されたものを拾つて見ても、対面決勝判定写真、直線セパレートコース、八枠制、VTRパトロール、騎手服の指定、裨別帽子、鉄ソリ、重量物、スターティングゲート、着順電光掲示板、赤外線水分測定、窓口電算化、他競走用具の改善等数々の改善が行われております。厩舎関係も、調教騎手四七人、騎乗騎手三六六人、出走馬六五〇頭となつており、現在二十開催、一二〇日となり、売得金二七〇億、一日平均二・六億円と、超飛躍的な成長を遂げておりますが、二十年前と比べ全く隔世の感を深くするところでありませう。

しかし一、二年全国的な経済不況の波を受け、且つて上昇率全国トップの座を確保した事のある、ばんえいにもきびしい春を迎えていると言えましよう。

これ等の中にあつて働く厩舎関係者は渡り鳥人生と言われております。雪深い北国の早春一台のトラックに家財道具一通り積み、馬運車に馬を乗せ四市にある競馬場へと向う、今では各競馬場共厩舎も新装改築され、まあまあ小奇麗な所で起居するようになったけれども、以前は仮設小屋の生活であつた。それでも手早く用具の配置をし、厩舎生活が始まる。

そして一場の競馬が終わると、又馬と人の移動が始まる。段々慣れて短時日の中に完了するようになったが、その時の忙しさはすさまじい。まさに「サーカスのドサ回りと同じである」、それでも馬が大

好きてこの道に入ったものにとつては、やはりばんばとの縁は断ち切れない、このようにして六く七回の移動を繰返して一年を終り、又我家へと戻る。

子供の小さい内はいいが、学校に入るようになると、おばあちゃんの家へ預けて夫婦で歩くか、又は単身となる、若い人には大変な所である。競馬の世界に生きるものの宿命も言えばそれまでだが、渡り鳥人生と言う言葉がまさに当てはまる様に思う。

そして、厩舎の中はガードマンによつてガツチリとガードされ、生活物資の買物も中にある売店だけ、電話も一々チェックされ、外出も厳しい制限を受ける、まさに隔離された、三百数十人の集団である。明日の競走に向け競走馬の調教にはげむ、勝負の世界に生きるものたちの集団である。こうした中にある厩舎生活にも人間らしい潤いがほしい、共同生活の中にあつてもお互の協力を保ちたいと思う。この点は厩舎側でも考えなければならぬが、主催者に於ても考えて貰きたい。

競馬に生きるものとして大衆ファンに信頼され支持され、より発展を期する事がおのれを守る事でもあるので、公正競馬には協力して参りたいと思う。ただ、主催者は改革を急ぐあまり、却つて公正を害する事悲にならないよう慎重な対処を望みたい。

事務局の独立は昭和四十八年でありますが、競馬施行も近代化へ向け、毎年毎

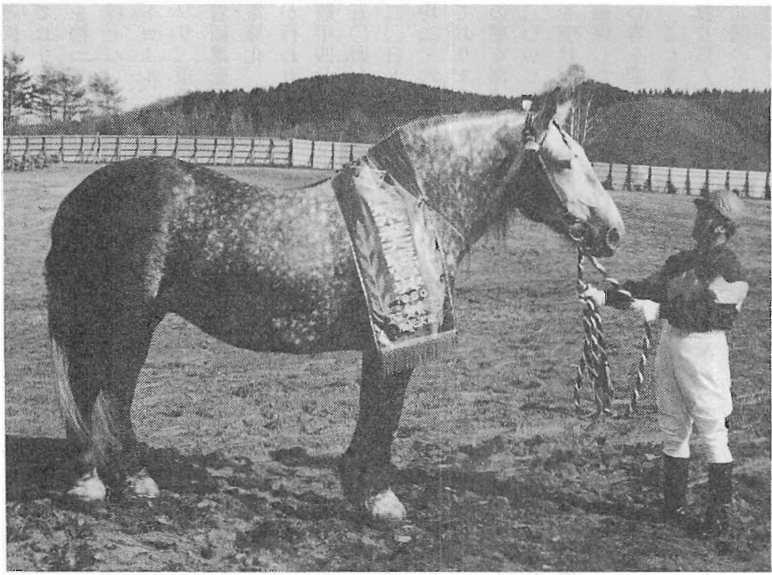
年改善を加えられ売上も急上昇を続ける中で、我々厩舎側に於ても改善すべき多くの課題が起きてきました。それは競走馬の共済事業や、テスト落馬の消流対策、厩舎関係者の服装の統一（特にフアンの面前に出るものいわゆる調教師や騎手）及、会員の共済福祉対策、売上増を伴う報償費のアップ等々ありました。年次を追って馬共済事業発足準公傷見舞金交付事業の移管、調教服、騎手ヘルメット、グランドコート、調教用ヘルメット等の着用統一、厩舎内健康診断他数々の厩舎レクリエーションの開催、さらに福祉対策としての労働保険加入による短期雇用保険金の受給並びに労災保険の適用による事故者（毎年二〇人前後）に対する治療費や休業補償等を受けております。又昭和五三年より調騎会に勇退々職制度を設け、毎期一万円の積立を行い、勇退又は退職者に退職金を支払い、勇退による新陳代謝を容易にすべく、実施しているところでありませう。

最後に、私の一番楽しく嬉しかった事は、昭和四八年大井競馬場で行われたばんえいアトラクションであります。北海道のみのばんえい競走が、本場東京に於て行われた事の意義はPRとしては満点であったと思います。金山騎手ばんえい史上初の一〇〇〇勝の記録を、昨年六月二十二日岩見沢に於て達成した事。

中西調教師、帯広開基一〇〇年に当

り、市政功労者として産業功労賞を受賞されました。馬と共に勝負も振らず幾多の苦難を乗り越え今日を迎えた往年の名ジョッキーに与えられたもの、競馬の世界では始めての事。お二人に万雷の拍手を送り、今後の御多幸を祈ると共に私にとつても一番嬉しく思うところでもあります。近年の不況のアオリの中にあつても、厩舎生活者として楽しい職場でありませうに、そのためにも主催者と一体となつて公正競馬に努め、不況を乗り越切る事に努力する事を誓い措置致します。

農林水産大臣賞典 競走3勝馬



本年度ばんえい競走の実力ナンバーワンを決める「農林水産大臣賞典」は十一月二一日、一着賞金六五〇万円をかけて北見競馬場で実施された。

このレースには、チャンピオンカップ、旭シルバークップを制したキョウエイ全協賞、岩見沢記念制覇のキンタロー、旭王冠賞制覇のハヤホマレ、過去二勝しているキヨヒメなど壮々たるメンバーの中、雌馬キヨヒメが五分余の熱戦の末三度目

の制覇をかざった。

◎昭和五四年十月二一日 旭川
天候 曇 馬場水分六・五% 山田騎手
タイム二分三六秒八 重量九九〇kg

◎昭和五六年十一月一日 帯広
天候 雨 馬場水分三・四% 水上騎手
タイム四分一六秒八 重量九九〇kg

◎昭和五七年十一月二一日 北見
天候 曇 馬場水分一・五% 水上騎手
タイム五分〇九秒六 重量九九〇kg

キヨヒメ号
昭和49年4月10日生 雌9才
生産地 紋別郡興部町
生産者 松島太市

父 ペル 楓朝 < ペル系系
母 重系 豊榮 < 重系系系
馬主 林 タイ子男
調教師 林 正 男

ブ一 緑月永
ン朝 蘭第2福

アメリカの競馬

帯広市農務部長

菅原 靖夫

10月1日から10月16日までの16日間、

全国公営競馬主催者協議会主催による、アメリカ、カナダの競馬事情調査視察研修団の一員として参加する機会を得まして初めての海外旅行を無事終えることができましたので、そのあらましを記したいと思います。

10月1日午後6時30分成田発、機内13時間、途中どこにも立寄らないため世界で一番の長距離飛行と言われている。時差が13時間あるのでその日の夕方ニューヨークケネディ空港に着く、いよいよ我々が外人だ、税関で早くもどぎまぎ先が思いやられる、ホテルでぐっすりと思つたが朝早く目が覚めてしまう。これが時差ボケが慣れるまで大変だ。

ニューヨーク

10月2日ニューヨーク市街見学

ロックフェラー広場―スラム街―チャイナタウン―ウォール街―自由の女神―世界貿易センター―国連本部―カーネギーホール―ブロードウェイ

又10月3日はフットボールを見学予定であつたが入場券が全くなく止むなく中止しエンパイア・ステートビル(10階)屋上―メトロポリタン美術館―セントラルパーク等ニューヨークの裏表を見学した。世界一の大都会もマンハッタン島から白人は逃避し、黒人がそのあとに住むようになりスラム街を形成し、今や病める米国の典型ともいえる状態となつている。担保能力のある人は市外に転出、社会保障の対象者である人が多く住むようになり、ニューヨーク市の財政は赤字となつている。したがつて街はゴミが散乱し道路は壊れ放題、治安は最悪という状態となつている。夜中ピストルの音も聞こえる。失業者10%になると大変なことなのだと身をもつて知る

メドウランズ

10月2日夕方からナイター競馬で知られている、メドウランズ競馬場を訪問。

この競馬場はニューヨークからリンカーントンネルを抜けたニュージャージー州

にあり、ニュージャージー州スポーツ博覧会公社の所有であり主催も州が実施しているアメリカではめずらしい形態をとつている。(他は殆んど民間で開催)一周千六百米に照明があり以前はけいがいレースのみナイターを行つていたが現在は9月から平地も実施し好成績を上げています。PRについては積極的に我々一行に賞品贈呈を手伝つてほしいと要請あり私ほ

か3人で下見所傍で授賞式を行い各新聞社に報道させる等あらゆる手段機会を利用する臨機応変と真剣さに感心させられた。

実地研修(馬券購入)を各競馬場で試みた。ここでアメリカの勝馬票券の内容について若干ふれてみよう。

種類としては、準勝、二着払復勝プレス、三着払復勝、連勝単式、連勝複式



ベイメドウズ競馬場の投票所

三重勝^{トリアップル}、六連勝^{ビックスアップル}。等があり競馬場により違いはあるが単複は全レース発売1レースと2レースをダブル（これは1レースからファンを集めるため）3レースから連単、連複を交互に取り入れ、更に三重勝六連勝配当の高い種類を売っている。最低は2ドル券で窓口は一ヶ所で発売から払戻まで全て行っている。

売上げは単勝が中心で半分以上を示めているが高配当予想される二重勝、六連勝も宝くじ的な考え方で人気がある。

控除率は単、複は15、17%。その他配当の高いほど控除率が高くなっており25%位まである。

OTB

正式な日程が組まれていないので単独でブロードウェイにあるOTB（場外）を見学した。競馬場と異り殺伐たる環境で恐ろしく早々に退散した。

OTBは組織は全く競馬場と異なる独自の経営（ニューヨーク州の市又は郡からなる8つの公社）で現在三〇〇ヶ所設置されている。売上げは本場と同額位あり市州の一大財源となっている。

控除率は本場より2%高くなっており単複の場合17%（本場15%）このうち州に11%競馬場と賞金にそれぞれ17%還元し市が残り12・5%を得ている。

そのため他の州においても魅力を持ち設置に向けて検討に入っている。（イリノイ、カルフォルニア等）

しかし問題点としてはOTBの売上増になる分本場に影響し配当率の見直しが必要

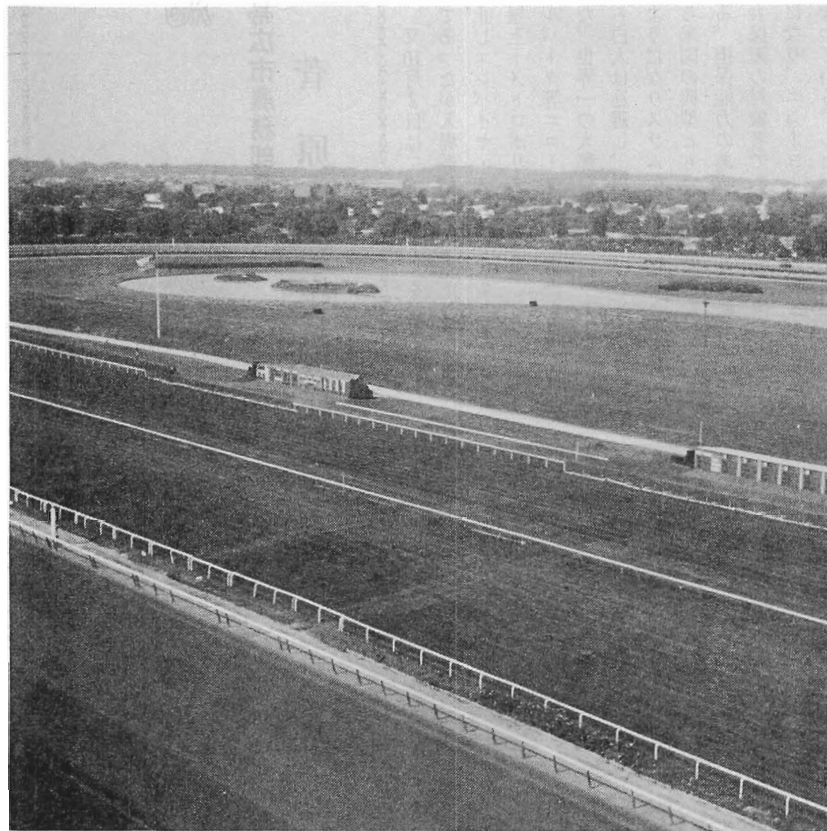
要となつて来ている。特に入場人員の減少は著しく副収入（駐車場・食堂・人場料等）が少なくなり小競馬場では経営の危機にさらされており今後如何に共存共栄を図るかが大きな課題となっている。

ベルモントパーク

10月4日毎年5月に三冠馬の最後のレースであるベルモントステークスが行われる歴史と古い伝統のある競馬場、ニュ

ヨーク競馬場協会主催二千百メートルの馬場三万席の指定席（レストラン）を持ち草花と緑に包まれ、全米随一といわれるだけ見るもの聞くもの全て羨ましい限り、唯一の悩みはOTBの影響（入場者減少）か。

TRPB（サラブレッド競馬保護局・日本の保安協会に相当）が競馬場の警備をピーカートン（主催者が委託する警備



ベルモントパーク競馬場

会社）と連携をとりながら公正確保のための組織犯罪の防止、薬物投与の防止、ノミ屋コート屋などの排除について取締を行っている。TRPBからはこの競馬場内における逮捕権も与えられている。従つて警官は一人も派遣されていない。

ここではレース終了後の採尿検査のほか、州競馬委員会が出走前（午前9時〜10時）に当日の全出走馬を対象に血液検査を行っていた。検査方法は血液20ccを採血し、結果は2時間位で判明する。プラスの反応が検出された馬は出走除外している。この検査は2年前前からコーネル大学のメイランド教授が開発したものであるがいまだ使用薬物の完全検出は不可能で更に研究を進めている段階である。

ルーズベルトレースウェイ

その夜ニューヨークから25マイル離れたけい専門競馬場を訪問夜8時から12時近くまで開催されている。全レース八百メートルの円型馬場を2周する。ハンデレースは全く無く移動式スターティングゲートを使用、夏の一ひ夕涼みがてら美を求め人のため安心して楽しめる健全娯楽場のイメージアップのためか照明とレースのコントラストがすばらしい。10月10日に訪れたハリウッドパーク（ロス）も同じような施設であった。

トロント

10月5日ニューヨーク空港からパツファロー経由パツファローからこの旅唯一のバス利用、ナイヤガラの雄大な瀑布を通り国境を越えカナダへ、世界一の花時

計で休憩カナダの園芸地帯を通る、道路の両側に果物を直売しているテントがあちこちに見られる、トロントはカナダ最大の工業都市であり効外は酪農地帯となっている単独でイグジビョンプレイス(共進会場)を見学、この施設はトロント市街の中心地にあり草木や花が広大な敷地にみられ世界で最も長い歴史をもち最大規模の展示会場である。毎年8月にはカナダ全国博覧会、又11月には農業冬期博覧会が催され、家畜共進会が一大イベントとなっている。参加はカナダのみならず北米全域から出陳される、家畜毎(馬、肉牛、乳牛、豚、羊、鶏)の審査場、けいりゆう場があり一ヶ月に渡って開催されるこの期間日本畜産関係者が多数訪れているとの事であった。

『ウッドバイン』

カナダオンタリオ州にありオンタリオジョッキークラブが主催、このクラブは近くに3つの競馬場を所有していることから場外を今日(10月6日)から始めたとの事、近いうちに相互場外を行う予定と聞いた。この競馬場は環境、施設共今回訪問したなかで最高であり控除率も14%と一番低かった。

『レキシントン』

10月7日トロントからシカゴ経由でケンタッキー州の州都レキシントン入り、馬、肉牛が中心の街、いたるところに大きな牧場が目につく、機内からは広大な大豆畑、トウモロコシ畑が続いていた。レキシントンは人口五万の農村都市住民

にゆとりが感ぜられる。

翌日ジョッキークラブ州支所の女性の案内で広大な牧場、キーンランド競馬場を見学した。キーンランド競馬場は規模は小さいが生産地の競馬場として生産者中心に運営し楽しむ特異な競馬場として百年の歴史を誇っていた。

アルダー(最近の三冠馬)を所有しているカルメット牧場は過去三冠馬3頭ケ

ンタッキーダービー馬8頭を生産した名門牧場で柵の長さだけで二百キロあるとの事で最近五千五百万ドルで売買が成立したとの事でその規模の大きさに驚くばかりであった。

この他かつて名馬ナシユアーを所有し現在シャトルスルー他有名種雄馬多数所有しているスペンド、スペルト牧場で名馬の数々を一頭ずつ説明つきで紹介して



セントラルパークの馬車

もらう。牧草はケンタッキーブルーグラス一種で乾牧草は西部から買うとのこと、分業がはつきりしている。

『ニューオリンズ』

アトランタ経由で南部の街ニューオリンズに入る。一時間の時差あり、この街は最初フランスが統治していたことからフランスの影響を大きく受けており街並みにパリを偲ばせていた。この地方の農業はプランテーション(綿花、タバコ)で発達したことから、未だ黒人差別の最も強いところといわれている。農産物の集積地として有名なミシシッピ川河口を2時間遊覧、歴史を覗る。

『ジェファソン』

ルイジアナ州は常夏なので米国で最初のナイターを始めた競馬場、一週千二百米と小さく施設も日本とほとんど変わらないが冷房施設だけは完備している。売上げ入場人員共全米的に低迷している中で入場者も増している。これは南部が人口増していることもあるが労働者を如何に引きつけるか努力しているとの事であった。

『ロスアンゼルス』

ニューオリンズから機内4時間(時差2時間)で西海岸ロスアンゼルスにレンタカーの運転手も日本人、至る所に日本の商社銀行が進出し日本人街が一番活気がある。日本経済の伸長ぶりがうかがわれる。

休日(10月12日)デズニールンド見学入場料12ドルで全ての乗物、鑑物

が含まれている。全て周るには終日を要する大きな施設。大人も子供も楽しめる内容になっており当日はウィーグデーにもかかわらず相当な入場者があった。現在千葉県浦安の埋立地でこの施設を上回る一大遊園地を建設中で開園(今年4月)後の集客力は驚異的なものになるであろうと予想されている。

『サンタアナ』

カルフォルニア州にある米国有数の競馬場この日(10月11日)は祭日(コロンプスがアメリカ大陸を発見した日)であったことから満員の観客が入っていた(約七万五千人)この競馬場を本拠としてロサンゼルスターフクラブが90日、オークツリーが27日開催している。この日はオークツリーの主催競馬であった。

入場料は一般席2ドル25セント、クラブハウス5ドル、更にプライベートターフクラブの席があり、メンバーにならないければ利用できない。メンバーになる資格は厳格でメンバー2人以上の推せんが必要条件となっている。

投票(払戻)窓口は70窓があるが平日350窓土日は650窓位使用するとの事で入場者75人に1窓という計算で従事員を使用していた。但し日曜日は平日の2倍の賃金を支払う。職員は産業別労働組合を結成しているので組合から派遣してもらう。

広報活動は全てのマスコミを利用して、ダイレクトメール(15万人に出している)を利用して、目についた。抽せん会を行った際に住所氏名を書いて

もらいファン名簿を作成し実施している。

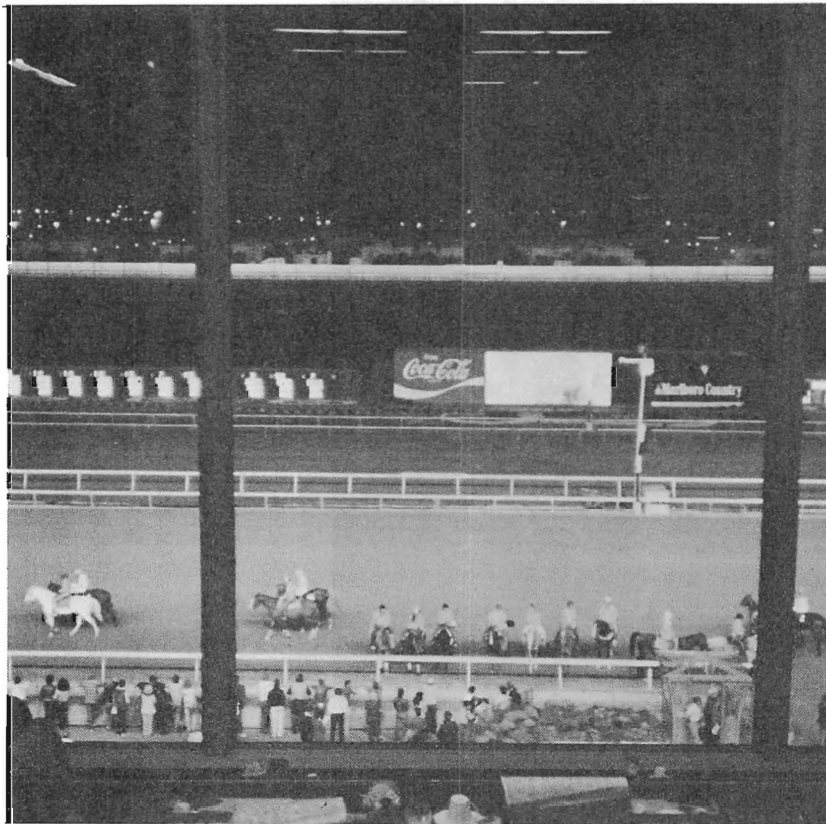
当日はファンサービスの記念品としてナップザックを配布していた。

他種競技(バスケット、野球、フットボール)と競合するがPRとファンサービスの充実で今後共互して行く自信をほめかしていた。

『サンフランシスコ』

10月13日最後の研修地サンフランシスコ

コは人口75万人の新しい街、カリフォルニア農業は果樹、畑作、水稲等栽培されているが年間200ミリから300ミリの雨量しかないことからロッキーマウンテンから大規模なかんがいを行っており、スプリングラールが目につく公園の芝管理にも用いている。かんがい施設のない山はほとんど禿げ山、ゴールデンゲートブリッジ(金門橋)等観光地を見学。



メドウランズ競馬場のナイター

翌日ベイメドウズ競馬場で研修、シャトル経由で16日夕無事成田に着く。

『感想』

アメリカも不況に悩んでおり、競馬の売上げも全体的に微増しているが入場者減に苦慮している。

国民性、歴史の違い等があるが公正面では全く不安を感じない。

施設が充実しているのでファンもレジャーとして楽しむ雰囲気も旺盛である。しかしながら主催者は客集めに最大の努力をしており、入場券を配布するとかダイレクトメールを利用する等日本で考えられない方法も行っている。

控除率も14%と低く従って配当金も良い。日本でも車勝複勝の控除率を下げてファンの拡大を図る必要があるのではないか。

又各種の馬券を発売しているが重勝、6連勝等取り入れ変化と楽しみを取入れることも一考に値する。

ファン集めのためのナイターの普及、相互場外等ばんえい競馬に積極的に取り組む時期に来ていると思う。

できるものから実施することで現状を打破して行きたいものだ。



産業功労賞受賞の喜び

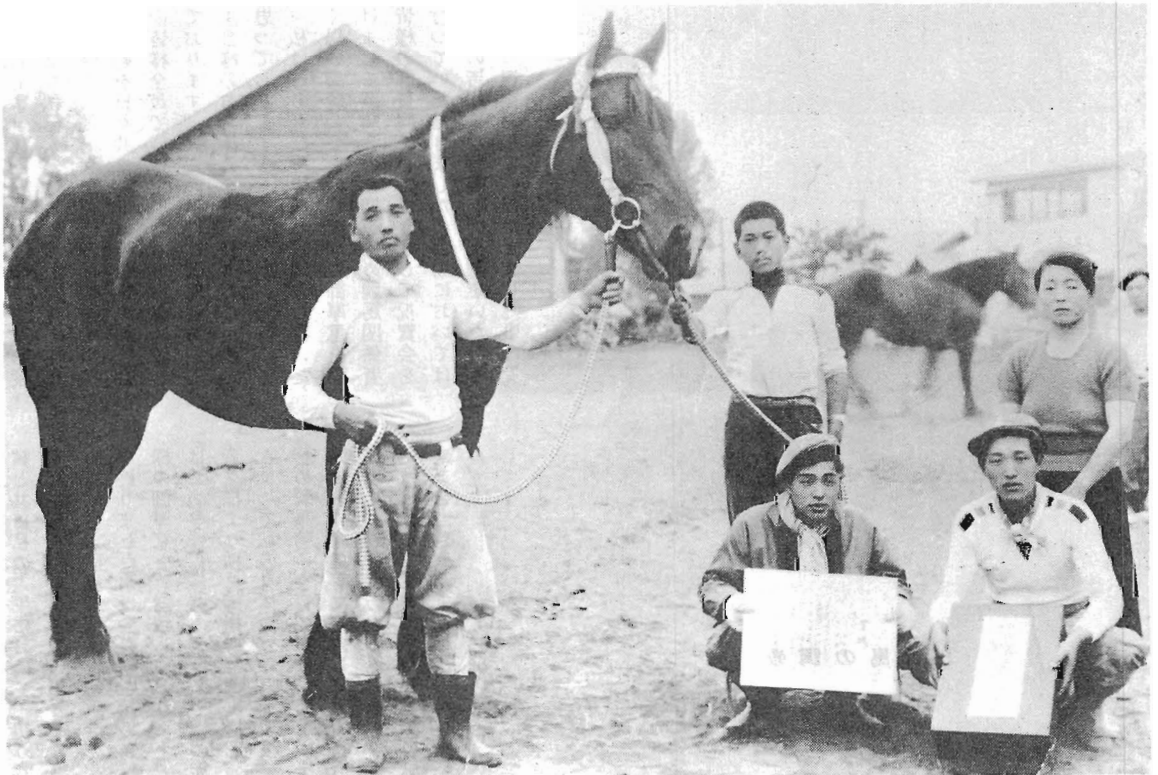
調教師 中西 関 松

この度の受賞に関して感謝、喜びというものは時期がすぎると同時に味わいも又、新たに増して来るものと今更ながらにして痛感しておる毎日です。

八月のある暑い日の事でした。明日の投票を終らせてきゆう舎に帰ると、鈴木局長様より公正室までとの呼び出しが入って参りました。私は昨日の競走に関しては無事故であった筈と考え、なにゆえの公正までと一人良からぬ憶測をしながら公正室に入って行きました。すると局長様が笑顔で私を迎え入れて下さり、握手をもとめて来られ、その口もとより「産業功労賞受賞おめでとう」とのお言葉をいただいたのです。八月八日は競走中であるがぜひ出席するようにとのお許しのお言葉をいただき、大変喜んで下さいました。私は内心競走に関して無事故であ

ったのに安堵致し、又その半面において、私ごときが受賞とはと、正直いつて驚きと複雑な気持ちできゆう舎に帰って来ました。早速妻にも受賞の事を話したのです。妻も大変喜んでくれました。八月八日は私のきゆう舎の三才馬の大事な競走があったのですがきゆう務員全員で事故なく馬を出走させるので心配せずに表彰式に出席してくるようにと心から祝福してくれましたし、私自身このような名誉な受賞ですので喜びに胸をわかせて出席致したのです。

表彰式の当日また私なりにおどろきましたのは、当市の有志の皆様が大勢お見えになっておられましたのはもとより、北海道各市より有志の皆様が多数お見えになっておられた事です。かような皆様と同様に私ごときが功労者賞をいただい



号 五 十 二

たという事は非常に有難くすばらしい事
としみじみ痛感致し、これも当市宮城馬
協議会上司の皆様のお力添えがありまし
たからこそと、心より感謝致すと共にう
れしきで胸が熱くなってくるのをおさえ
るのに必死でした。

私が当帯広市の一住民となりましたの
は、昭和三十二年で、それから今日まで
の過程には色々あり、一人息子の交通
事故で、生命あやうしと病院の先生に言
われ、なんとか生命だけでもとりとめて
下さいと神に願ったものでした。生命は
とりとめたものの息子は片足切断となり、
今日では義足の身となりましたが三人の
孫も大きくなり幸福な家庭生活を送って



おりますので今では静かに見守っている
毎日です。又一年後には競走馬五頭が伝
染性貧血病になり、やむなく死亡させま
した。当時はショックで食事をしたのも
記憶になく、ただ呆然とすごした日々も
ありました。

これらの困難をのりこえ、今日の私が
あるのは数多くの友人の皆様のお心温まる
御支援、御援助があればこそです。

私がばんえい競馬に入りましたのも馬
とはなれる事なく終生なす業と信じたか
らです。負ける事の嫌いな私でありまし
たので、上司の皆様には心ならずも御迷
惑をおかけ致してまいりました。この私
を広い視野で見守って来て下さいました



皆様に心より感謝しております。この度
の受賞も私己人のものとは毛頭考えてお
りません。競馬会上司の皆様を始め私
と行動を日々共にしておられます調騎会
の皆様全員でいただいたものと確心致し
ております。又この陰には御理解ある馬
主会様のお力添えを得られましたからと
思っております。

私はこの喜びを皆様と共に分かち合いた
く思い調騎会会長の晴披様の御厚意を受
けまして調騎会の皆様を始め競馬関係者
皆様の御賛同をいただきました。会場においては
行っていたいただきました。会場においては
上司の皆様より有難い御祝詞をいただき
心から祝福をしていただきました事は受



賞と共に私の人生において、初めてであ
り終生忘れ得ぬ良き思い出となる事と思
います。お陰様で盛大な祝賀会となり無
事終りました事は会長様を始め発起人皆
様の御厚意と感謝致しております。今後
はこの受賞に恥ないよう競馬関係者の
皆様より種々御指導、御支援をいただ
きまして私の身体づく限り調教業務に
務め騎乗騎手を育てあげ、尚かつ優秀な
競走馬の育成等に努力して行く覚悟でご
ざいます。皆様方の御協力を宣しくお願
い致しまして受賞にあたり、私の思いの
ままを書きそえました。

新馬の調教

一千勝の思い出

騎乗騎手 金山明彦

この度、こうした感想を書く事になって、今までの自分の道を振り返ってみたのだが、正直な所、多くの優れた騎手諸氏の中にあつて、この千勝という記録が達成できた事に自ら驚きの感じを禁じえない。と同時に、今までの自分を支え、励ましていただいた多くの方々があつた事に改めて気付いている。今、この紙面をかり、感謝の念を申し上げたいと思う。というものは、この記録は自分一人の力によるものではないからである。まず第一に強い馬に乗れた事、第二にそうした馬に乗せてくれた方々が居た事、第三に先輩からの御指導があつた事、第四に良い友人、ライバルに恵まれ、励みになつた事、第五に家族の理解と協力があつた事という多くの総合的な力の中で生まれた記録だからである。騎手として恵まれた環境だつたと思つている。

私は、騎手としては、幸先の良いスタ

ートを切つた。幼少の頃から大の馬好きであつたが、それに拍車をかけたのが父親に連れられてばん馬を見に行き、中西関松さん（現在の調教師）を見て、その雄大な騎乗姿に憧れを抱いた事だつた。この憧れは日々がたつにつついつつに、小学校六年生の時、草ばん馬に騎乗したのが決心を固めさせる事となつた。

学校を卒業するとすぐに、父と親好の深かつた中西さんのもとにきゆう務員として入りゆうし、騎乗騎手としての第一歩を踏み出した。

初レースは昭和四十四年六月、十七才の時、馬はヤマトオーザであつた。スタート以後の事は良く覚えていない。無我夢中で、他のものは目に入らず、気付いた時はゴールにいた。これが初騎乗、初勝利であつた。

その後二、三年は、勝つ事よりも騎乗



金山騎手1,000勝

することの方が楽しかつた。レースも、若さにまかせ、がむしやうで、馬をゴールまで持つて行く事しか考えていなかった。その事が、馬への当りが乱暴だ”との評になつていったのだと思う。だがこの評が、私の研究、研鑽の為になつた。

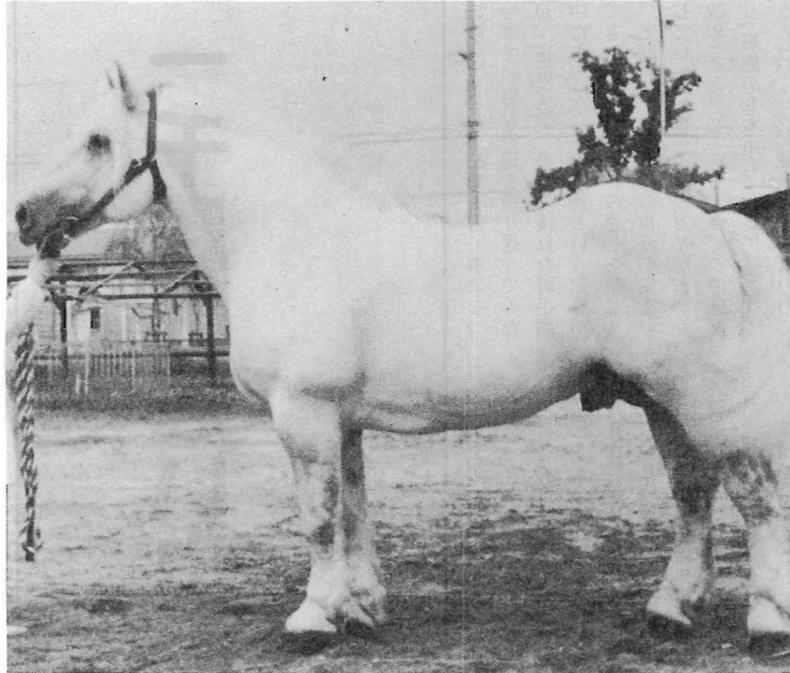
その頃は、若い騎手も少なく、強い馬にも恵まれ、それが騎乗回数、勝利数に

連がつたと思う。

そのうち、大レースに出る事、それに勝つ事という欲が出てくるようになった。ばんえい競馬最大のレースに乗る機会にも恵まれるようになった。だが二回騎乗して二回とも勝てなかつた。その夢がかなつたのが、カッターローという馬で、農林大臣賞を取つた四十八年である。この

賞はこの馬の為に、自分の為にも何と
しても取りたかったので、この時の勝利
の感激は今でも忘れられない。

十四年間の騎手生活の中において、
多くの強い馬や名馬に恵まれたが、中
でも特に先に書いた初騎乗、初勝利を自
分に飾ってくれたヤマトオーザは想い出深
い馬である。この馬は人間よりも賢く、
レースをよく覚えており、私は安心して
乗れた。それと農林大臣賞をもたらして



ハクリュウ号

くれたカツタローの二頭の馬が現在の自
分の基礎を築いてくれた。さらにハクリ
ュウと言う馬を三年間手掛け、この馬が
その後名馬として讃えられる馬になった
事が嬉しく心に残っている。

この十四年間の騎手生活はこうした素
晴しい事ばかりでもなかった。というの
は、障害の斜め登坂による進路妨害とい
う理由で制裁を受けた事があつたからで
ある。この一件は本当に恥かしかつたし、

騎乗停止という処分だつたた
めに騎乗することが出来ず、
騎手として最も寂しく、辛い
時であつた。

こうした事は二度と起こし
てはならないと心底思つた。
今後の抱負を述べて締めく
くりたいと思う。現在の自分
はまだ、レースの時に「勝ち
たい」という気持ちで先行す
ると焦りが出て、馬の能力を
出し切れない事がままある。
この焦りをなくしたい。又ど
んな馬でも乗りこなせ、大事
に馬をこわさない様に「乗
れる様になりたい」と思つてい
る。そして、この千勝の記録
を更に伸ばしたい。

その為には、今後も技術上
の研究をし、他の騎手の方々
の良い面をどんどん取り入れ
「いつまでも勉強だ」と自ら
を戒めていきたい。更に、若
い騎手の手本となる様に、心
掛けて精進を続けて行きたい
と考えている。



| 昭和 年 | 騎乗回数 | 1着 | 2着 | 3着 | 4着 | 5着 | 着外 | 失格 | 収得賞金 | 備 考 |
|------|------|-----|----|----|----|----|-----|----|-------------|-----------|
| 44年 | 89 | 10 | 8 | 8 | 10 | 7 | 46 | | 821,000 円 | 好レース賞1回 |
| 45 " | 83 | 19 | 4 | 12 | 10 | 11 | 26 | 1 | 1,847,000 | |
| 46 " | 174 | 25 | 18 | 37 | 18 | 15 | 59 | 2 | 6,086,000 | リーディング第5位 |
| 47 " | 167 | 30 | 18 | 23 | 14 | 14 | 66 | 2 | 5,740,000 | |
| 48 " | 382 | 76 | 59 | 54 | 28 | 39 | 126 | | 22,338,000 | リーディング第1位 |
| 49 " | 557 | 120 | 94 | 78 | 67 | 54 | 144 | | 54,989,500 | |
| 50 " | 496 | 102 | 85 | 71 | 49 | 48 | 141 | | 63,002,500 | |
| 51 " | 526 | 109 | 84 | 59 | 62 | 53 | 159 | | 70,837,000 | リーディング第1位 |
| 52 " | 571 | 100 | 83 | 79 | 47 | 70 | 192 | | 76,794,500 | リーディング第1位 |
| 53 " | 549 | 100 | 78 | 69 | 65 | 62 | 173 | 2 | 77,904,000 | |
| 54 " | 579 | 109 | 78 | 81 | 67 | 52 | 191 | 1 | 95,206,000 | リーディング第1位 |
| 55 " | 574 | 107 | 74 | 91 | 61 | 70 | 171 | | 124,560,000 | リーディング第1位 |
| 56 " | 605 | 65 | 84 | 69 | 70 | 77 | 240 | | 84,984,000 | |
| 57 " | 700 | 116 | 99 | 82 | 84 | 69 | 248 | 2 | 112,929,500 | リーディング第2位 |

マスクミを 取上げられた ばんえい



1、二月四日 NHK・TV

PM七・〇〇

札幌では、ただ一人になった蹄鉄屋さんを紹介する。現代の蹄鉄屋さんは、競馬ウマ（軽種馬と重ばん馬）と僅かのポニー、土さん馬、馬術馬などがお客さん。北大馬術部はお得意さんだという。

ここで紹介された蹄鉄屋さんは経験二十年のベテラン、削蹄から装鉄までをやってみせる。冬二月、寒さは厳しく冷えきった蹄鉄が手にくっついてしまう。

2、二月十一日 NHK・TV

PM九・三〇

大阪市の地下から馬冑が出てきた話。昨年（一九八一年）韓国でこれとそっくりの馬冑が発掘されているから、おそらくこれは弥生時代に韓国から伝来して来たものと考えられる。馬は大陸からやってきたといわれ、この馬冑をつけた古代の武士達が戦場を駆け廻った姿が偲ばれる。

3、二月二十六日 NHK教育TV

PM五・三〇

「チャグチャグ馬の村」

これは岩手県立農業博物館から伝統のチャグチャグ馬の由来について放送したもの。単にお祭り行事として見せるだけでなく、かつての馬産地滝沢村が農耕の中から生んだチャグチャグ馬の由来なのである。

それは明治から大正にかけて、農民の手足となって惜みなく労働力を提供した馬との生活から生れた。

犁やしろかきをひかせて働らく。竿取法といつて馬の「はみ」に長い升竿をつけて馬を御す。馬の太い足は水田に撒布した推厩肥を土にしみこませる役目をして貴重であった。

そうした馬を愛児と一緒に飾りたてて人參など馬の好むご馳走と休息を与え、田んぼ道をねり歩いて祝うのがチャグチャグ馬であるという。

4、三月五日 NHK教育TV

PM八・〇〇

神戸に競馬あり

昔、神戸の居留地にも競馬があった。我国で洋式競馬を始めたのは、明治の初年横浜外人居留地で、在留外国人によって行なわれたものであった。

神戸に競馬があったことは知られていないが、今から一五年前安政の頃、支那馬によって行われたという記録がある。

5、三月十四日 NHK・TV

PM七・一〇

九州の都井岬に有名な都井馬、みさき馬ともいう、青草萌える岬の丘にたむろする野生馬の馬主は四十人。

春先は放牧地の枯草に火を入れてあつという間に焼き尽し、やがて新しい若草が萌えて野生馬が姿を現わす。今年は土産馬と入れて繁殖をはかるといふ。

6、三月二十日「道友」

これはマスクミではない、退職した道庁職員OBの機関紙「道友」三月号に、元道畜産課長吉田稔氏がスイス在留の娘さん宅に滞在したときのことを書いてい

るが、氏によれば、スイスではいたる所で農耕馬に出逢う。それも立派なばん馬で、馬車をひいたり畑仕事をしたりしている。結構自動車も多いが、馬を飼っている人が多く、スイスの風景にとけこんでいる。ヨーロッパの人達は優雅なのだろうかとは感嘆する。

7、三月二十一日 HBC・TV

PM一〇・三〇

好評のHBC「音楽の旅はるか」。この日は「女達の歌声母なる大地」と題して東欧ブルガリアを訪ね、芸大小泉教授とタレント赤尾みち子さん、腹の下が白く耳の長いロバが馬車をひいて美しい森と畑とが織り成す農村を行く。

村の女性達が美しい民族衣装をつけて、スモリーヤン地方の人々が創造した歌を地声で合唱する。地声の合唱はちよつと珍らしい。

8、三月二十三日 NHK・TV

AM一・三〇

四国香川県今治市には子供達が造った鉄筋コンクリートの乃万馬の像があるそうだ。貴重な乃万馬も、年々減りつつける。このほどその保存のため北海道からめすの土産馬二頭を買入れて繁殖することになった。

9、三月二十八日 NHK・TV

AM一〇・〇〇

昼のニュースで九州宮崎の「浜競馬」を紹介する。近郊の農耕馬十二頭が集まって海岸に仕切られた臨時の馬場で競走する。

農耕馬といっても競馬あがりの軽種馬も、小型の在来馬もいる。見物に集まった群衆は千人とも二千人ともいわれる。レースのたびにワーツと歓声があがるが、中には騎手を甘く見て動かず、下馬してひっぱる場面もあって愉快な競馬である。

10、三月二十八日 NHK・TV

PM九・〇〇

アメリカ西部劇「はるかなる西部・わが町センターアルー新天地」に見事な黒馬二頭曳きの馬車が活躍する。馬は動物中最も美しいといわれるが、馬車をひく馬も人が乗る馬も美しい。

別の連続好評番組「大草原の小さな家」は、これも同じく開拓当時の西部の物語りだが毎回活躍する馬は素晴らしく、この劇の価値を高めていたが秋には終りだ。

11、四月五日 NHK教育TV

PM八・〇〇

教育テレビ「ふるさと歴史紀行」はこの日、東北地方に多いアラハバキ神社の伝説について紹介する。柳田国男の本によれば、中国アラハバキ族の信仰から伝わったものという。御神体は馬像で馬の神社である。小さな祠が多い。神像は石造りで人間のように立ったものもある。祈禱師は神宗教と教える。この番組に岡本太郎画伯も出演し、題して「邑洋津軽考」。

12、四月七日 NHK・TV

PM九・〇〇

鹿児島県霧島温泉地帯小森町で、八年

前から行なわれていた草競馬を見せる。この競馬、六十頭の馬が集まり観衆は一万人を数えるという大変な人気。一屯もある作業馬のレースや少年のポニーレースまで一頭が何回も出場して弁当持ちの見物人を一日中楽しませてくれる。急造の競馬場は木柵を立ててなかなかのものである。

13、四月十六日 NHK・TV

AM八・〇五

ばんえいシーズンも近づき四月十九日はテストである。

冬期雪中で訓練してきたばんえい競走馬の最後の仕上げ調教を石狩浜で鍛えあげる。撮影は中川カメラマン、全国向け放送で、この日は再放送。

ばんえい農耕馬の力くらべて砂浜の調教は基礎体力をつけるのに絶好の方法だという。四百キロの鉄ざりに砂袋を六百キロ積みひかせる。

三歳馬のテストは自分の子供の受験より力が入るといふ。

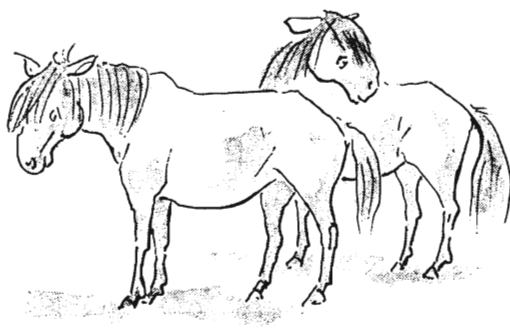
14、四月二十四日 NHKラジオ

AM五・五〇

毎年のようにテレビで紹介される宮崎県こまた町のジャンカン馬。クビに鈴、足にわらじを着飾った馬が三味線、太鼓に合わせて足踏みならし、村人達と踊りまくる。

早門神社のお祭りは、ジャンカン馬の踊りが人気を呼び一万二、三千人の人出があるという。

今回は田んぼの中で踊りを調教する風



景も見せる。この早門神社は日豊線東都城駅から十分のところにあって交通も便利。

15、四月二十九日 NHK・TV

PM六・五〇

いよいよ昭和五七年ばんえいの開幕!! 第一回北見市宮競馬の初日には約五千人のファンが押しかけた。

冬期間から猛練習を重ねてきた重ばん馬は晴れの出陣に張り切る。二カ所の障害をこえる迫力、大きく息を吐く巨大馬。テレビは人間と馬の豪快なレースと観衆の興奮をとらえる。

16、六月六日 UHB・TV

PM九・三〇

これはスタントマンならぬスタントホースをつくる調教師の話。映画「影武者」

にも出演した馬と人の話。題して「騎馬武者、現代を走る」

当の調教師は毛利直之といつて髪もじやの青年である。

彼の生家は宇都宮市の郊外の農家である。幼時から馬が大好きで、その機敏さ、外敵に立ち向う勇氣、素晴らしい速力に魅せられて、少年は馬になりたいときえ思う。懸命に働いて、遂に一頭の馬を手に入れる。芦毛のサラブレッドである。屈頭を教え、障害こえを仕込み、障害競技にいくむ。

夢はふくらみ、馬術修業のためブラジル、スペイン、フィリピンを廻ってくる。帰国後富士の裾野にスタントマン養成専門の馬術クラブを開設し、六人が入所する。

映画「影武者」には甲冑をつけて背に旗をなびかせ縦横の活躍をするが、転倒する場面では、馬がまま骨折することがあり、骨折した馬は無用の長物として死にしない。

彼は骨折しないスタントホースづくりを決意する。急発進、急停止、急転換、疾走中の転倒、冒険野郎達の痛快な愛馬物語でもある。

17、六月十四日 NHKラジオ

AM六・五〇

この日のNHKラジオ、早朝番組は珍しい新潟県柏崎市のえん馬市を紹介する。

えん馬市とは往時馬産の盛んな頃田植の終る六月中旬、年中行事としてえん

馬堂を中心として行われた馬市のことをいう。その頃はちょうど衣がえ時期で呉服市が併催され露店が賑かに並び、全国の植木屋さんや、金魚屋さんが雪国の春を告げた。農家では手づくりの笹だんごやチマキを持って集まってくる。チマキはよもぎや笹の葉の中に米を入れてふかして作る。笹の殺菌力をいかした合理的な保存食で、十日以上美味は落ちないという。このえん馬市は三日間も続き、臨時バスも出て何万人もの人出がある。

18、六月十七日 H T B・T V

A M 九・五〇

H T B のモーニングショーはこの日、三百年の昔、漂泊の俳人芭蕉が旅した山形と秋田の国境にあるたどり峠（山刀伐峠）の宿を紹介する。



芭蕉の句に「のみしらみ馬の尿する枕もと」というのがある。その句を残した人馬の宿は今でもひっそりと峠に残っており、「旅装束お貸しします」と貼紙がしてある。これはスタ袋を背負った編み笠姿の旅装である。この宿には四頭の馬房があり、旅馬と一緒に泊ることができ、またこの家は国境を守る封人の家でもあった。往時は馬が三八〇頭余もいた馬産地であった。

ひなびた宿のまわりは紅花が咲きみだれ山菜取りの名所で、「クマに注意」の立札が立っている。

19、六月二十二日 N H K ラジオ

A M 五・十五

「芭蕉」

茨城県八郷町には「やさし馬」ともいわれる農耕馬四一五頭が飼われている。用途は農耕と運搬で現在は「土びき」といって山から丸太の搬出をしている。

十年前までは五〇頭もいたが、林道ができてからはブルトナー、トラックが入り馬はいらなくなった。しかし山奥や急坂の運搬は馬でなければ不可能な場合がありいまだに重宝がられている。

20、六月二十九日 N H K・T V

P M 七・三〇

九二人のいたましい犠牲者を出した北炭夕張は再建の見込みもたがず閉山ときまる。下請け二八社、一九三人の転業は涉々しくない。

牛ヶ谷武次郎さんもその一人、長年の石炭運搬も廃止となり愛馬とも別れる。市は山の再興を計画し観光事業を計画する。

その一環として行なわれる観光馬車が武次郎さんの新しい仕事になる。無人の炭鉱住宅は荒廃の一途をたどるがその廃屋一六八七戸も観光名所に変っていく。

21、七月一日 N H K・T V

P M 九・三〇

貴重な木曾馬の保存を長野県開田村は懸命に続ける。

村は昔から木曾馬の主産地であった。今は僅かに四頭。浅間山麓の放牧地に県下の木曾馬合わせて二十四頭を九月十日まで放牧する。

22、七月三日 N H K・T V

A M 七・三〇

レギュラー番組「北海道の窓」はこの朝、北大八戸教授の「土さん」を放送、氏の土さんご研究はつとに有名である。

北海道拓開に尽した人も及ばぬ功績を讃え、その強健性、耐寒性、粗食耐性を、素朴性を強調する。北大新冠牧場で実験成功した授精卵の移植による人工授胎も、その実験を助けたのは土さんごである。

23、七月十一日 N H K・T V

P M 七・三〇

CMにもなった置戸町の「人間ばんば」はすっかり有名になり、木材の町にふさわしく三百キロから五百キロの丸太をのせた鉄そりを五人一組でひっぱり競う。コースは八〇メートル、障害もある。熱氣三十度の真夏。グラウンドに集まった大観衆が声援を送る。

24、七月十五日 N H K・T V

A M 七・二五

競馬法によるばんば競馬は昭和二十二年北海道馬匹組合連合会主催の旭川、帯広でひらいた四日間がそもそも始まり、それからもう三十六年目となる。

この日午後七時半からのNHK「北海道の窓」はばんば史上始めて一千勝を達成した金山明彦騎手を特集する。

少年時代から家業の家畜商を手伝っていた彼は父に連れられて競馬場にくる。そこで見習いに入ったのが中西関松厩舎だった。

一千キロもある巨大馬が騎手の手綱一本で自由になる。乗り役の手綱さばきに自由に動きまわると素晴らしさに魅せ

られる。

やがて騎手としてレースに出場。無中で取した馬が自分の思うがままに動いてゴールインする。その満足感とはとえようがない。普段でも思うようにならない馬がレースで素直に動いてくれる。ちょ



つとした表情で馬の気分が判るようになる。取材の松本アナウンサーは本沢政一調教師に金山観を聞いてみる。

「金山のよさは障害登坂で最も発揮される。癖のある馬は勿論いい馬も第二障害では疲れてなかなかいうことをきかずバックしてくれないが、馬をだましましたバック前進をくり返してうまく登ってしまおう。

一度も乗ったこともない馬もよく動かす。最後の迫込みの凄さは格別だ。」

競馬場から競馬場への移動は道具一切

持って、日程のつまっているときは三日間で引越しを完了する。厩舎は勝負の上では敵同士の集まりだが、平素はまるで親子、親戚同志のように仲が良い。金山騎手はもう三十歳。あと十年は頑張りたという。サラブレッドにはさわたつたこともないというから全くばんえいひとすじの乗り役さんだ。

25、七月二十五日 NHK・TV

PM九・〇〇

これは珍らしい室蘭のばんえい競馬。工都室蘭はもう馬はほとんどいない。この日は地元の農耕馬に遠く日高、静内、浦河から農馬も加わって二百キロから九百キロの砂袋を木樵に積んで走る。二歳、三歳馬も出場して勇壮な駆ばん馬。集まった大観衆からヤンヤの喝采を受ける。

26、八月二日 NHK・TV

PM六・三〇

北炭夕張の閉山で馬車の石炭運搬は廃止となったが、市の肝入りで、観光馬車に転業する。

このことはすでに六月二十九日に放送されているが、この日はその後日物語。

牛ヶ谷武次郎さんの愛馬アオも返り咲いて、元氣よく観光馬車をひいている。

夕張駅から歴史村を経て石炭記念館まで一行程は約二キロ、一日四往復する。夏は都会のお客さんも多く忙しい季節である。アオは観光客、特に子供には大もてどうやら夕張を訪れる人たちの人気を集めそうだ。

27、八月十一日 HTB・TV

AM八・五〇

この日のHTBモーニングショーは絶滅寸前といわれる木曾馬をとり上げる。

木曾馬は頭が大きく、首は短かく、足も短かく、出尻であまり美しくないが眼はやさしい。粗食に耐え、力強く土さんに似て大の働らき者だ。

木曾馬保存協会の伊藤正起さんは「現在木曾馬は二四頭しかいないが、おす馬は第三春山ただ一頭で、その子孫ばかりだ。純血の木曾馬を保存していくためには近親繁殖もやむを得ないという状態だ」と慨嘆する。

昔から馬地主といわれた山道家も今は民宿として十一もある室を提供している。大広間は台所になっている。それでも選挙の演説会が開かれるほどの広さがある。奥座敷は京間づくりの客室となっている。はるかな昔、山道家の馬は二百頭以上もいたという。今も開田高原には馬が放牧されている。

木曾馬保存を祈って女性レポーターは馬にも乗ってみる。この女性、木曾馬種付も見てしまったと明るく笑う。

28、八月十八日 HBC・TV

PM六・三〇

HBCテレビポート6は釧路沖の小島に群棲する野生馬を見せる。ボス馬を先頭にして原野を疾駆する二十頭の迫力は凄

い。馬はばんえい競走用の重ばん馬だが、すっかり野生化して人參を見せても警戒

してよってこない。船にのせて連れて行った馬に乗って島めぐりをする。

29、八月二十五日 NHKラジオ

AM五・三〇

滅びゆく馬への郷愁とでもいうか木曾馬の取材は今年三度目。それも筆者が偶然とらえた放送だから一年のうちにはこのほかにまだまだあったかもしれない。ともかく前記七月一日のNHK・TV、八月十一日のHTB・TVにつき今度はNHKラジオで木曾馬第三話。

これも長野県開田村で木曾馬を飼っている松浦かずひろさん。今迄に木曾馬四頭を育てた大の馬好きである。松浦さんは「木曾馬は小柄でポテツとして、顔は大きくくびれていて、胴長で腹も大きい。気性は温順で家族と一緒に暮らしよく働く。噛む蹴るといことは全くない。粗食に耐え飼いやすく、なんとかして保存に力を入れなければならない。」と力説する。

30、九月二十一日 NHK・TV

PM六・五〇

これは四回目を迎えた恵庭のばん馬競走。

会場は恵庭家畜共進会場、櫓に四百キロの重量物をのせてU字型ばん馬コースをつつぱしる。観客は場内にびっしり満員、土さんこのレースもあつて、調教不十分のため途中コース外に切れたり、いきなり立ちん棒して振り落される騎手もある。いつも人気を呼ぶ競走である。

31、十月十五日 NHK・TV

PM一・二五

レギュラー番組の「北海道の窓」はこの朝、十勝の名種牡馬イレネー号を中心とした十勝産馬を電波にのせる。これはその再放送。

担当は三杉アナウンサー、出演するのは十勝農協連の千葉指導部長。

今人気を集めている「ばんえい競馬」の競走馬を生んだ十勝競馬の原々種は、

明治四十三年フランスから輸入した国有種牡馬ベルシユロン種イレネー号であることはあまりにも有名。今でもその銅像は競馬場正門横に立っており道行く人にもその功績を語りかけている。

今は十勝種畜牧場と名も変り牛牛が主で馬は減っている。昔は種馬牧場といふ幾多の産種、中間種の名馬を生んだ大牧場であった。

元、種馬牧場にいた立崎寅吉さんはもう八十二歳の高齢だが、もとは牧場の生字引といわれた人。牧場には今も馬魂碑が建っている。立崎さんは合掌、礼拝して往時を語る。

この牧場はベルシユロンとアングロノルマンが主軸であった。巨大馬ベルシユロンは乗馬運動中に人を落すことも上手だったがおとなしく馬車もよくひいてくれたという。

当時馬政局に種牡馬台帳があつて輸入馬の詳細が記入されていた。千葉氏によればイレネー時代にグラジアートルという種牡馬がいてイレネーと人気を二分し

ていた。当時は牝馬の配合検査が厳重に行なわれていてグラジアートルは一一五

七頭、イレネーは一〇六七頭の種付頭数があつて約六百頭の雄馬を生産した。し

かしイレネーの仔は二九七頭中一九六頭が種牡馬に合格し、グラジアートルの仔

は三〇三頭中種牡馬になったものはほとんどなかった。当時の種付料は一円か二

円だった。名馬イレネーは種付中の怪我で死んだという。

32、十一月十九日 NHKラジオ

AM六・〇〇

この朝六時のNHKラジオニュースでは、平城京の古跡発掘中奈良時代の馬列杭を発見したと報じた。史実によればこ

れは往時のくらべ馬を行った馬場のそばに運ばれたもので、おそらくそこには馬の走路があつたと推定できるという。

33、十二月五日 NHK・TV

AM七・五〇

北見津別町の石塚さんは荷馬車造りの名職人。

トラックのなかった明治から大正、昭和、戦後に至るまで馬車は農耕運送の中

心であつたが現在はまったく無用となつた。このほど北海道の歴史を展示する札

幌の道立開拓記念館からの注文中で三十年ぶりに荷馬車を造ることになった。

石塚さんの感激はひとしお。長さ五メートル幅一メートルの荷台に直径一メー

トルの車輪と引木をつけて、仕上げまで半年間「精魂を傾ける」と石塚さんは張り切る。

34、十二月三十一日 NHKラジオ

AM五・二〇

離島の種子島に馬産が復活した話。これは鹿児島県農林水産通信員吉永氏のレポート。昔から種子島は馬産地であつた。

当時は軍事生産が主目的であつたが、機械化のためこれも例外でなく馬はいなくなつた。しかし最近再び馬産熱が高まり

宮崎県と協同して農耕馬の放牧が盛んになつてきた。この馬たちは山からの造林

運搬に重宝がられているというから南国の島にも北海道と同じ馬の働き場所があるのだと教えられる。

35、NHK・TV

PM六・〇〇

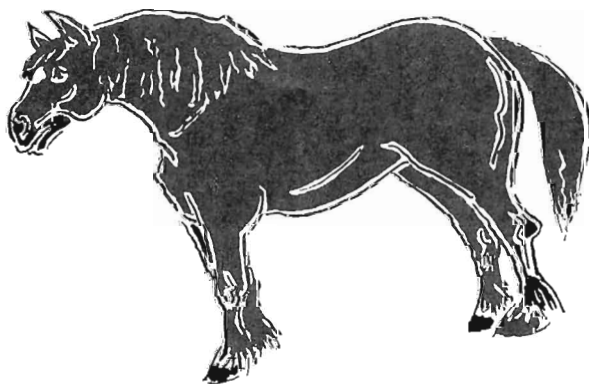
アメリカでは毎シリーズ平均二〇%以上という高視聴率をあげ、日本でも大好評のNHK日曜午後六時からの子供の時間に連続放送された「大草原の小さな家」は七年目を迎えて益々人気上昇だつ

たが九月をもって一段落となった。これは古き良き時代の大西部を舞台に貧しい農民が生きてゆくホームドラマで、見事な軽鞍馬が、荷馬車をひき農耕に乗馬にと縦横の活躍をする。素晴らしい馬の描写が見る者の感動を呼んだ大きな要素だつたようだ。

36、十二月 NHK・TV

いよいよ冬、NHK十二月の天気予報には羊蹄山を背景にベタ樞をひいて雪原をゆく造林馬を見せている。そのあとを二歳馬らしい鹿毛が道草をひろいながらついてゆく。北国の初冬らしい素晴らし

い絵だった。



女性と子供に狙いをつけよう

(1) 女性と子供が二十一・二%

昭和五十五年をピークとして、入場人員は売得金を下回る激減の途をたどり、本場売得金上昇率八九%を下回る八五・五%の成績であった。

しかし、総入場人員において減少しているものの、「ファミリーばんえい」らしく、女性と子供の入場率は二十一・二%

で前年対比〇・五%増と若干ながら年々増加しています。

(2) 女性が増えると売上は低下しない。

昭和五十五年から入場者を、男性、女性、子供に分類して調査しているが、二年間だけの統計であり他場との比較もできなく、また天候と開催時期の関係もあり、結論を出すには早いと考えられるが、

女性と子供の入場比率が高ければ売上の低下を防げるのではないかと言う統計が、二年連続同じような傾向として見られた。昭和五十六年度の売上は、八七・一%の大巾ダウンであったが、各場の成績を見ると、旭川は女性と子供の一期平均入場者の上昇率が、一一・八・四%に上昇した結果、売上は平均を上回る、九六・二%に留まったが、帯広は入場者が七〇・一%に減少し、売上も七六・六%まで低下し、岩見沢、北見も同様な傾向が見られる。

昭和五十七年度の成績も前年度と同様

表1 競馬場別入場人員調 (除場外)

| 競馬場 | 川 | 広 | 見 | 沢 | 計 | 総入場者 (含15才以下) | 入場者 (有料・無料) | 男性 | 女性 | 子供 (15才以下) |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|------------------|----------------|--------|--------|---------------|
| 旭 | 154,402 | 135,792 | 108,462 | 117,531 | 516,187 | 143,393 | 120,551 | 22,842 | 11,009 | |
| 帯 | | | | | | 126,453 | 107,071 | 19,382 | 9,339 | |
| 北 | | | | | | 100,658 | 84,485 | 16,173 | 7,804 | |
| 岩 | | | | | | 111,230 | 94,607 | 16,623 | 6,301 | |
| 合 | | | | | | 481,734 | 406,714 | 75,020 | 34,453 | |
| 前年対比 | 95.0% | 94.9% | 94.4% | 97.9% | 96.1% | 85.5% | 84.9% | 88.0% | 86.4% | |
| 1日平均前年対比 | — | 100% | 84.4% | 15.6% | — | — | — | — | — | |
| 男女比率 | 100% | — | 78.8% | 14.5% | 6.7% | — | — | — | — | |
| 総数比率 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |

表2 1期平均女性、子供入場者及び売得金上昇率 (除場外)

| 競馬場 | 55年 | | | | 56年 | | | | 57年 | | | |
|-------|-------|-------|------------|------------|-------|--------|------------|------------|-----|-----|------------|------------|
| | 入場者 | 入場者 | 入場者 上昇率 | 売得金 上昇率 | 入場者 | 入場者 | 入場者 上昇率 | 売得金 上昇率 | 入場者 | 入場者 | 入場者 上昇率 | 売得金 上昇率 |
| 旭 | 7,450 | 8,821 | 118.4% | 96.2% | 6,670 | 76.7% | 81.8% | | | | | |
| 帯 | 6,927 | 4,853 | 70.1% | 76.6% | 5,744 | 118.4% | 100.6% | | | | | |
| 北 | 6,939 | 5,349 | 77.1% | 88.2% | 4,795 | 89.6% | 87.6% | | | | | |
| 岩 | 5,595 | 6,553 | 117.1% | 91.7% | 4,585 | 70.0% | 83.7% | | | | | |
| 総入場者 | | | 90.0% | | | 85.5% | | | | | | |
| 総売上平均 | | | | 87.1% | | | 89.7% | | | | | |

表3 帯広競馬入場者

| 年度 | 回数 | 総入場者 | 入場者 | 男性 | 女性 | 子供 | 売得金 千円 |
|-----|----|---------|---------|---------|--------|--------|-----------|
| 56年 | 5 | 133,775 | 126,453 | 109,506 | 16,947 | 7,320 | 6,028,980 |
| 57年 | 5 | 135,792 | 126,453 | 107,071 | 19,382 | 9,339 | 6,066,570 |
| 上昇率 | | 101.5% | 100% | 97.8% | 114.4% | 127.6% | 100.6% |

に、帯広は女性と子供の入場者の上昇率一一・八・四%に対し、売上も一〇〇・六%を確保することができ、岩見沢、旭川両場の入場者は七〇%台で、売上も十六・十八%減の成績であった。

(3) 帯広の成績が証明する

本年度の帯広の入場人員は、一二六、四五三名で奇蹟的に一桁まで同数でしたが、表3を見ると、女性と子供が大巾に増加し男性が減少しているにも係わらず、売上は四場の本場平均上昇率八九%を大きく上回る一〇〇・六%の好成績であった。

(4) その理由は明確でないが

子供が競馬場内の遊園地やポニーサーピス、子供向けのノベルティと抽せん会等を楽しみにして、母親に競馬場に行くと行くことをねだったのではないかと、女性も気軽に楽しめる、環境造りとPRが効を奏したのではないかと、

女性の馬券購入は、最初は堅実に複勝のバラ券で遊んでいたが、競馬が面白くなるにしたがって連複に移り、徐々に特券に手を出し、一人当たり購買額が増加したのではないかと、

アベックは女性に良いところを見せた、男性が見栄を張って買っているのではないかと、

女性が入れば売上が伸びる原因はさだかでないが、どうも女性は「福の神」のようである。

(鈴木)

ばんえい競走広報活動実施状況

| | 旭川市 | 帯広市 | 北見市 | 岩見沢市 | 市営競馬協議会 |
|------------|---|--|--|--|--|
| ファン感謝デー | % 財布 4,000個 バック 1,000個 綿あめ(子供全員) % マジックフラワー(全員) キャラクター入りライター(全員) 風船、綿あめ(子供全員) キャラクター名前発表 入選作1名 ヤマハサリアン 佳作5名 ・オリジナルスポーツジャケット ・キャラクター入りジッポライター | % お楽しみ抽選会 ばんえいオリジナルTシャツ 100名 ばんえいオリジナルスポーツタオル 200名 % ばんえいオリジナルネクタイピン 3,000個 % おしぼりセット 3,000個 % 美濃焼小鉢 3,000個 帯広市消防音楽隊とパトントラワーズショー | % 子供用自転車 15台 ステレオ ウォークマン10台 % モチ米 10kg 50本 長イモ 10kg 50本 ジャガイモ 20kg 100本 タマネギ 20kg 100本 %~% 使い捨カイロ 10,000個 | %~% タバコ(5本入)マッチ、うちわ、絵葉書 名刺カレンダー 「ガンバ君」パッチ・シール | |
| ポニー乗馬サービス | 日、祝日、無料 3頭 | 日、祝日、無料 5頭 | — | 日・祝日、無料 2頭 ボラロイド写真サービス | |
| 遊園施設の拡張 | — | ベンチ テント 増設 増設 | — | — | |
| 道内P. R | 新聞・テレビ、ラジオ、ポスター・看板、広告塔、ステッカー・たれ幕、マッチ、日程表、宣伝カー | 同 左 | 同 左 | 同 左 | 毎週金曜日「ばんえいハイライト」のTV放映、「ばんえいカレンダー」の配布 20,000部 会報及び日程表の配布 |
| 道外P. R | ばんえいツアー | — | — | — | 「ばんえいカレンダー」の配布、会報の配布 |
| ファン人気投票レース | — | 帯広大賞典 | — | ポブラ賞 300名(トレーナーエプロン) | |
| その他 | ビックプレゼント % 折たたみ自転車10台 ジッポライター10個 % ヘッドホンステレオ 10台 ライター 10個 % 超薄型カメラ 10台 ライター 10個 % マイクロテレビ付 ラジオ 10台 ライター 10個 | ちびっ子プレゼント 磁石セット シャボン玉セット コンパニオン4名配置 | 無料バスの運行 | ばんえいアトラクション ばんえい婦人教室(バック、エプロン) 花火大会 ウルトラマンショー | |

競馬の便り

1 競馬監督

農林水産省畜産局競馬監督課から、ばんえい競走の監督に、左記の日程で会場になり、熱心な監督と御指導を戴いた。

- 7月5、6日 岩見沢 古林監督官
- 7月24日 岩見沢 笠原課長
- 8月20日 帯広 川村次長、平尾技師
- 10月8日 旭川 川原課長、大沢主査
- 11月20、21日 北見 岩淵監督官
- 9月18、19日 帯広 石井監督官
- 10月23、24日 旭川 甲斐監督官
- また、北海道競馬事務所からは、

2 千客万来

本年も各競馬場に数多くのお客様が会場になり、終日ばんえい競走をご熱心に視察されました。

- 5月10日 地全協大山副会長
- 5月22日 ばんえいツアー(大阪)一行40名
- 5月24日 埼玉県市議会議員一行10名
- 6月14日 関西スポーツ記者一行12名
- 7月5日 群馬県競馬組合業務課長他3名
- 7月6日 北海道都市農政課長会議一行30名
- 7月7日 岩手県競馬組合一行8名
- 7月21日 全日本装蹄師会3名
- 7月25日 群馬県競馬組合2名
- 7月26日 上ノ山競馬場一行36名
- 中央競馬獣医師3名

8月1日 読売テレビ(S.T.V) 杉田カオル一行

- 8月2日 岩見沢老人クラブ一行二〇〇名
- 8月8日 地全協広瀬広報課長他2名
- 8月16日 十勝博コンパニオン2名
- 8月18日 岩手県競馬組合警備部長他7名
- 8月22日 名古屋競馬組合一行15名
- 8月30日 十勝農協連千葉部長、フランスアンジェ地区農業委員長ジョセフ・アレックス氏他2名
- 9月12日 野沢組神尾部長、フランスIMV社カスー氏外一名
- 9月20日 群馬県競馬組合3名
- 10月8日 旭川大陽園養護老人ホーム一行
- 10月19日 日本馬事協会小林、那須氏
- 11月21日 全公営前崎専務理事
- 3才馬で二、〇〇〇万円
- 出走前からばんえい版のハギノカムイオーと言われていた、ばんえい史上初の二、〇〇〇万円の3才馬「ハヤカゼ号」が、第一回北見競馬でデビューした。
- 能力検査もさすが高馬、最高タイムの一分二十五秒四で合格。
- 四月二十九日第二Rがデビュー戦で、ファンはハヤカゼ見たさに前例がないほど早朝からぞくぞく入場してきた。レースはファンの人気にこたえ、スタートから鼻を切り2着を四二・三秒差の一分三十九秒七で大楽勝。払戻金は単勝、複勝

とも一〇〇円、連勝複式は一七〇円であった。

夏競馬は若干スランプもあったが、年間成績は重賞一勝、特別四勝、平場で十八戦六勝の好成績で取得賞金は八八三万円で三才馬のNo.1となり、スーパースターの面目をはたした。

4 女性と子供が三十六%
五月五日の「子供の日」は好天に恵まれ北見競馬場は女性と子供であふれてしまった。

子供用自転車十五台、ウォークマン十台の抽せん会のPRが効を奏し、総入場者七、七一八名中女性が一、三八九名一八%、十五才以下の子供が一、三九〇名(二八%)で場内はカラフルな女性と子供で一杯。この三十六%の入場記録は日本一でなかるうか。



5月5日「子供の日」抽せん会

5 道営競馬でばんえい

五月二十三日、道営岩見沢でばんえい競走のアトラクションが実施された。

岩見沢市でライオンズクラブの大会が開催され、約二千名が集まったが、勇壮なばんえい競走をぜひお見せしたいという市長の肝煎で、六頭立二レースを実施したもので、初めて見る方が多く大変人気があった。

6 大阪からばんえいツアー

五月二十二日と三十一日に大阪の日本交通公社が「ばんえい見物と早春の大言」のキャッチフレーズで募集した北海道ツアーの一行四〇名が、貸切バスで旭川競馬場に来場、四レース程ばんえい競走を見物して層雲峡温泉に向った。馬券をとった人もとられた人も初めて見るばんえい競走の迫力を十二分に楽しんで、帰りには記念品として、大きなばんえい競走馬の蹄鉄をプレゼントされ、あまりの大きさにビックリ顔。

7 オタマジャクシすくいが大当り

六月五日、旭川競馬場内チビッコ広場のせせらぎに、オタマジャクシを約一、〇〇〇匹放流。日頃自然に接する機会の少ない都会子達は手足の濡れるのもかまわず大はしゃぎ、チビッコに「オジチャン、ライオンモトムネ」と係員が約束させられ、オタマジャクシ集めの苦労も知らないで口ではボヤいていたが、顔はニコニコ。来年もチビッコのために張切ることでしょう。



オタマジャクシすくい



8 岩見沢競馬場内に児童公園完成

六月二十四日、新きゆう舎団地の隣接地に、児童公園が完成した。名称は「愛馬公苑」と命名され、国兼市長と地域子供会代表二名でテープカットを行い、その後老人クラブメンバーによるゲートボール大会などが行われた。

9 金山明彦騎手1,000勝達成

公苑内にはブランコ、鉄棒、シーソー飛行機型遊具等の他、野球等のスポーツができる十分なスペースがとられ、子供と老人の楽しめる広場となった。

10 好評だった婦人競馬教室

第二次岩見沢競馬初日の七月四日、競馬場内で「婦人競馬教室」を開催した。

11 札幌市内でばんえい競馬

札幌市白石区川北の白石区民野球場横で、馬好きの人たちが主催して、七月四日に第一回札幌ばん馬大会が開かれた。主催は札幌ばん馬同志会で二才く七才までの約七〇頭が集まり障害が二つある二〇〇米コースで二〇レースを実施、賞品も豪華なテレビや砂糖、ビール等の他、優勝旗が十六本もかり、馬主の力入れようも格別。約四〇〇人の観衆は人馬一体の競走を楽しんでいた。

12 杉田かおるロケで来場

昭和四十四年六月岩見沢でヤマトオー記録を達成した。



「愛馬公苑」テープカット



金山騎手1,000勝達成

ザ号に初騎乗、そして初勝利でデビュー以来勝鞍を伸ばし、昭和四十九年から五十五年まで七年間連続一〇〇勝以上をマークする記録を作り、本年度も一一六勝で、通算一、〇八八勝となり、次の目標一五〇〇勝を目指して健闘されることを祈ります。

なお、六月二十七日、岩見沢競馬場で本会が表彰した。

10 好評だった婦人競馬教室

第二次岩見沢競馬初日の七月四日、競馬場内で「婦人競馬教室」を開催した。

11 札幌市内でばんえい競馬

札幌市白石区川北の白石区民野球場横で、馬好きの人たちが主催して、七月四日に第一回札幌ばん馬大会が開かれた。

12 杉田かおるロケで来場

主催は札幌ばん馬同志会で二才く七才までの約七〇頭が集まり障害が二つある二〇〇米コースで二〇レースを実施、賞品も豪華なテレビや砂糖、ビール等の他、優勝旗が十六本もかり、馬主の力入れようも格別。約四〇〇人の観衆は人馬一体の競走を楽しんでいた。

12 杉田かおるロケで来場

八月一日、S T V テレビロケ班が岩見



杉田かおるさん来場

長のジョセフ・アレックス氏と同夫人及びジャン・A・モナン氏の三名が道内農業事情視察の途中帯広競馬場に見学にこられた。同氏は仏国で牛と馬の生産もなされている由、ばんえい競走馬の種雄馬が仏国から輸入され、それ等の産駒が活躍している話に大変興味を持たれていた。

15 美人コンパニオン初登場

第一回帯広競馬から美人コンパニオン四名が初登場、ブルーの帽子、グリーンのお揃いの制服、ベージュのショルダーバッグのお揃いの姿はなかなかスマートで、場内の案内やファンサービスにそって抽せん会や表彰式のアシスタントにと、にこやかな表情での活躍はファンに大好評であった。お名前は大塚明子、阿部信子、佐々木礼子、中村美智子のミスとミセスの四名でした。

13 尾ヶ瀬騎手大記録

第五回岩見沢五日目において、尾ヶ瀬騎手は六戦五勝、二着一回、連対率一〇〇%と一日取得賞金額八七二万円の大記録を二つ樹立した。

一R、四Rの平場二勝、七R3才特別二着、八R四、五才特別、十R岩見沢記念と特別重賞を二勝し、最終十一Rも波に乗って接戦の末五勝目を上げる大記録となった。

14 仏国からのお客様

八月三〇日、十勝農協連千葉部長の案内で、フランスのアンジェ地区農業委員



帯広競馬場美人コンパニオン



雪ダルマが歓迎

16 雪ダルマがファンを歓迎

九月五日帯広競馬場の正門を入り、左側の子供遊園地内に、十数基の雪ダルマが列を作って歓迎、子供達は本物の雪かどうかと恐る恐る近づき、「ツメタイ」と大喜び、暖かい小春日和で残念ながら一日で溶けてしまった。市内の洋菓子店アンデルセンで冬に作った雪ダルマを冷凍庫に入れて保存しておいたものを子供達の為にと寄贈してくれたもの。

17 仏国からのお客様第二陣

九月十二日、帯広競馬場に仏国のお客様第二陣として、IMV社（酪農機械と人工授精機器の販売関係会社）の社長ベルトランド・カスー氏他一名が本道農業事情視察の途中、野沢組の神尾部長の案内で、競馬場に立寄り、始めて見るばんえいに驚きの目を開きながら観戦して帰



仏国アンジェ地区農業委員長アレックス氏来場



仏国IMV社カスー氏来場

られた。

18 入場人員の奇跡

第五回帯広競馬の最終日が終り年間入場人員のソロバンを入れたところ一二六、四四五三名と出た。さて前年対比如何と前年度の入場者を見たところ、一二六、四五三名で一桁まで同数である。これは計算誤りかと再度計算したが同数である。こんな奇跡的なことは全国どこにもないのではなからうか？

19 ガードマンときたみ学園

今年も十月二十九日に北海道総合警備保障の加賀谷警備隊長以下二十四名のガードマンが、養護学校ときたみ学園の子供達十五名を北見競馬場に招待、遊園地と一緒に遊んだり、ジンギスカンなべを囲むなど、恵まれない子供達と昨秋に続いて二度目の交歓会をひらいた。すばらし



楽しい1日のきたみ学園の子供達

い秋晴れの一日で、広い場内でノビノビと元氣一杯思い切り遊んだ子供達は「ガードマンのお兄さんありがとう」と感謝の氣持一杯で帰途についた。

20 女傑キヨヒメ農水大臣賞三勝目

ばんえいのビッグレース農林水産大臣賞典競走(十一月二十一日北見)で女傑キヨヒメ号が五十六年に続いて二連勝(五十四年も一着)となり、通算三勝目の大偉業を成遂げた。

通算成績は一四八戦一八勝、取得賞金七、九八四万円ではばんえい界のNo.1である。

21 青い目の美人カメラマン

十一月二十二日、野沢組の渋谷さんの案内で仏国人の美人カメラマン、アン・ルローさんが北見競馬場に來場、ばんえい競走を取材していった。

彼女は「世界の競馬」と言うテーマで米國を取材して日本に來たばかり、來日の目的は「ジャパソカップ」の取材と世界に一つしかないばんえい競走の取材であり、小柄な体で大きなカメラをかついで精力的に取材をして歸られた。

22 おけと人間ばん馬が日本一

競馬の話ではないが置戸町の「おけと人間ばん馬一世」チームが、全日本綱引き選手権大会で昨年に続き二連勝した。二位は同じ二世チーム。

馬産地の網走地区は原木を乗せたそりを引っぱる「人間ばん馬」が盛んで、特に置戸町の夏まつりの人間ばん馬は有名である。

置戸町は人間ばん馬の他に綱引きも盛んな町で、単純ではあるがだれでも参加できるこのスポーツを町民こぞって楽しんでる。

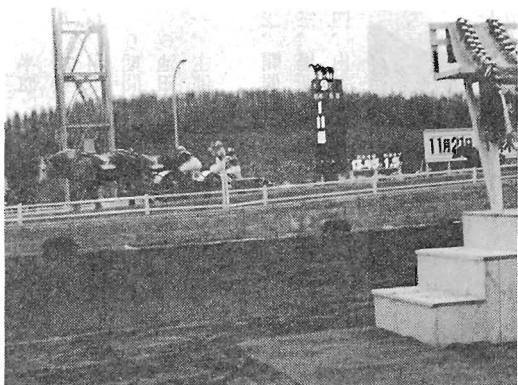
23 新人小林騎手の活躍

新人騎手小林勝二は、デビュー戦の五月一日第一回北見二日目五Rのマルタカフジヒメで初騎乗、初勝利に輝き、また九月十一日の帯広戦では新人らしからぬ五戦三勝、三着一回、五着一回の大活躍、年間成績は二二一騎乗二十五勝で初年度で減量の☆印がとれた。

24 兄弟騎手の大活躍

ばんえいには西、鈴木二組の兄弟騎手がいるが、その一組西兄弟の活躍はすばらしかった。

弟の康幸は新人騎手で春競馬は兄弘美を抜く勝鞍をあげるデビュー振り、年



農水大臣賞キヨヒメ3勝目

内成績では四三六戦三十六勝の好成績であり、この勝鞍は兄弘美が昭和五十五年新人で樹立した年間三十八勝のレコードに次ぐ成績であった。

25 北海道競馬誌「北ぐにの競馬」の刊行

中央札幌競馬主協会は、昭和二十四年の創立だが、昭和五十四年三十周年を迎え、その記念事業として、北海道競馬誌「北ぐにの競馬」を刊行することを計画、以來三年間編集に当たってきたが、このほど二月によりやく完成した。

26 内田靖夫氏油絵個展「馬と風景」開催

元本会事務局局長内田靖夫氏の油絵個展「馬と風景」を左記で開催致します。

期日 七月十二日から同十七日まで
場所 札幌市民ギャラリー
地下鉄バスセンター駅又は、市バス
停中央小学校前下車



各地の祭典ばんば

馬産奨励事業の一環である祭典(記念)ばんば競走は、年々内容が充実し、各主催者の努力のほどがうかがえます。今後共市営競馬発展のために、馬産奨励にご協力願います。

ここに、各主催者より送られた終了報告書をもとにして各地の祭典(記念)ばんば競走を紹介いたします。

一、主催 北渡島家畜商茅部支部鞍馬競技大会
会長 西村 忠三郎

二、開催日 五月十六日

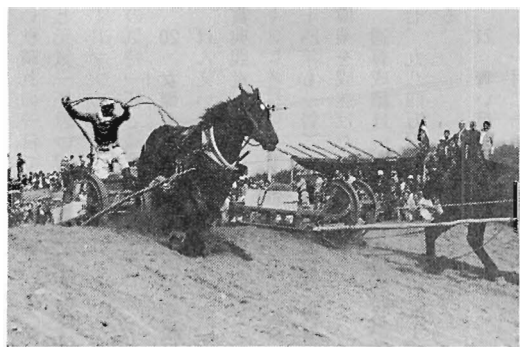
三、場所 青葉ヶ丘公園町民野球場前鞍馬場

四、出走頭数 一〇三頭

五、競走数 二十七レース

六、入場者数 一八、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 カイジンホマレ



優勝馬カイジンホマレの障害越え(北渡島)

半血 雄二才

八、馬主 函館市 山田 進

九、明年度開催の予定 五月森町桜まつり期間中の予定

〇池田町鞍馬競技大会

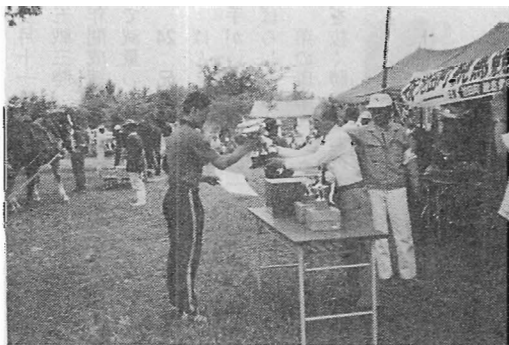
一、主催 池田町鞍馬愛好会

会長 田中 弘

二、開催日 六月十五日

三、場所 池田町字清見特設馬場

四、出走頭数 七十六頭



本会会長賞受賞(池田町)

五、競走数 二十三レース

六、入場者数 二、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 サカエヒメ

重半 雌六才

八、馬主 池田町字信取 阿部 孝雄

九、明年度開催の予定 六月十五日

〇第三十六回むろらん港まつり

一、主催 室蘭鞍馬同志会

会長 笹浪 幸男

二、開催日 七月二十五日

三、場所 室蘭市入江町埋立業務用地



本会会長賞受賞(室蘭)

四、出走頭数 五十九頭

五、競走数 二十三レース

六、入場者数 三、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 シゲノハラシメ

重半 雌三才

八、馬主 札幌市 宮本畜商

九、明年度開催の予定 七月最終日曜日

〇豊浦町ばんば競技大会

一、主催 豊浦町馬産改良同志会

会長 西川 正

二、開催日 八月八日

三、場所 豊浦町字桜スカンジア広場

四、出走頭数 八十頭

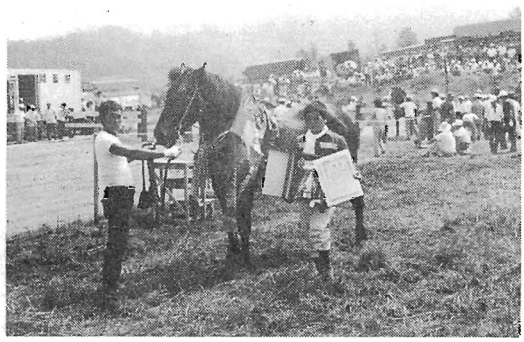
五、競走数 二十レース

六、入場者数 七、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 關魂

中半 雄二才

八、馬主 砂原町 岩井畜産



本会会長賞受賞馬（豊浦町）

九、明年度開催の予定 八月上旬

○鹿追町競馬競技大会

一、主催 鹿追町瓜幕競馬会

会長 菊池 義憲

二、開催日 八月二十一日

三、場所 鹿追町瓜幕競馬場

四、出走頭数 六十一頭

五、競走数 三十七レース

六、入場者数 六〇〇名

七、本会副賞受賞馬 ヒメボタン 六才

八、馬主 鹿追町笹川 飯田 貢

九、明年度開催の予定 八月二十一日

○浦幌町ばん馬大会

一、主催 浦幌町馬産振興協議会

会長 坂口 岩夫

二、開催日 八月二十日

三、場所 浦幌町帯富特設馬場

四、出走頭数 六十頭

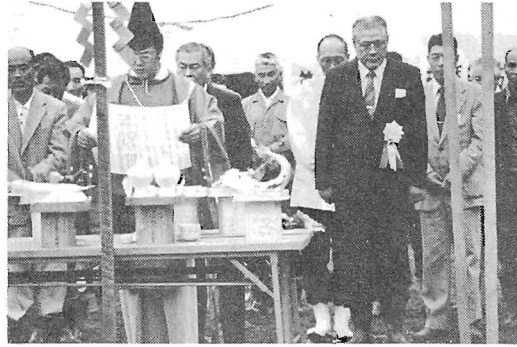
五、競走数 二十五レース

六、入場者数 五五〇名

七、本会副賞受賞馬 カツホマレ

雌七才

八、馬主 河東郡上士幌町 渋谷 克雄



レースの安全を祈る（浦幌町）

九、明年度開催の予定 八月

○下川町曳曳競技大会

一、主催 下川町ふるさとまつり

実行委員会 委員長 山口 恒二

二、開催日 九月五日

三、場所 下川町中央橋上流特設会場

四、出走頭数 五十二頭

五、競走数 二十一レース

六、入場者数 一、七〇〇名

七、本会副賞受賞馬 芳栄

半血 雌三才

八、馬主 上川郡下川町 川崎 金作

九、明年度開催の予定 九月上旬

○滝上町秋季競馬競技大会

一、主催 相馬妙見神社愛馬講

会長 齊藤 忠治

二、開催日 九月一日

三、場所 滝上町幸町競馬競技場

四、出走頭数 五十七頭

五、競走数 二十一レース

六、入場者数 一、四〇〇名

七、本会副賞受賞馬 ミス紅花

重系 雌八才

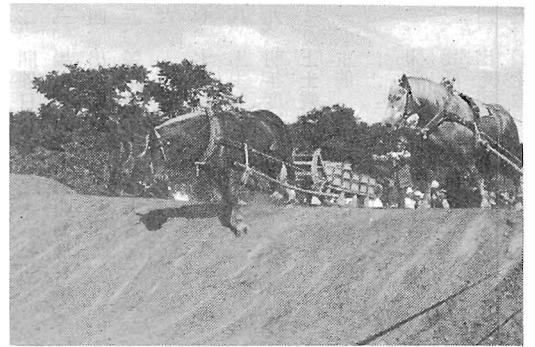
八、馬主 滝上町 柴田 栄次郎

九、明年度開催の予定 九月一日

○音更町東士幌ばん馬会

一、主催 音更町東士幌曳曳競馬会

会長 田宮 一夫



障害越え（下川町）

二、開催日 九月二日

三、場所 音更町東士幌特設競馬場

四、出走頭数 四十三頭

五、競走数 十九レース

六、入場者数 一、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 オデオン姫

雌三才

八、馬主 足寄町 只野 幸一

九、明年度開催の予定 九月二日

○標津・中標津連合馬事競技大会

一、主催 標津・中標津地区馬事愛好会

会長 秋山 隆男

二、開催日 八月二十二日

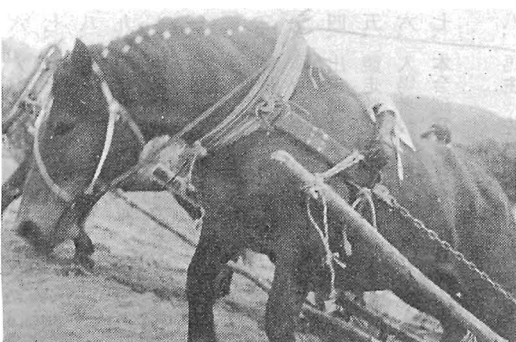
三、場所 中標津町南中特設競馬場

四、出走頭数 一〇五頭

五、競走数 二十レース

六、入場者数 二、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 カツホマレ



それ登れ（滝上町）

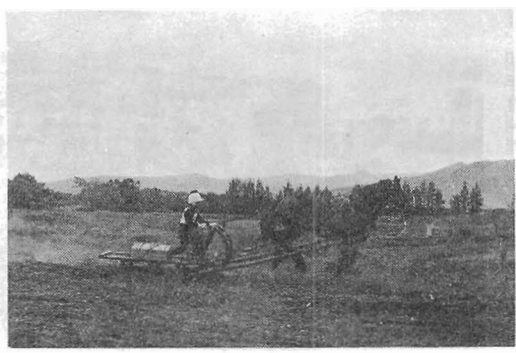
- 八、馬主 上士幌町 渋谷 克雄
- 九、明年度開催の予定 八月中旬
- 弟子屈町馬産振興同志会

- 一、主催 弟子屈町馬産振興同志会
- 会長 阪口 麻一

- 二、開催日 九月五日
- 三、場所 弟子屈町馬産振興同志会
- 四、出走頭数 九十七頭
- 五、競走数 二十三レース

- 六、入場者数 一、五〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 ミスタカラ

- 八、馬主 弟子屈町 長谷川 義晃



婦人レース (弟子屈町)

- 九、明年度開催の予定 九月上旬
- 根室市馬事競技大会
- 一、主催 根室市馬事振興会
- 会長 矢部 博之

- 二、開催日 九月十二日
- 三、場所 根室市馬事公園
- 四、出走頭数 九十頭
- 五、競走数 二十二レース

- 六、入場者数 三、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 リュウドウ
- 会長 雄十才

- 八、馬主 釧路市 山根 正勝
- 九、明年度開催の予定 九月十八日
- 本別町馬産振興同志会

- 一、主催 本別町馬事振興会
- 会長 山口 悟

- 二、開催日 九月十九日
- 三、場所 本別町美里別東下本別品評会
- 場

- 四、出走頭数 七十一頭
- 五、競走数 三十三レース
- 六、入場者数 七〇〇名



本会会長賞受賞馬 (本別町)

- 七、本会副賞受賞馬 アスカ 雌三才
- 八、馬主 本別町清里 新津 初男
- 九、明年度開催の予定 九月十九日
- 浜中町畜産祭典

- 一、主催 浜中町畜産祭典実行委員長
- 浜中町長 中山 真

- 二、開催日 十月二日
- 三、場所 浜中競馬場
- 四、出走頭数 九十七頭
- 五、競走数 二十五レース

- 六、入場者数 九〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 アイドル
- 会長 雌三才

- 八、馬主 浜中町 扇 俊治
- 九、明年度開催の予定 十月二日
- 恵庭市馬事競技大会

- 一、主催 恵庭市馬事振興会
- 会長 福田 豊雄

- 二、開催日 九月二十一日
- 三、場所 恵庭市畜産共進会場
- 四、出走頭数 二十七頭
- 五、競走数 十九レース

- 六、入場者数 三、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 鉄姫 半血雌二才
- 八、馬主 恵庭市 遠藤 稔
- 九、明年度開催の予定 九月十八日
- 上士幌町馬産振興同志会

- 一、主催 上士幌町馬産振興同志会
- 会長 中島 新一

- 二、開催日 九月二十日
- 三、場所 上士幌町民グラウンド
- 四、出走頭数 七十頭
- 五、競走数 二十八レース

- 五、競走数 二十八レース

- 六、入場者数 五〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 アラジ 雄二才
- 八、馬主 遠軽町 新木 正
- 九、明年度開催の予定 九月二十日
- 佐呂間町畜産振興同志会

- 一、主催 佐呂間町畜産振興同志会
- 会長 栄 元治

- 二、開催日 九月二十五日
- 三、場所 佐呂間町農協畜産センター
- 四、出走頭数 七十一頭
- 五、競走数 三十二レース

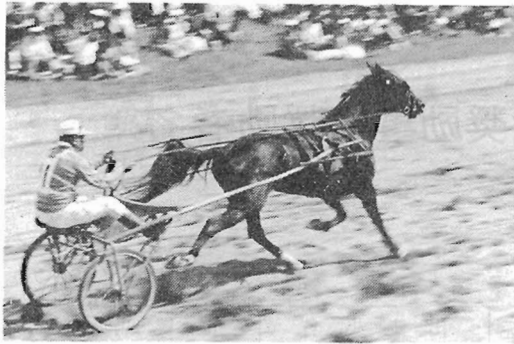
- 六、入場者数 一、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 サロマオー
- 会長 雄二才

- 八、馬主 佐呂間町 窪内 久義
- 九、明年度開催の予定 九月二十六日
- 足寄町家畜祭典馬産大会

- 一、主催 足寄町馬協



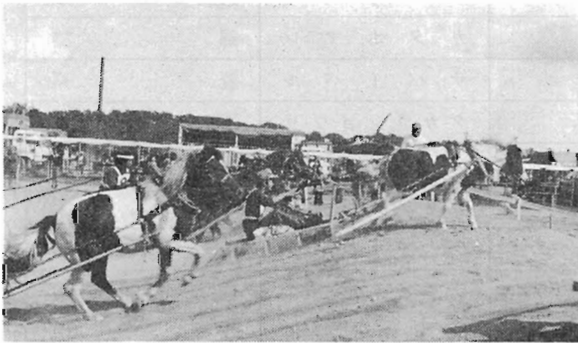
本会会長受賞馬 (足寄町)



トロッターレース (別海町)

- 会長 齊藤 祐一
- 二、開催日 九月十五日
 - 三、場所 足寄町字里見が丘
 - 四、出走頭数 九十四頭
 - 五、競走数 二十レース
 - 六、入場者数 一、〇〇〇名
 - 七、本会副賞受賞馬 アラミノル
 - 八、馬主 遠軽町 新木 正
 - 九、明年度開催の予定 九月十五日
- 〇幕別町鞍馬競技大会
- 一、主催 幕別町鞍馬競技大会
実行委員長 森脇 仁
- 二、開催日 九月二十六日
- 三、場所 十勝川千代田えん堤相川特設馬場
- 四、出走頭数 一〇〇頭
- 五、競走数 二十五レース

- 六、入場者数 二、〇〇〇名
 - 七、本会副賞受賞馬 ジャンキ一
 - 八、馬主 根室市 山崎 正
 - 九、明年度開催の予定 九月
- 〇別海町馬事競技大会
- 一、主催 別海町馬事愛好同志会
会長 半田 秀雄
- 二、開催日 九月二十二・二十三日
- 三、場所 別海町農村広場
- 四、出走頭数 一五二頭
- 五、競走数 三十三レース
- 六、入場者数 一八、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 タケザクラ
雌十一才
- 八、馬主 別海町 原田 豊
- 九、明年度開催の予定 九月二十二・二十三日
- 〇長沼相馬神社奉納ばん馬大会
- 一、主催 長沼相馬神社奉納ばん馬競技大会
- 二、開催日 八月十七日
- 三、場所 長沼町第十四区農村広場
- 四、出走頭数 五十五頭
- 五、競走数 二十レース
- 六、入場者数 二〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 カツヒメ 雌三才
- 八、馬主 長沼町 谷本 秀吉
- 九、明年度開催の予定 未定
- 〇雄武町鞍馬競技大会
- 一、主催 雄武町馬産振興会
会長 尾田 美供
- 二、開催日 八月十五日



それいけポニー (別海町)



サーイくぞ (別海町)



それノスタート (西胆振)

- 三、場所 雄武ばん曳会場
 - 四、出走頭数 八十頭
 - 五、競走数 二十九レース
 - 六、入場者数 二、〇〇〇名
 - 七、本会副賞受賞馬 雄栄
 - 八、馬主 高野 治郎
 - 九、明年度開催の予定 未定
- 〇西胆振鞍馬競技大会
- 一、主催 西胆振鞍馬同志会
会長 森 秀夫
- 二、開催日 七月十一日
- 三、場所 虻田町家畜センター
- 四、出走頭数 一三二頭
- 五、競走数 二十三レース
- 六、入場者数 三、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 第二宮菊
半血 雌二才
- 八、馬主 室瀨市 菊池 勲
- 九、明年度開催の予定 七月十日

昭和57年度

北海道市営競馬協議会馬産奨励事業奨励者名簿

| 交付者氏名 | 生産者奨励 | | |
|--------|--------------|----------|---------|
| | 住所 | 出走馬名 | 血統馬名 |
| 相沢 醇一 | 足寄郡足寄町奥足寄 | アカンコマ | 大 洋 |
| 大竹口 勝義 | 〃 〃 上足寄太 | アサマセイコウ | 大 勇 |
| 永井 満 | 〃 〃 中足寄 | エイサイ | 栄 山 |
| 大久庄 二郎 | 足寄郡足寄町字栄 | カゲコマ | 栄 進 |
| 宮川 卓夫 | 〃 〃 字ラワン高台 | キタノソロン | 第 二 刀 卷 |
| 須藤 有弘 | 〃 〃 奥足寄 | コダカラニセイ | 大 宝 |
| 佐藤 祐子 | 〃 〃 大替地 | サカイエサミ | 栄 雄 |
| 山岡 義治 | 〃 〃 中足寄 | ダイニカイリキ | 第 二 快 力 |
| 青木 栄 | 〃 〃 ラワン高台 | チカラオーザ | 光 雄 |
| 石田 武広 | 〃 〃 長野 | トチムサシ | 宝 雄 |
| 難波 勇治郎 | 〃 〃 末広 | トヨヒカリ | 富 士 |
| 石井 昌雄 | 〃 〃 ラワン高台 | ハクイチ | 原 雄 |
| 宮崎 貞太郎 | 〃 〃 西一線 | ムツキング | 貞 雄 |
| 山路 敏 | 中川郡池田町字常盤 | カタホマレ | 錦 雄 |
| 成田 房吉 | 〃 〃 字昭栄 | サバイバル | 豊 嘉 |
| 野村 弘信 | 〃 〃 大通8-38 | タカラショウリ | 玉 竜 |
| 金川 貞雄 | 〃 〃 豊田 | タカラボシ | 宝 富 士 |
| 野村 弘信 | 〃 〃 大通8-38 | テラノジョージ | 竜 宝 |
| 川本 俊清 | 〃 〃 富岡 | ライシン | 雷 紳 |
| 富本 数一 | 〃 〃 豊田 | ライフク | 豊 田 |
| 北村 正義 | 〃 〃 西2条7丁目 | レッドボーイ | 博 山 |
| 笹島 岩雄 | 十勝郡浦幌町瀬多来 | アキセイコー | 銀 山 |
| 北野 功 | 〃 〃 上厚内 | クインハッピー | 梨 花 |
| 佐藤 重夫 | 〃 〃 貴老路 | バラトオー | 馬 宝 |
| 渡佐 一男 | 〃 〃 川流市 | ビクトリー | 浦 幌 星 |
| 林 重雄 | 河東郡音更町下士幌長流枝 | カチドククイン | 第 二 夕 清 |
| 川端 正清 | 〃 〃 東和錦区 | カネヒロクイン | 幸 宝 |
| 仁木 成行 | 〃 〃 上然別北替区 | キタノファイター | 英 花 |
| 小森 元一 | 〃 〃 東和東昭和区 | タカシオ | 織 栄 |
| 安海 吉雄 | 〃 〃 大通6丁目 | トヨタカ | 葵 雄 |
| 太田 利之助 | 〃 〃 駒場東武儀区 | マサミドリ | 武 雄 |
| 高山 久夫 | 〃 〃 士幌長流枝 | ヨシヒサ | 千 成 |

| 交 付 者 氏 名 | 生 産 者 奨 励 | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|
| | 住 所 | 出 走 馬 名 | 血 統 馬 名 |
| 川 原 和 男 | 白糠郡白糠町庶路眺 | イ チ ホ マ レ | 第 二 宝 優 |
| 芳 沢 保 | 〃 〃 和天別大秋 | イ ナ テ ン リ ュ ウ | 桜 将 |
| 田 村 政 利 | 〃 〃 茶路共栄 | エ ル ミ ー | 春 詠 |
| 湯 村 勲 | 〃 〃 庶路泊別 | キ ン カ ジ ョ ウ | 宝 詠 |
| 藤 田 竹 蔵 | 〃 〃 茶路川西 | ミ ス ハ イ ス ピ ー ド | 星 詠 |
| 中 村 正 人 | 中川郡豊頃町保栄 | ア ポ ロ セ イ コ ー | 貴 の 風 |
| 前 田 利 助 | 〃 〃 大川 | イ ワ テ コ マ | 勇 姿 |
| 脇 坂 市 郎 | 〃 〃 牛首別 | キ タ ノ バ イ コ ー | 優 宝 |
| 相 沢 誠 治 | 〃 〃 字保栄 | キ ン ワ シ | 緑 |
| 野 原 博 | 〃 〃 統内 | ス ト ロ ン グ パ ワ ー | 富 宝 |
| 吉 村 孝 次 郎 | 〃 〃 二里塚 | タ カ ラ シ ン ザ ン | 日 の 出 |
| 門 寿 雄 | 〃 〃 仁徳 | タ カ ラ ソ ウ シ ン | 大 宝 |
| 梶 己 之 助 | 〃 〃 長節 | ト カ チ レ デ ィ ー | 宝 姫 |
| 門 寿 雄 | 〃 〃 仁徳 | バ ン エ イ ユ シ ン | 宝 雄 の 一 |
| 木 幡 忠 義 | 〃 〃 石神 | パ ー ク ワ イ ン | 宝 姫 |
| 宝 田 健 一 | 〃 〃 十弗 | ヒ デ タ カ ラ | 宝 秀 |
| 原 庸 良 | 〃 〃 石神 | ビ バ イ ニ セ | 栄 進 |
| 川 向 義 信 | 〃 〃 牛首別 | ヤ マ タ カ ラ | 竹 宝 |
| 中 野 勲 | 〃 〃 上農野牛 | ヤ マ チ カ ラ | 宝 琴 |
| 渡 辺 誉 | 〃 〃 小川 | ヤ マ ト コ マ | 宝 烈 |
| 舟 越 栄 太 郎 | 〃 〃 保栄 | リ キ エ ー ス | 第 二 松 風 |
| 助 川 秋 好 | 〃 幕別町新和162 | ア サ イ タ カ ラ | 第 一 宝 |
| 高 島 一 夫 | 〃 〃 駒島 | イ チ ミ ニ ョ ン | 勝 吉 |
| 山 田 由 太 郎 | 〃 〃 新川 | エ ゾ チ カ ラ | 大 空 |
| 宮 本 喜 五 郎 | 〃 〃 豊岡 | カ ミ ヒ リ ュ ウ | 久 豊 |
| 大 西 信 夫 | 〃 〃 茂発谷 | ゴ ー ル デ ン オ ー | 優 都 |
| 三 好 真 須 雄 | 〃 〃 猿別 | シ ゲ マ サ | 大 雄 |
| 安 田 清 蔵 | 〃 〃 千住 | ス イ セ イ | タ カ ラ 雄 |
| 高 井 サ ヨ 子 | 〃 〃 相川 | ソ ー オ ー | 報 栄 |
| 山 田 由 太 郎 | 〃 〃 新川 | タ ケ ユ キ | 錦 |
| 横 田 春 市 | 〃 〃 白人 | テ ツ ケ ン | 第 二 宝 |
| 斉 藤 園 吉 | 〃 〃 豊岡 | ニ ッ セ イ ヒ リ ュ ウ | 久 宝 |
| 大 西 三 四 郎 | 〃 〃 茂発谷 | ハ ル ノ オ ウ シ ョ ウ | 鉄 玉 |
| 小 笠 原 孝 一 | 〃 〃 大豊 | フ ラ ノ マ ツ カ ゼ | 宝 都 |
| 矢 竹 喜 市 郎 | 〃 〃 相川 | ベ ル ヨ シ エ | 礼 雄 |
| 浅 井 嘉 市 | 〃 〃 軍岡 | マ ル ゼ ン タ カ ラ | 松 宝 |
| 近 石 秀 雄 | 〃 〃 相川 | リ ュ ウ ダ イ ヤ | 義 宝 |

| 交 付 者 氏 名 | 生 産 者 奨 励 | | |
|-----------|------------------|-------------|-------------|
| | 住 所 | 出 走 馬 名 | 血 統 馬 名 |
| 荒 宗 義 | 中川郡本別町美里別西中 | キャプテンダンディ | 千 山 |
| 秋 葉 守 | 〃 〃 勇足西4区 | ジャンプホマレ | 桜 駒 |
| 条 田 幸 利 | 〃 〃 勇足東3区 | ハヤウンリュ | 鉄 鯉 王 |
| 遠 藤 長 三 | 〃 〃 拓栄 | ヒメトカチ | 十 菊 |
| 新 津 繁 | 〃 〃 清里 | フェニックス | 繁 麗 |
| 清 重 政 春 | 広尾郡大樹町字生花 | カイリュウザン | 勝 栄 |
| 伊 藤 治 | 河東郡上士幌町字居辺 | ゲ ン タ ー | 緋 桜 |
| 小 松 留 吉 | 〃 〃 上士幌 | タケチカラ | 豊 錦 |
| 村 上 繁 太 郎 | 〃 〃 上士幌 | ヤシロショウショウ | 大 鉄 |
| 和 田 登 志 男 | 河東郡上士幌町字中幌東6線105 | サ ツ コ マ | 芳 勝 |
| 飛 鷹 武 夫 | 足寄郡陸別町字宇遠別 | ハ ツ ナ ミ | 北 進 |
| 遠 藤 善 一 | 網走市字稲富38 | キ タ ノ サ ト | 北 里 |
| 今 泉 豊 治 | 〃 字稲富355 | タ マ ホ ー プ | 風 月 |
| 石 井 権 | 〃 字呼人568 | ペ ガ サ ス | 鋭 進 |
| 細 川 忠 | 北見市本沢 | カ ゲ オ ー ザ | 大 栄 |
| 近 藤 美 智 男 | 〃 北陽188 | ハ ク デ ン コ ウ | 第 一 海 風 |
| 諸 橋 英 二 | 〃 東相内216 | ヤ マ ト ザ ク ラ | 英 駿 |
| 藤 枝 勝 行 | 紋別市渚滑町元西222-3 | カシュウビューティ | 北 風 |
| 高 橋 盛 行 | 〃 〃 川向 | カネマルニシキ | 銀 山 |
| 藤 枝 勝 行 | 紋別市渚滑町元西222-3 | キ タ ノ ホ シ | 北 の 星 |
| 近 藤 健 一 | 〃 上渚滑町奥東 | パ ワ ス キ ー | 勝 誉 |
| 谷 口 義 雄 | 〃 大山町2-1 | ホ ー テ ー | 第 二 宝 蹄 |
| 徳 田 栄 治 | 常呂郡佐呂間町字若里大和 | キ ン グ オ ー | 栄 ロ ッ シ ー ニ |
| 中 原 正 一 | 〃 〃 字知来 | シャチリュウ | 佐 呂 間 ト ッ プ |
| 徳 田 栄 治 | 〃 〃 字若里大和 | マゴロッシーニ | 孫 ロ ッ シ ー ニ |
| 谷 口 武 雄 | 〃 〃 字中園 | ミスハヤブサ | 姫 ロ ッ ジ |
| 須 佐 弘 明 | 〃 〃 字知来 | リ ュ ー ホ ウ | 豊 勝 |
| 佐 藤 峯 夫 | 紋別郡遠軽町字栄野348 | ベニキリン | 第 二 真 朝 |
| 岡 崎 八 郎 | 〃 〃 字野上 | ホマレエース | 第 二 栄 |
| 藤 吉 武 | 常呂郡常呂町字岐阜 | キ ン ブ ル | 青 竜 |
| 高 橋 貞 雄 | 〃 〃 字富丘264 | ハ シ リ フ ジ | 常 進 |
| 矢 野 定 芳 | 〃 〃 字富丘100-3 | ハヤテリュウ | 荒 鷲 |
| 大 水 徳 光 | 紋別郡雄武町字豊丘 | キタノカイリキ | 福 勇 |
| 鈴 木 由 雄 | 〃 〃 曙 | フ ク マ ツ | 藤 栄 |
| 豊 田 正 義 | 〃 〃 字漁田 | マ サ ト ッ プ | 隆 姫 |
| 小 玉 鉄 五 郎 | 〃 〃 曙 | ヨ シ オ コ マ | 隆 朝 |
| 桑 原 弥 一 | 〃 湧別町東芭露 | アサヒホープ | 北 進 一 |
| 野 村 昌 宏 | 〃 上湧別町中湧別南町 | キタノカイウン | 湧 楓 |

| 交付者氏名 | 生産者奨励 | | |
|-------------|---------------|-------------------|---------|
| | 住 所 | 出走馬名 | 血統馬名 |
| 小野 勝一 | 紋別郡上湧別町中湧別南町 | キヨホー | 勝一心 |
| 〃 | 〃 〃 中湧別南町 | シルバー | 大勝 |
| 高木 幸雄 | 網走郡女満別町字巴沢145 | シャリイケズキ | 稔豊 |
| 真鍋 金太郎 | 〃 〃 住吉中島 | チェリーニセイ | 真栄 |
| 〃 | 〃 〃 | リユーセイキング | 盤玉 |
| 中川 良範 | 常呂郡端野町二区580-6 | オトイフジ (旧ヤノリュウ) | 第二光星 |
| 山内 清 | 網走郡津別町字豊永 | シャリスルズミ | 光山 |
| 小野寺 弘 | 常呂郡訓子府町高園 | イチハヤブサ | 露駿 |
| 林 茂 | 〃 〃 柏丘 | オーロシニ | 露桜 |
| 〃 | 〃 〃 〃 | シゲノハラニセイ | 第二シゲノハラ |
| 畑中 秋幸 | 斜里郡斜里町中斜里 | カネオビジョン | 斜里一 |
| 原 輝正 | 〃 〃 美咲 | サクタロー | 宝二世 |
| 妻方 格次 | 〃 東藻琴村 | キヨユキ | 躍進 |
| 道下 知敏 | 釧路市北斗 | アサヒテンリュウ | 魂旭 |
| 高谷 茂 | 〃 駒牧 | アラタマ | 道釧 |
| 山根 清 | 〃 中島町12-2 | カドサカエ | 新星 |
| 佐々木 勇 | 〃 大楽毛4-184 | サワラテンリュウ | 雄勝 |
| 釧路農業協同組合連合会 | 〃 黒金町12丁目10 | トカチボタン | 輪宝 |
| 山根 清 | 〃 中島町 | ファントムクイン | 栄柑 |
| 山根 義勝 | 〃 鳥取大通9 | ヤマトプリンス | 銅山 |
| 〃 | 〃 〃 | ロイヤルシンザン | 青銅 |
| 古内 勇 | 阿寒郡阿寒町布伏内 | カバトシンザン | 銅恵 |
| 高橋 正次 | 〃 〃 下舌辛 | クシロニシキ | 第三高鉄 |
| 橋本 君徳 | 〃 〃 西阿寒 | シャリホマレ | 小桜竜 |
| 城川 修一 | 〃 〃 上徹別 | ミサワテンリュウ | 新修 |
| 勝呂 久夫 | 川上郡弟子屈町南屈子屈 | ハヤグリーン | 南仙 |
| 渡辺 三郎 | 〃 〃 厚野 | レットクイーン | 楓翔 |
| 高橋 泰司 | 川上郡標茶町阿歴内 | アサヒシルバー | 第一播竜 |
| 萱沼 誠 | 〃 標茶町阿歴内 | カイセイ | 誠松 |
| 山崎 正雄 | 〃 〃 東阿歴内 | ゴールドエース | 昭勇 |
| 及川 権一 | 〃 〃 上オンベツ | ハイエイコ | 宝栄 |
| 大道 実 | 野付郡別海町別海新栄町9 | ハヤブサオー | 勝映 |
| 桑川 一郎 | 〃 〃 西春別278-8 | クメワカ | 桑ロッシーニ |
| 榎木 慶矩 | 標津郡標津町川北北10東1 | カワキタシンザン | 金華玉 |
| 畑 正憲 | 〃 中標津町協和27 | ムツノウルフ | 陸奥狼 |
| 工藤 幸吉 | 勇払郡穂別町字茂別 | ペンケイ | 義経 |
| 上村 俊美 | 〃 〃 字稲里1 | ホベツホース | 松岳 |
| 高橋 秀一 | 〃 〃 字平丘 | レッドスピード | 盛栄 |

| 交付者氏名 | 生産者奨励 | | |
|-------|----------------|-------------------|------|
| | 住 所 | 出走馬名 | 血統馬名 |
| 矢野清志 | 虻田郡豊浦町字桜 | サワラエイコウ | 豊清 |
| 勝木豊 | 〃 〃 字桜 | ベニハヤブサ | 駒緑 |
| 高畑静男 | 有珠郡壮瞥町字立香 | コマネチ | 泉姫 |
| 松浦登 | 〃 〃 東湖畔 | サダノイワ | 宗雄 |
| 岩倉博 | 〃 〃 滝之町 | テルスター | 岳雄 |
| 立谷貢 | 虻田郡虻田町字泉 | イワテタイガー (旧フミエ) | 第一紅丸 |
| 〃 | 〃 〃 〃 | ホマレサカエ | 初錦 |
| 遊佐喜一 | 〃 〃 字花和 | サワラエイコウ | 北誉 |
| 酒井秀克 | 勇払郡早来町緑丘 | コマサカエ | 克駒 |
| 長谷川均 | 〃 〃 東遠浅 | マルトセンプー | 楓山 |
| 酒井秀克 | 〃 〃 緑丘 | ミネノダンサー | 初姫 |
| 榊寿博 | 〃 追分町本町5丁目 | カネサスピード | 第一稲花 |
| 長谷部信悦 | 沙流郡日高町日高 | マルタカフジヒメ | 界日 |
| 森野敏政 | 〃 〃 字松風町 | ミスクリヤマ | 勝花 |
| 松本清志 | 新冠郡新冠町若園 | ニイカップスター | 勇日 |
| 〃 | 〃 〃 〃 | マルゼントップ | 勇伍 |
| 関村清 | 〃 〃 泉 | マルトテンシン | 力新山 |
| 松本清志 | 〃 〃 若園 | ムツノハヤテ | 新昌 |
| 谷川芳郎 | 沙流郡門別町字正和 | カネサカエ | 谷風 |
| 内藤正弘 | 〃 平取町字荷負 | マルモキロク | 青雄 |
| 吉田正 | 夕張郡長沼町東4線北6号 | グランドオー | 優雪 |
| 城戸良雄 | 〃 〃 北長沼 | ニセイランサー | 宝勇 |
| 片山光夫 | 〃 〃 市街地 | ミスカタヤマ | 優花 |
| 松田昇 | 夕張市清水沢宮前町 | ホマレチカラ | 陳昇 |
| 岩城米光 | 旭川市東旭川町上兵村63 | ワカイワイ | 竜音 |
| 嶋田孝四郎 | 富良野市山部町東20線21 | シマノオーザ | 宝玉 |
| 嶋田吉太郎 | 〃 〃 東17線 | シマノタロー | 露鉄 |
| 武田三治 | 上川郡美瑛町美馬牛 | カネサホープ | 産雄 |
| 田辺久雄 | 天塩郡天塩町字雄信用泉源 | アンテンニセイ | 安天二世 |
| 〃 | 〃 〃 〃 | マツカゼオー | 安天桜 |
| 高橋良徳 | 〃 〃 字雄信内新成 | ヤクモチカラ | 塩風 |
| 池田松男 | 〃 〃 字振老 | リンガーハット | 東雄 |
| 庄司政志 | 稚内市荻見5丁目8番19号 | ダイイチアンテン | 豊宝 |
| 浅野真 | 〃 沼川字川西 | フジノタイショウ | 槍勇 |
| 久本茂太郎 | 虻田郡真狩村字川崎 | トキノヤマブキ | 第一小玉 |
| 三井樹雄 | 帯広市西16条南4丁目6番地 | アメリカンホース | 力道 |

| 交 付 者 氏 名 | 生 産 者 奨 励 | | |
|-----------|-----------------|--------------------|---------|
| | 住 所 | 出 走 馬 名 | 血 統 馬 名 |
| 梅 本 富 夫 | 帯広市東2条南23丁目 | ジャケット | 北 の 宝 |
| 小 池 弘 | 静内郡静内町字目名 | エリモムサシ | 日 勝 |
| 山 本 忠 雄 | 〃 〃 字真歌 | ヒダカダイヤ | 青 葉 |
| 細 井 義 雄 | 紋別郡滝上町1区 | アンテントップ | 滝 嵐 |
| 斉 藤 国 秀 | 〃 〃 白鳥 | キリンホマレ | 滝 勇 |
| 堂 閑 久 夫 | 厚岸郡厚岸町尾幌中央 | キタノショウハイ | 栄 竜 |
| 〃 | 〃 〃 〃 | キンショウリ | 堂 久 |
| 長 沢 幸 夫 | 厚岸郡浜中町浜中市街 | キタノシンゲキ | 勝 波 |
| 谷 口 喜 一 郎 | 〃 〃 上茶内 | ハヤダイヤ | 宝 竜 |
| 伊 藤 直 蔵 | 上川郡下川町溪和 | ササカツ | 大 五 郎 |
| 松 本 武 敏 | 〃 〃 中成 | バンエイオー | 秀 丸 |
| 大 平 達 雄 | 枝幸郡枝幸町字風烈布178-1 | ビクトリーエース (旧クニオ) | 朝 藤 |
| 木 幡 一 男 | 広尾郡忠類村字朝日 | ダイニハヤト | 頑 鉄 |
| 松 島 太 市 | 紋別郡興部町朝日一区 | ハクテンザン | 楓 笛 |
| 柴 田 正 武 | 檜山郡上ノ国町豊田 | ヒロテンリュウ | 第 四 豊 桜 |
| 山 岡 福 一 | 雨竜郡沼田町字沼田6区 | マツフジセンブー | 福 竜 |
| 谷 川 恒 夫 | 白老郡白老町字北吉原528 | ユワザクラ | 力 駒 |
| 深 川 繁 信 | 上川郡新得町字屈足柏町 | リュウセイヒメ | 宝 姫 |
| 道 下 羨 三 | 雨竜郡北竜町字美葉牛 | ロイヤルホース | 呂 雄 |

競走経歴種馬管理者奨励金交付者

| 交付者氏名 | 競走経歴種馬管理者奨励 | | |
|-----------|-----------------|---|--|
| | 住 所 | 種 雄 馬 名 | 出 走 馬 名 |
| 豊 頃 町 農 協 | 中川郡豊頃町中央若葉町12番地 | タカ ^カ ラ ^コ マ ^マ (家宝) | アサイ ^タ カラ ^カ ラ ^ラ 他9頭 |
| 千 貝 義 雄 | 稚内市緑1丁目1番 | ダイニ ^ア ン ^テ ン | アン ^テ ン ^ト ッ ^プ 他6頭 |
| 池 和 夫 | 紋別郡滝上町字幸 | フジ ^ト ッ ^プ | キ ^リ ン ^ホ マ ^レ 他3頭 |
| 高 畑 静 男 | 有珠郡壮瞥町字立香 | カ ^イ ジ ^ン (玲泉) | コ ^サ ワ ^マ エ ^イ ユ ^ウ |
| 安 瀬 輝 男 | 川上郡標茶町南標茶 | ヤ ^マ ト ^サ カ ^エ (宝勇) | ゴ ^ー ル ^ド エ ^ー ス ^コ ハ ^イ エ ^イ コ |
| 児 島 和 夫 | 紋別郡湧別町 | ア ^ズ マ ^キ ン ^グ (宝栄) | シ ^ヤ チ ^リ ユ ^ウ ニ ^セ イ ^ラ ン ^サ |
| 高 橋 俊 雄 | 蛇田郡豊浦町 | ヒ ^タ チ ^オ ー ^ニ (第二ロッシーニ) | イ ^ワ テ ^タ イ ^ガ ー |
| 端 正 行 | 川上郡弟子屈町鎧別 | イ ^シ ノ ^シ ン ^ボ ル (仙山) | ハ ^ヤ グ ^リ ン |
| 村 上 鬼 一 | 根室市字湖南 | カ ^ツ タ ^イ ホ ^ー (第三オナシス) | キ ^タ ノ ^シ ン ^ゲ キ |
| 成 田 功 | 伊達市船岡町 | ス ^ピ ー ^ド キ ^ン グ (鉄栄) | ベ ^ニ ハ ^ヤ ブ ^サ |
| 森 春 蔵 | 中川郡本別町北4丁目 | ソ ^ラ チ ^オ ー (栄山) | ハ ^ヤ ウ ^ン リ ^ュ |
| 関 寅 雄 | 川上郡標茶町阿歴内 | タ ^カ ナ ^ミ (勝陽) | カ ^ド サ ^カ エ |
| 本 寺 菊 雄 | 中川郡本別町木札内 | ト ^カ チ ^マ ル (正更) | ヒ ^メ ト ^カ チ |
| 佐 藤 弘 | 広尾郡大樹町字大光 | バ ^ン コ ^マ | サ ^ツ コ ^マ |
| 大 道 実 | 野付郡別海町別海新栄町9 | ハ ^ヤ ブ ^サ | ハ ^ヤ ブ ^サ オ ^ー |
| 田 村 勝 | 河東郡音更町東音更稲穂区 | ヒ ^カ ル ^ト ー ^コ ウ (新栄) | カ ^ネ ヒ ^ロ ク ^イ ン |

競走経歴繁殖雌馬奨励金交付者

| 交付者氏名 | 競走経歴繁殖雌馬奨励 | | |
|---------|--------------|--|--|
| | 住 所 | 繁 殖 雌 馬 名 | 出 走 馬 名 |
| 小 野 勝 一 | 紋別郡上湧別町中湧別東町 | ジュ ^リ エ ^ツ ト (小桜) | シ ^ル バ ^ー |
| 徳 田 栄 治 | 常呂郡佐呂間町字若里大和 | ヒ ^カ ル ^ハ ナ (貴花) | マ ^ゴ ロ ^シ ー ^ニ |
| 池 田 松 男 | 天塩郡天塩町字振老 | フ ^ラ オ ^イ ヒ ^メ (東雲二世) | リ ^ン ガ ^ー ハ ^ッ ト |
| 道 下 羨 三 | 雨竜郡北竜町字美葉井 | ミ ^ス ヤ ^マ ト (呂博) | ロ ^イ ヤ ^ル ホ ^ー ス |
| 北 野 功 | 十勝郡浦幌町上厚内 | ハ ^ナ ヒ ^メ | ク ^イ ン ^ハ ッ ^ピ ー |

5. 負担重量

(1) 騎手重量 騎手重量は75kgとする。

(2) ばんえい重量

ア 3才馬

ばんえい重量は500kgとし本年取得賞金60万円につき10kgの加増を行なう。

なお、ばんえい重量は8月27日から510kg、10月29日から520kgとし本年取得賞金60万円につき10kgの加増を行なう。

イ 4・5才馬

3才時より通算取得賞金により、次に掲げるばんえい重量とする。

| 取得賞金 | 600万円 未 満 | 420万円 未 満 | 310万円 未 満 | 210万円 未 満 | 120万円 未 満 |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ばんえい重量 | 640kg | 620kg | 600kg | 580kg | 560kg |

ウ 4才以上

昭和55年以降の取得賞金により、次に掲げるばんえい重量とする。

ただし、4・5才馬で編入する馬は、同額賞金クラスに編入し競走において10kgを減量する。

| 取得賞金 | 1,450万 円 以上 | 1,450万 円 未 満 | 1,150万 円 未 満 | 900 万 円 未 満 | 750 万 円 未 満 | 600 万 円 未 満 | 450 万 円 未 満 | 300 万 円 未 満 |
|--------|----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| ばんえい重量 | 700kg | 700kg | 680kg | 660kg | 640kg | 620kg | 600kg | 600kg |

エ オープン馬

昭和55年以降の取得賞金1,450万円以上の馬をオープンとする。

(3) 3才及び4才馬の騾馬は競走において10kg減量する。

(4) 3才の雌馬は競走において20kg減量とし、4才以上の雌馬は10kg減量とする。

(5) 普通競走において全馬のばんえい重量が高重量となるときは、全馬の重量を一率に減ずることができる。

(6) 普通及び別定競走において委員長が指定する騎乗騎手は、通算勝利度数により10kg減量する。

6. 騎乗の制限及び減量騎乗騎手の取扱いについて

(1) 騎乗騎手の1日の騎乗回数は6回までとし、連続騎乗できる回数は3回を限度とする。ただし、委員長が特に認めた場合はこの限りでない。

(2) 騎乗を変更した騎乗騎手は、翌日の騎乗を認めない。ただし、委員長が特に認めた場合はこの限りでない。

(3) 委員長が指定する減量騎乗騎手は、数え年30才以下の騎乗騎手で通算勝利度数25勝未満の者とする。ただし、減量騎乗騎手扱いで、すでに出走投票された競走については25勝以上となっても減量騎乗騎手と同様の扱いとする。なお、出馬表には△印で表示する。

7. この要領に定めるものの他、番組編成上必要な事項については、番組編成会議で別に定める。

昭和58年度 番組編成要領

(1) 番組編成

1. 出走馬の資格

次の各号全部の条件をそなえていること

(1) 地方競馬全国協会の登録を受けた馬

(2) 軽種及び軽半血種以外の種類

(3) 日本国内で生産された馬

(4) 新馬 3才

古馬 10才以下

(5) 馬体重 3才 700kg 以上の馬
4才以上 750kg

(6) 馬体検査、能力調教検査に合格した馬（他競馬場において合格した馬を含む）

2. 出走の拒否

(1) こ疾の程度が重く、又は外観上みにくい馬。

(2) 出馬取消をした馬及び競走除外馬（同枠除外を除く）は、その開催の残余期間。

(3) 尋常てい鉄を使用しない馬。

(4) 調教が十分でない癖馬及び失明馬（片眼馬を含む）。

3. 出走頭数の制限及び競走の取り止め

(1) 1競走における出走頭数は、10頭以下とする。

(2) 普通競走において、前項に定める頭数を超えて出走投票があった場合は、抽選により出走馬を決定する。

(3) 前項により出走できなかった馬は、競馬番組で示す当該馬が出馬できる最初の競走に限り出走投票した馬に優先出走を認める。

(4) 出走投票の結果、1競走の頭数が6頭以下の場合は、その競走を取り止め新たに競走を設けることができる。ただし、偶発的事故、疾病等により出走を取り消し又は、競走除外を命じた場合を除く。

4. 競走の区別

取得賞金額（1着～5着まで以下同じ）により編成し年令別に次のとおりとする。なお、取得賞金は特に記載のない限り前回までの合計とする。ただし、3才の雌馬のみで編成した競走の取得賞金は2分の1とする。

3才 3才馬のみの編成とする。

4・5才 4・5才馬の混合編成とし、通算取得賞金600万円以上の馬は、4才以上の競走に編入する。

4才以上 4才以上の混合編成とする。

(2) 報 償 費

1. 馬主に関するもの

- (1) 賞 金 競馬番組で示した金額。
- (2) 出走手当 次に該当する馬の馬主に対し支給する。
- (ア) 競走に1回以上出走したとき。
- (イ) 特別報償金の受給資格のあるとき。

| | |
|------|---------|
| 出走手当 | 45,000円 |
|------|---------|

- (3) 着外手当 競走に出走し6着以下の馬の馬主に対し、次の区分により支給する。ただし、失格及び競走中止の場合は支給しない。

| | | |
|------|--------------|----------|
| 重賞競走 | 1着賞金 300万円以上 | 100,000円 |
| | 1着賞金 300万円未満 | 40,000円 |
| 特別競走 | | 25,000円 |

- (4) 特別報償金 次に該当する馬の馬主に対し支給する。
- (ア) 出走投票の結果1競走の出走の出走頭数が6頭以下のため競走が取り止めになったとき。又は、制限頭数を越えたため抽選により出走できなくなったときとし、当該開催競馬において同一馬につき1回とする。ただし、当該開催の競走に出走した馬を除く。
- (イ) 競走除外等で同枠のため除外(友引)になったとき。
- (ウ) 天災その他やむを得ない理由により開催当日に、競馬又は競走を取り止めたとき。

| | |
|--------|--|
| (ア)のとき | その競走の5着賞金、ただし30,000円を限度とする。(調教奨励金、騎乗奨励金、きゅう務奨励金においてもこれに準ずる。) |
| (イ)のとき | その競走の3着賞金 (調教奨励金、騎乗奨励金きゅう務奨励金においてもこれに準ずる。) |
| (ウ)のとき | その競走の賞金と着外手当の合計額を出走頭数で按分した範囲の額。 (調教奨励金、騎乗奨励金、きゅう務奨励金においてもこれに準ずる。) |

- (5) 輸送手当 競馬場毎に1回以上出走した馬(特別報償金受給資格を有した馬を含む)の馬主に対し当該競馬場毎に支給する。

| | |
|------|---------|
| 輸送手当 | 12,000円 |
|------|---------|

2. 騎手に関するもの

(1) 調教奨励金

競走に出走した馬の調教騎手に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。

条例第102条

〇〇市地方競馬実施〇〇規則第99条の

規定により調教業務の委託を受けた調教騎手に対し、当該競走にかかわる調教奨励金を支給する。

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1 着 | 2 着 | 3 着 | 4着以下 |
| 27,000円 | 23,000円 | 18,000円 | 13,500円 |

(2) 騎乗奨励金

競走に出走した馬の騎乗騎手に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。

| | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1 着 | 2 着 | 3 着 | 4着以下 |
| 18,000円 | 14,000円 | 12,000円 | 9,500円 |

3. きゅう務員に関するもの

(1) きゅう務奨励金

出馬確定した馬のきゅう務員に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。また、管理頭数は4頭を限度とする。

| | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1 着 | 2 着 | 3 着 | 4着以下 |
| 17,000円 | 13,000円 | 11,000円 | 8,500円 |

4. 生産者に関するもの

(1) 生産者賞

昭和57年度リーディング



田上調教師

大野調教師

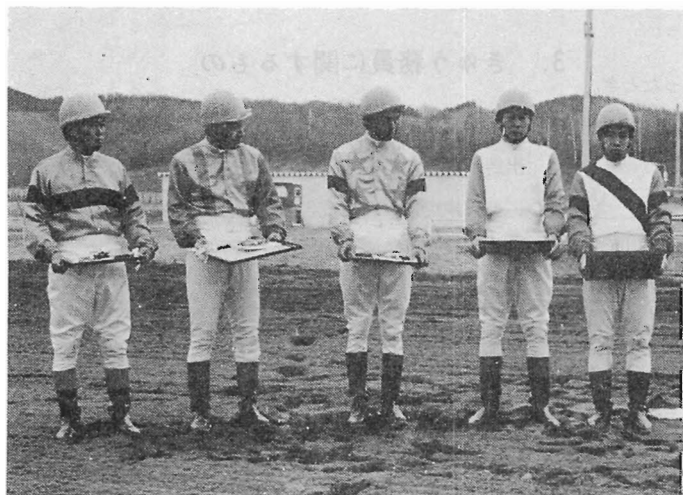
松原調教師

日詰調教師

橋本調教師

リーディングトレーナー

| 順位 | 氏名 | 勝率(%) |
|----|-------|-------|
| 1 | 橋本豊 | 15.79 |
| 2 | 日詰政幸 | 14.45 |
| 3 | 松原仁三郎 | 13.74 |
| 4 | 大野英夫 | 12.85 |
| 5 | 田上正 | 12.65 |



尾ヶ瀬騎手

山田騎手

久田騎手

金山騎手

工藤騎手

リーディングジョッキー

| 順位 | 氏名 | 勝率(%) |
|----|-------|-------|
| 1 | 工藤正男 | 19.44 |
| 2 | 金山明彦 | 16.57 |
| 3 | 久田守 | 12.62 |
| 4 | 山田勇作 | 12.42 |
| 5 | 尾ヶ瀬富雄 | 11.86 |

昭和57年度賞金受賞ランキング

3 才

| 順位 | 競走馬名 | 父馬名 | 母馬名 | 性 | 年令 | 産地 | 生産者 | 取得賞金額 (円) |
|----|----------|------------------|---------|---|----|-----|-------|--------------|
| 1 | ハヤカゼ | 半血 タカラハヤブサ | ブル系 鳴撫 | 雄 | 3 | 足寄 | 加藤長三郎 | 8,835,000 |
| 2 | タカラタイトル | 半血 タカラコマ | 中半 ブル富士 | 雄 | 3 | 浦幌 | 秋山 優 | 8,822,000 |
| 3 | ゴールドンスター | 半血 シゲノハラ | 半血 春月 | 雄 | 3 | 常呂 | 高橋 貞雄 | 6,460,000 |
| 4 | クロタカ | 半血 タカラコマ | ペル 王産 | 雄 | 3 | 音更 | 福士元衛 | 5,765,000 |
| 5 | ヤワラ | ペル ボルール | ペル 第二和姫 | 雄 | 3 | 釧路 | 押切清吉 | 5,705,000 |
| 6 | キンタイコー | ペル 楓朝 | 半血 日光 | 雄 | 3 | 上湧別 | 笹島 清 | 5,655,000 |
| 7 | マサライデン | ベルジ ジアンデユマレイ | 半血 吹姫 | 雄 | 3 | 豊頃 | 川向義信 | 4,980,000 |
| 8 | タケテンリュウ | ペル ムサシ | 半血 藤姫 | 雄 | 3 | 佐呂間 | 長谷部晴治 | 4,385,000 |
| 9 | ホダカマル | ブル ボヌール | ブル系 律映 | 雄 | 3 | 足寄 | 石沢清一 | 4,035,000 |
| 10 | マルトクイン | ベルジ マルゼンストロングホース | ベル系 栗姫 | 雄 | 3 | 新得 | 深川 繁信 | 3,782,000 |

4. 5才

| 順位 | 競走馬名 | 父馬名 | 母馬名 | 性 | 年令 | 産地 | 生産者 | 取得賞金額 (円) |
|----|----------|--------------|----------|---|----|-----|------|--------------|
| 1 | ヤマトウンリュウ | 半血 タカラコマ | 半血 豊花 | 雄 | 5 | 豊頃 | 小沢信義 | 10,017,000 |
| 2 | ハイスピード | ペル ボルール | 半血 宝花 | 雄 | 5 | 白糠 | 藤田竹蔵 | 9,620,000 |
| 3 | タカラシヨウリ | 半血 タカラコマ | ペル 第十一玉姫 | 雄 | 4 | 池田 | 野村弘信 | 8,290,000 |
| 4 | クインローズ | ペル 楓朝 | 半血 刀巻 | 雌 | 5 | 足寄 | 宮川貞夫 | 6,835,000 |
| 5 | トヨタカ | ペル 二世ロツシーニ | ペル系 勝 | 雄 | 4 | 音更 | 安海吉雄 | 6,800,000 |
| 6 | ヤマト | ペル 二世ロツシーニ | 半血 第二栄宝 | 雄 | 5 | 小清水 | 片平信洩 | 6,265,000 |
| 7 | リュウハヤテ | ベルジ ジアンデユマレイ | 重半 清流 | 雄 | 5 | 池田 | 北村治嘉 | 5,725,000 |
| 8 | イワイサミ | ペル 菅敬 | 半血 前進 | 雄 | 5 | 旭川 | 岩城米光 | 5,605,000 |
| 9 | シゲノハラニセイ | ペル 二世ロツシーニ | 半血 日光 | 雄 | 4 | 訓子府 | 林 茂 | 5,470,000 |
| 10 | ウシオドト | ペル 二世ロツシーニ | ペル系 第十大菊 | 雄 | 5 | 女満別 | 安田 貢 | 5,360,000 |

6才以上

| 順位 | 競走馬名 | 父馬名 | 母馬名 | 性 | 年令 | 産地 | 生産者 | 取得賞金額 (円) |
|----|----------|------------|---------|---|----|----|-------|--------------|
| 1 | ハヤホマレ | ペル 二世ロツシーニ | 半血 初姫 | 雄 | 8 | 網走 | 川瀬芳雄 | 17,700,000 |
| 2 | キンタロー | ペル 二世ロツシーニ | ペル系 宝玉 | 雄 | 6 | 別海 | 桑川 一郎 | 16,940,000 |
| 3 | キヨヒメ | ペル 楓朝 | 重系 豊栄 | 雌 | 9 | 興部 | 松島太市 | 16,305,000 |
| 4 | キタノフジ | ペル 楓朝 | 半血 東洋 | 雄 | 7 | 紋別 | 藤枝勝行 | 13,760,000 |
| 5 | キヨウエイ | ペル 楓朝 | ペル系 宝春 | 雄 | 9 | 紋別 | 阿部良三 | 12,850,000 |
| 6 | カイリキ | ペル 第二オデオン | 半血 洋国 | 雄 | 8 | 足寄 | 水間松男 | 11,870,000 |
| 7 | アイスリヤル | 半血 富士 | 半血 興春 | 雄 | 9 | 標茶 | 佐々木憲昭 | 9,550,000 |
| 8 | カミシホロトツブ | ブル 蝶武 | 中半 勇栄 | 雄 | 6 | 北見 | 武田金十郎 | 7,545,000 |
| 9 | ユウホウ | ペル 二世ロツシーニ | 中半 姫楼 | 雄 | 9 | 藻琴 | 本田剛太 | 6,980,000 |
| 10 | セキホク | ブル 蝶武 | 中半 第二初姫 | 雄 | 7 | 北見 | 萩原和幸 | 6,425,000 |

昭和57年度種雄馬ランキング

3 才

| 順位 | 種類 | 馬名 | 頭数 | 勝 | 取得賞金(円) | おもな出走馬 |
|----|-----|--------------|----|----|------------|---------------------------|
| 1 | ベルジ | ジャンデュマレイ | 25 | 54 | 41,783,000 | マサライデン、ケンリユー、ケンエイ、 |
| 2 | 半血 | タカラコヤマ | 21 | 40 | 39,157,500 | タカラタイトル、クロタカ、ツキムサシ、キンシルバー |
| 3 | 半血 | タカラハヤブサ | 7 | 19 | 20,693,000 | ハヤカゼ、チカラハヤブサ、エンゼルクイン |
| 4 | ベルジ | マルゼンストロングホース | 10 | 15 | 17,428,000 | マルトクイン、タニノトップレディ、ミネノランサー |
| 5 | ペルル | 二世ロッシーニ | 13 | 23 | 17,024,000 | バンヒロミ、キンタカラ、シゲノダンサ、ニシキトップ |
| 6 | 半血 | ポシゲル | 7 | 17 | 13,454,000 | ヤワラ、ハイセイハ、ユウツル、レットジュエル |
| 7 | 半血 | ゲノハラ | 5 | 13 | 11,706,000 | ゴールドンスター、シゲトップ、シゲノダイヤ |
| 8 | ペルル | 楓朝 | 5 | 13 | 9,790,000 | キンタイコー、フジノヤマ、オオムシンザン |
| 9 | ペルル | ムサシ | 3 | 7 | 7,299,000 | タケテンリユー、ハクムサシ、ムサシローズ |
| 10 | ペルル | ボヌー | 6 | 8 | 7,185,000 | ホダカマル、キタノパール、キタノサト |
| 11 | ペルル | 久都 | 4 | 9 | 5,520,000 | タマカワオーザ、マサショウリ、ステンドグラス |
| 12 | ベル系 | フジトツブ | 4 | 6 | 5,494,500 | フジトップヒメ、キタサワ、ブラックスキー |
| 13 | ベル系 | ファイド | 5 | 11 | 5,380,000 | マサヨシ、コウザン、キタノダイリキ |
| 14 | ペルル | 第二オデオン | 8 | 7 | 5,300,000 | オデオンニセイ、ヤマヒカリ、ヤマトヒカリ |
| 15 | 半血 | カオイジ | 5 | 9 | 4,495,000 | サワラエース、カイショウリ、コマチカラ |
| 16 | ベル系 | ホーツク | 3 | 3 | 3,646,000 | マルモグット、ヤマトボーイ、ミスカチキ |
| 17 | 半血 | 銅柑 | 3 | 4 | 3,469,000 | ノポリリュウ、キタノビクトリー、カツトップ |
| 18 | 半血 | ンユウハ | 2 | 6 | 3,241,000 | イケズキ、タツニシキ |
| 19 | ベル | 管敬 | 1 | 4 | 3,060,000 | クシロハクリュウ |
| 20 | ベルジ | コンエレガント | 3 | 4 | 2,933,000 | アマノカイリキ、ゴールドリバー、ブラックスナイパー |

4・5 才

| 順位 | 種類 | 馬名 | 頭数 | 勝 | 取得賞金(円) | おもな出走馬 |
|----|-----|--------------|----|----|------------|---------------------------|
| 1 | 半血 | タカラコマン | 49 | 83 | 83,965,000 | タカラショウリ、タカラソウシン、カズエー、ソーオー |
| 2 | ペルル | 二世ロッシーニ | 33 | 50 | 51,530,500 | ウシオドトー、アサヒホープ、イチノハヤブサ |
| 3 | ペルル | 楓朝 | 19 | 46 | 36,356,500 | クインローズ、ホマレエース、ダイニオノショウ |
| 4 | ベルジ | マルゼンストロングホース | 14 | 24 | 19,809,000 | ロイヤルホース、アオヤマトップ、マルトカチヨシ |
| 5 | ベルジ | ジャンデュマレイ | 9 | 22 | 19,023,000 | スズホマレ、ジャンデホマレ、シゲマサ |
| 6 | ペルル | ポル | 7 | 13 | 17,263,000 | カショウー、イチホマレ、イチホウオー |
| 7 | 半血 | 第二オデオン | 11 | 23 | 13,024,000 | ゼットボーイ、ササノチカラ、チカラオーザ |
| 8 | 半血 | ダイニアンテ | 9 | 19 | 10,781,000 | マツカゼオー、マツオブルー、ヤクモチカラ、 |
| 9 | 半血 | 久都柑 | 9 | 14 | 9,825,500 | ゴールドン、ニッセイヒリュウ、ピカリユウ |
| 10 | ペルル | 銅柑 | 10 | 9 | 9,163,000 | ロイヤルキング、ファントムクイン、カバトシンザン |
| 11 | ベルジ | コンエレガント | 5 | 8 | 7,625,000 | アサヒテンリュウ、ミサワテンリュウ、トカチボタン |
| 12 | ペルル | コヒタチオ | 3 | 8 | 7,249,000 | ホマレニシキ、イワテタイガー、ダイイチテンリュウ |
| 13 | ペルル | 管敬 | 2 | 4 | 7,216,000 | イワイサミ、ワカイワイ |
| 14 | ペルル | 産産 | 5 | 10 | 6,322,000 | ニッショウツバメ、カゲオーザ、エリモムサシ |
| 15 | ベル系 | 優威 | 2 | 10 | 5,942,000 | アキホマレ、タケシ |
| 16 | 半血 | キプロ | 2 | 7 | 5,815,000 | ハクマサヒカリ、ニイカップオー |
| 17 | ペルル | ボヌー | 6 | 6 | 5,062,000 | リキヒメ、キタノナンシ、ムツヒメ |
| 18 | 半血 | 新松 | 3 | 9 | 4,125,000 | ハイトップ、カネサカエ、レットスピード |
| 19 | 半血 | フジトツブ | 3 | 7 | 3,996,000 | パワスキー、マツフジセブン、トモザクラ |
| 20 | 半血 | フイシノシンボル | 3 | 4 | 3,915,000 | ホマレアサヒ、ミョウジンザクラ、ハヤグリーン |

6 才以上

| 順位 | 種類 | 馬名 | 頭数 | 勝 | 取得賞金(円) | おもな出走馬 |
|----|-----|--------------|----|----|------------|------------------------|
| 1 | ペルル | 楓朝 | 22 | 39 | 81,672,500 | キヨヒメ、キタノフジ、キョウエイ、アサミドリ |
| 2 | ペルル | 二世ロッシーニ | 19 | 39 | 67,562,000 | ハヤホマレ、キンタロー、ユウホウ、フジ |
| 3 | ペルル | 鉄鯉 | 18 | 25 | 35,671,500 | カイザンオ、キンバイ、キヨタカラ、ダイケツ |
| 4 | ペルル | 二世ロッシーニ | 7 | 11 | 23,370,000 | ユウホウ、キタノサブロー、サロマシンザン |
| 5 | ベルジ | ジャンデュマレイ | 10 | 20 | 20,000,000 | キョウリュウ、スズホマレ、マサカツ |
| 6 | ベル系 | 第二オデオン | 4 | 7 | 17,125,000 | カイリキ、ソラチホウシュウ、ショウワフジ |
| 7 | 半血 | タカラコマン | 7 | 12 | 15,244,000 | タカラハナ、バンリュウ、トチヒカリ |
| 8 | ペルル | ポル | 8 | 14 | 14,920,000 | イデサカエ、トキノロブスト、キタノウルフ |
| 9 | ペルル | ダムルイ | 4 | 11 | 14,707,000 | カチオーブン、キョクイチ、ヤマサラッキー |
| 10 | ベルジ | マルゼンストロングホース | 5 | 9 | 14,243,000 | スターカップー、マルトダンサー、タミオヒメ |
| 11 | ペルル | 蝶武 | 2 | 9 | 13,970,000 | セキホク、カミシホトトップ |
| 12 | ペルル | 第三オデオン | 5 | 7 | 12,540,000 | ソラチキリン、リュウタロー、モンスター |
| 13 | ペルル | 久都 | 5 | 9 | 11,711,000 | スイショウ、リウリキ、ホッカイオー |
| 14 | ペルル | 産産 | 5 | 15 | 10,957,000 | カワアラシ、カワシルバー、シンザンサカエ |
| 15 | 半血 | 富日 | 2 | 4 | 10,755,000 | アイスリヤル、ミチタカラ |
| 16 | 中半 | オス雄 | 5 | 10 | 10,260,000 | カミタカラ、サワノチカラ、センブクザン |
| 17 | 半血 | キプロ | 6 | 7 | 9,685,000 | マサヒカリ、アサカゼ、ハシリコマ |
| 18 | 半血 | ボヌー | 4 | 13 | 8,099,000 | アサヒダケ、タカラユー、リュウショウ |
| 19 | ペルル | ヒタチオ | 3 | 5 | 7,148,000 | ヤシタフジ、ハクテンリュウ、カツトシ |
| 20 | 重半 | カチサカエ | 5 | 4 | 6,979,000 | キングヒメ、ドラゴンドッシュ、キタノボーイ |

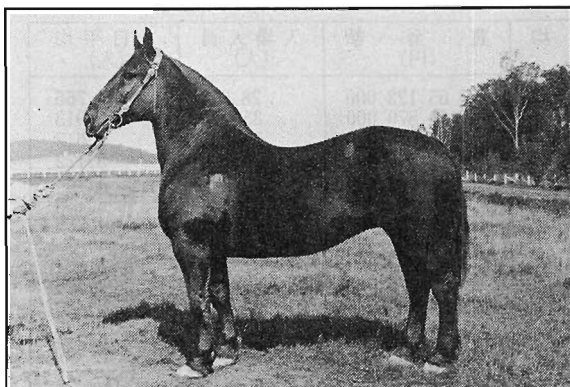
昭和57年度市営競馬成績

| 主催者 | 期別 | 売得金額 (円) | 1日平均 (円) | 賞金額 (円) | 入場人員 (人) | 1日平均 (人) |
|------|----|----------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 旭川市 | 1 | 1,357,924,700 | 226,320,783 | 65,122,000 | 28,594 | 4,766 |
| | 2 | 1,697,400,000 | 282,900,000 | 69,870,000 | 35,476 | 5,913 |
| | 3 | 1,047,459,100 | 174,576,517 | 69,028,000 | 21,703 | 3,617 |
| | 4 | 1,442,223,400 | 240,370,567 | 77,596,000 | 30,730 | 5,122 |
| | 5 | 1,491,109,600 | 248,518,267 | 84,604,000 | 26,890 | 4,482 |
| | 計 | 7,036,116,800 | 234,537,227 | 366,220,000 | 143,393 | 4,780 |
| 帯広市 | 1 | 1,371,348,000 | 228,558,000 | 52,250,000 | 31,945 | 5,324 |
| | 2 | 1,274,496,800 | 212,416,133 | 51,870,000 | 26,938 | 4,490 |
| | 3 | 1,106,344,400 | 184,390,733 | 55,860,000 | 22,922 | 3,820 |
| | 4 | 1,100,630,200 | 183,438,367 | 53,010,000 | 20,912 | 3,485 |
| | 5 | 1,213,760,500 | 202,293,417 | 64,562,000 | 23,736 | 3,956 |
| | 計 | 6,066,579,900 | 202,219,330 | 277,552,000 | 126,453 | 4,215 |
| 北見市 | 1 | 1,144,406,200 | 190,734,367 | 41,078,000 | 27,051 | 4,509 |
| | 2 | 942,986,800 | 157,164,467 | 41,686,000 | 19,663 | 3,277 |
| | 3 | 777,912,000 | 129,652,000 | 48,088,000 | 15,551 | 2,592 |
| | 4 | 1,191,134,400 | 198,522,400 | 48,716,000 | 16,934 | 2,822 |
| | 5 | 1,606,408,700 | 267,734,783 | 61,458,000 | 21,459 | 3,577 |
| | 計 | 5,662,848,100 | 188,761,603 | 241,026,000 | 100,658 | 3,355 |
| 岩見沢市 | 1 | 1,282,138,200 | 213,689,700 | 67,686,000 | 24,045 | 4,008 |
| | 2 | 1,189,180,800 | 198,196,800 | 65,406,000 | 22,166 | 3,694 |
| | 3 | 1,302,772,600 | 217,128,767 | 63,504,000 | 22,149 | 3,692 |
| | 4 | 1,195,998,800 | 199,333,133 | 70,070,000 | 21,619 | 3,603 |
| | 5 | 1,234,311,400 | 205,718,567 | 76,302,000 | 21,251 | 3,542 |
| | 計 | 6,204,401,800 | 206,813,393 | 342,968,000 | 111,230 | 3,708 |
| 合計 | | 24,969,946,600 | 208,082,888 | 1,227,766,000 | 481,734 | 4,014 |

昭和57年度道営競馬成績

| 競馬場 | 期別 | 売得金額 (円) | 1日平均 (円) | 賞金額 (円) | 入場人員 (人) | 1日平均 (人) |
|-----|----|----------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 岩見沢 | 1 | 1,640,699,000 | 273,449,833 | 79,610,000 | 39,328 | 6,555 |
| | 2 | 1,333,356,200 | 222,226,033 | 85,595,000 | 23,365 | 3,894 |
| | 3 | 1,267,576,600 | 211,262,766 | 82,935,000 | 20,216 | 3,369 |
| | 4 | 1,088,418,600 | 181,403,100 | 93,290,000 | 19,142 | 3,190 |
| | 5 | 1,189,293,200 | 198,215,533 | 85,405,000 | 19,553 | 3,259 |
| | 6 | 1,641,351,200 | 273,558,533 | 99,560,000 | 30,228 | 5,038 |
| | 7 | 1,295,846,400 | 215,974,400 | 94,810,000 | 20,500 | 3,417 |
| | 計 | 9,456,541,200 | 225,155,742 | 621,205,000 | 172,332 | 4,103 |
| 旭川 | 1 | 753,655,000 | 125,609,166 | 95,570,000 | 17,188 | 2,865 |
| | 2 | 955,761,600 | 159,293,600 | 94,335,000 | 19,660 | 3,277 |
| | 計 | 1,709,416,600 | 142,451,383 | 189,905,000 | 36,848 | 3,071 |
| 帯広 | 1 | 807,663,100 | 134,610,516 | 97,660,000 | 17,968 | 2,995 |
| | 2 | 925,447,900 | 154,241,316 | 96,520,000 | 18,333 | 3,056 |
| | 計 | 1,733,111,000 | 144,425,916 | 194,180,000 | 36,301 | 3,025 |
| 札幌 | 1 | 2,362,845,000 | 393,807,500 | 95,190,000 | 51,681 | 8,614 |
| | 2 | 2,962,896,200 | 493,816,033 | 107,164,000 | 61,430 | 10,238 |
| | 3 | 2,568,523,000 | 428,087,166 | 99,465,000 | 49,373 | 8,229 |
| | 4 | 2,870,158,100 | 478,359,683 | 114,950,000 | 51,928 | 8,655 |
| | 5 | 2,607,948,200 | 434,658,033 | 95,475,000 | 43,595 | 7,266 |
| | 6 | 3,029,110,000 | 504,851,666 | 102,980,000 | 49,959 | 8,327 |
| | 計 | 16,401,480,500 | 455,596,680 | 615,220,000 | 307,966 | 8,555 |
| 合計 | | 29,300,549,300 | 287,260,287 | 1,620,510,000 | 553,447 | 5,426 |

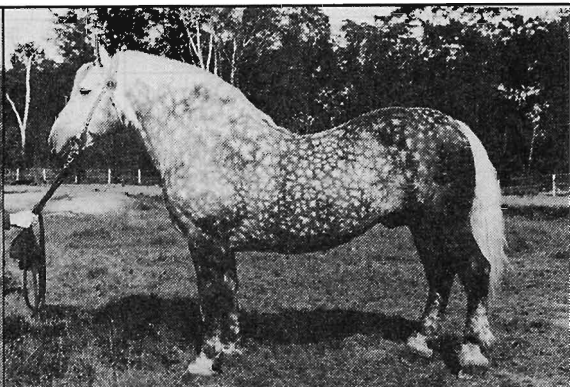
昭和57年度引退馬(表彰馬)



アオザクラ号

1. 生年月日 昭和48年4月18日
2. 生産地 浦幌町
3. 生産者 森 孝夫
4. 通算成績 146戦18勝
5. 取得賞金額 16,098,000円
6. 性・毛色 雌 青
7. 血統

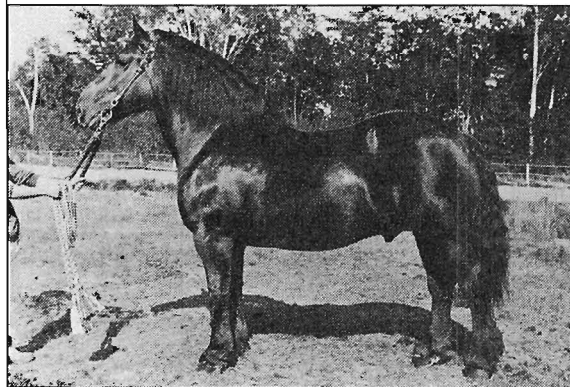
中半 青 姫 — ブル 鉄 鯉
— 重半 繁 姫



アサミドリ号

1. 生年月日 昭和48年4月15日
2. 生産地 紋別市
3. 生産者 東川 武雄
4. 通算成績 125戦32勝
5. 取得賞金額 35,868,000円
6. 性・毛色 雄 芦
7. 血統

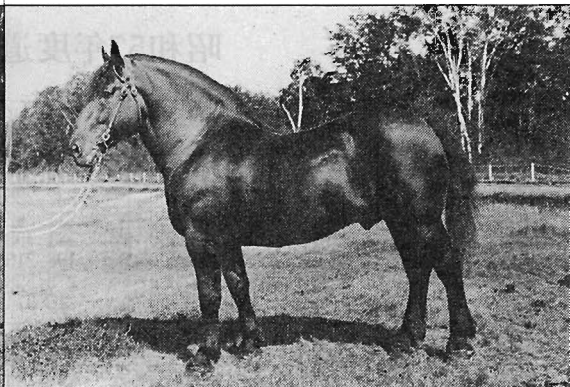
重系 藤 芳 — ペル 楓 朝
— 半血 宝 姫



イシカリハヤブサ号

1. 生年月日 昭和48年4月1日
2. 生産地 阿寒町
3. 生産者 平井 正夫
4. 通算成績 123戦11勝
5. 取得賞金額 7,031,000円
6. 性・毛色 雄 青
7. 血統

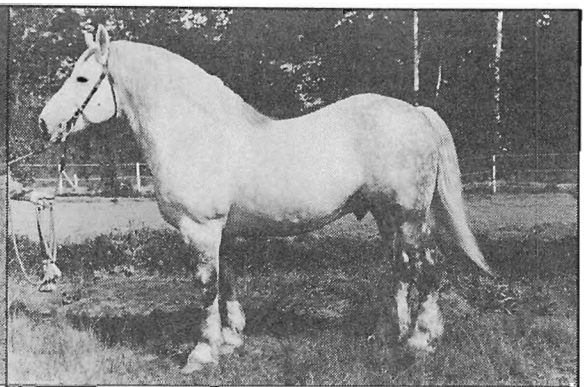
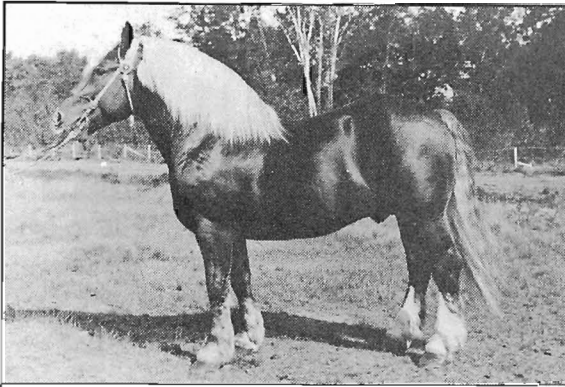
重系 松 宝 — ペル 二世ロッシーニ
— 重半 松 風



イ ッ テ ッ 号

1. 生年月日 昭和48年4月10日
2. 生産地 標茶町
3. 生産者 赤松 春市
4. 通算成績 129戦7勝
5. 取得賞金額 6,166,000円
6. 性・毛色 雄 鹿
7. 血統

重系 宝 山 — 重半 オウホー
— ペル系 松 姫



エ ル ザ 号

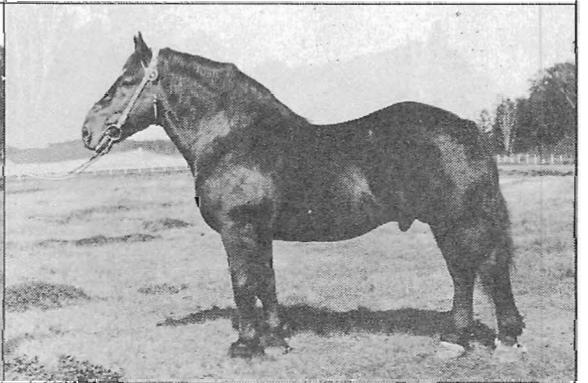
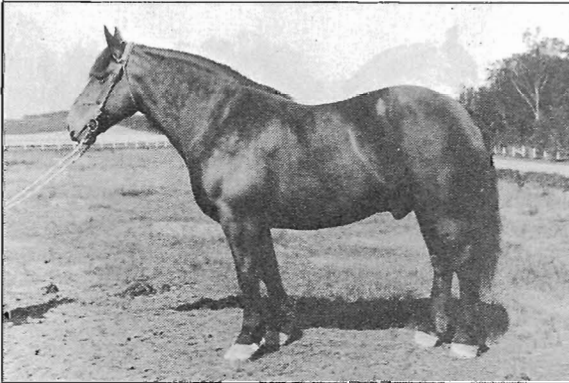
1. 生 年 月 日 昭和48年 4月25日
2. 生 産 地 上士幌町
3. 生 産 者 後 藤 一 馬
4. 通 算 成 績 145戦15勝
5. 取 得 賞 金 額 13,091,500円
6. 性 ・ 毛 色 雄 栗
7. 血 統

ブル系 清 藤 — —ブル ボヌール
—中半 清 姫

オ ウ ジャ 号

1. 生 年 月 日 昭和48年 5月20日
2. 生 産 地 弟子屈町
3. 生 産 者 石 原 盛 治
4. 通 算 成 績 119戦14勝
5. 取 得 賞 金 額 9,184,500円
6. 性 ・ 毛 色 雄 芦
7. 血 統

重半 サカイコマ — —重半 勝 山
—半血 光 姫



カ ミ エ ー ス 号

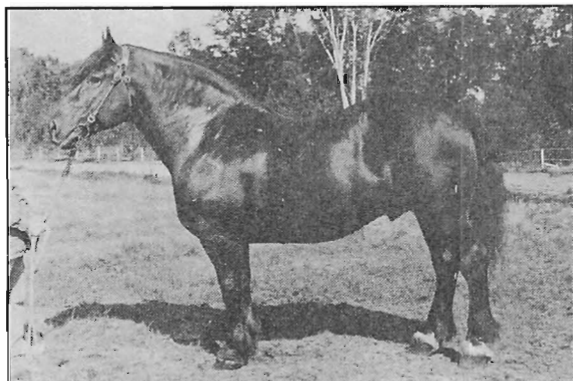
1. 生 年 月 日 昭和48年 4月20日
2. 生 産 地 大樹町
3. 生 産 者 藤 井 美 智 子
4. 通 算 成 績 114戦29勝
5. 取 得 賞 金 額 23,932,000円
6. 性 ・ 毛 色 騙 鹿
7. 血 統

中半 菊 宝 — —中半 望 宝
—重半 第 二 初 姫

カ ワ シ ル バ ー 号

1. 生 年 月 日 昭和48年 3月26日
2. 生 産 地 日高町
3. 生 産 者 長 谷 部 信 悦
4. 通 算 成 績 86戦19勝
5. 取 得 賞 金 額 13,467,000円
6. 性 ・ 毛 色 雄 青
7. 血 統

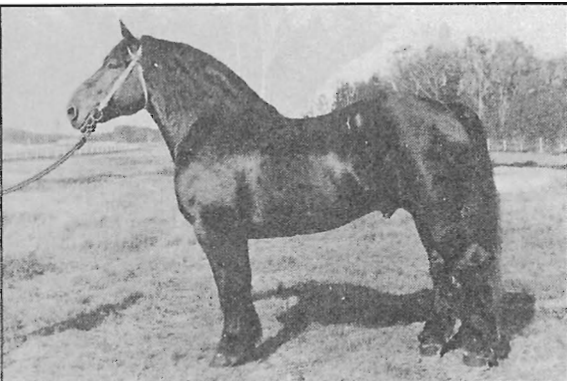
重系 黒宝号 — —ベル 産 日
—半血 榮 姫



キタノハヤブサ号

1. 生年月日 昭和48年4月27日
2. 生産地 幌延町
3. 生産者 森本信義
4. 通算成績 131戦16勝
5. 取得賞金額 9,073,000円
6. 性・毛色 雄青
7. 血統

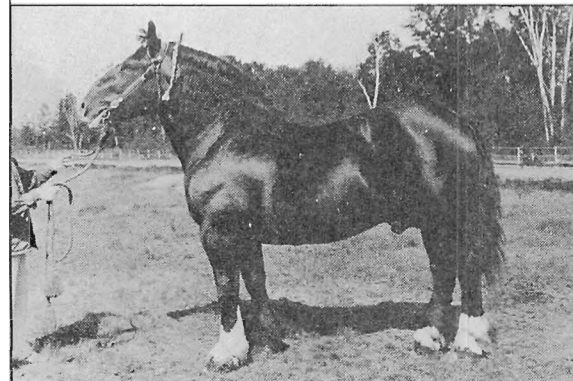
重半 大鵬 — 重半 東亜
 重半 幸姫



グランプリ号

1. 生年月日 昭和48年5月10日
2. 生産地 標茶町
3. 生産者 早川義信
4. 通算成績 160戦29勝
5. 取得賞金額 11,361,000円
6. 性・毛色 雄鹿
7. 血統

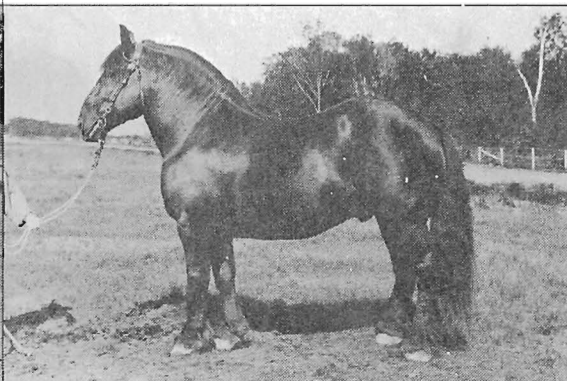
重半 釧光 — ペル ルルア
 中半 初姫



サロマシンザン号

1. 生年月日 昭和48年4月10日
2. 生産地 網走市
3. 生産者 橋本与次郎
4. 通算成績 149戦13勝
5. 取得賞金額 30,473,000円
6. 性・毛色 雄青
7. 血統

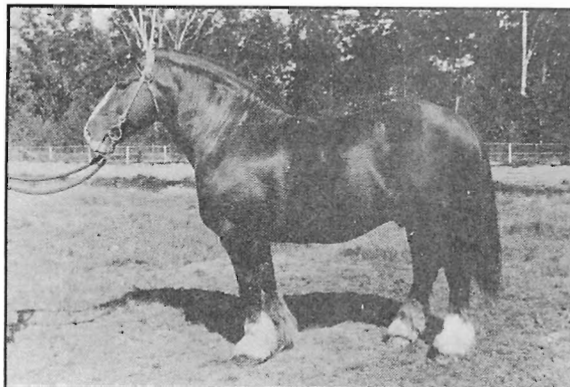
ペル系 大鵬 — ペル 2世ロッシェニ
 重半 ナオ姫



シゲミツ号

1. 生年月日 昭和48年4月24日
2. 生産地 広尾町
3. 生産者 桜井 衛
4. 通算成績 164戦18勝
5. 取得賞金額 22,772,000円
6. 性・毛色 雄青
7. 血統

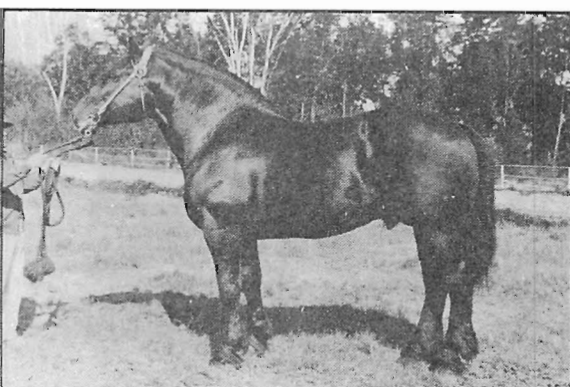
重系 藤桜 — ペル 丹朝
 重系 第二初姫



ソラチハウシュウ号

- 1. 生年月日 昭和48年4月28日
- 2. 生産地 足寄町
- 3. 生産者 山田 アキラ
- 4. 通算成績 152戦19勝
- 5. 取得賞金額 32,252,000円
- 6. 性・毛色 雄 栗
- 7. 血統

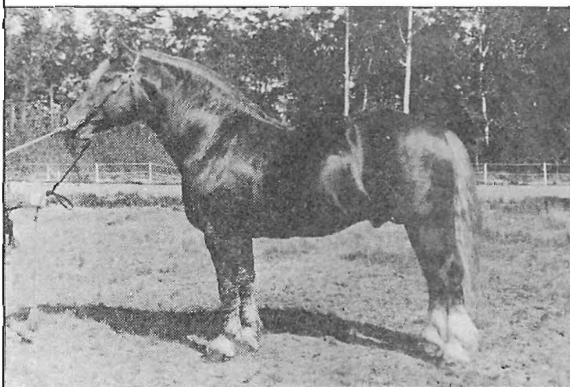
重系 博 勇 — { ペル 第二オデオ
重半 博 栄



タイショオ号

- 1. 生年月日 昭和48年4月18日
- 2. 生産地 新得町
- 3. 生産者 村田 正春
- 4. 通算成績 153戦21勝
- 5. 取得賞金額 35,819,000円
- 6. 性・毛色 雄 青
- 7. 血統

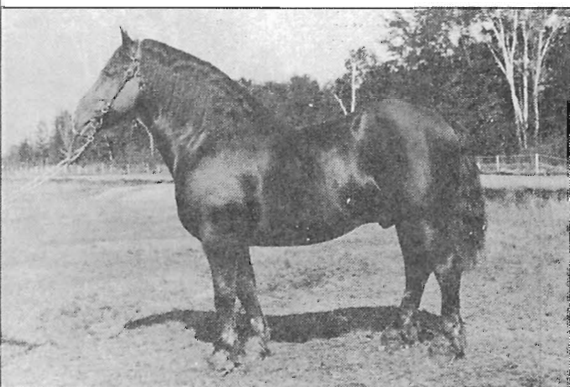
重半 勝 栄 — { ペル系 朗夕
中半 第三姫



タカラテル号

- 1. 生年月日 昭和48年4月1日
- 2. 生産地 豊頃町
- 3. 生産者 門 寿雄
- 4. 通算成績 121戦27勝
- 5. 取得賞金額 27,481,000円
- 6. 性・毛色 雄 栗
- 7. 血統

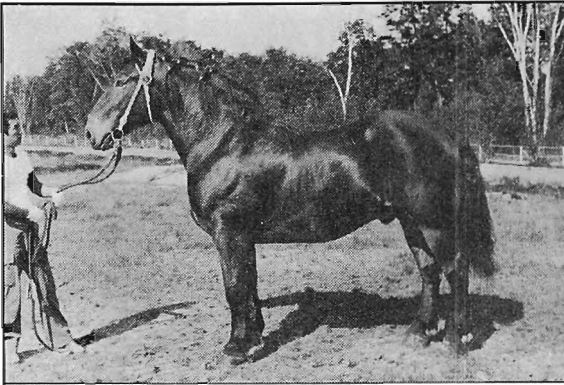
ブル系 鉄 宝 — { ブル 鉄 鯉
中半 ナオス梅



タケカツ号

- 1. 生年月日 昭和48年5月5日
- 2. 生産地 豊頃町
- 3. 生産者 渡部 政利
- 4. 通算成績 132戦15勝
- 5. 取得賞金額 8,031,000円
- 6. 性・毛色 雄 栗
- 7. 血統

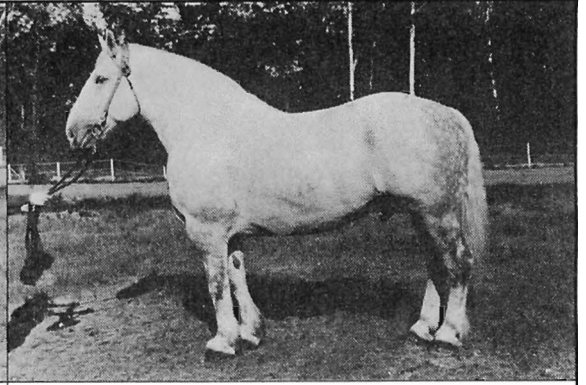
ブル系 北 星 — { ブル 鉄 鯉
中半 豊 美



ダッシュリユース号

1. 生年月日 昭和48年4月21日
2. 生産地 池田町
3. 生産者 徳安義雄
4. 通算成績 117戦18勝
5. 取得賞金額 11,084,000円
6. 性・毛色 騾鹿
7. 血統

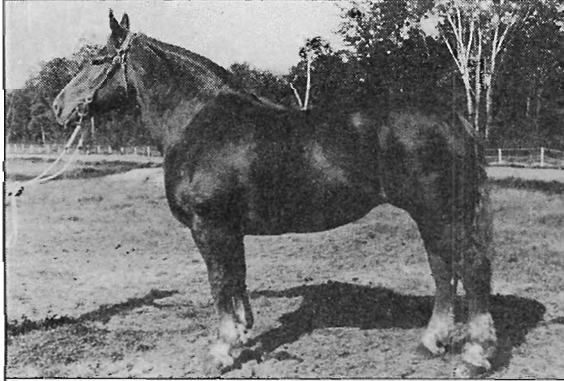
ベル プルトーヤ — { ベル バトリシヤ
ベル 晩一世



ツガルフジ号

1. 生年月日 昭和48年6月5日
2. 生産地 音更町
3. 生産者 細川新作
4. 通算成績 130戦20勝
5. 取得賞金額 19,509,000円
6. 性・毛色 騾声
7. 血統

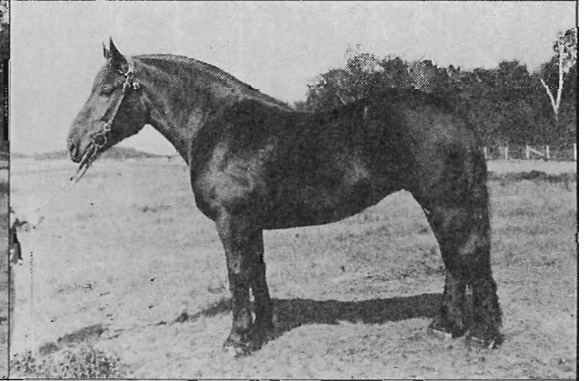
重半 栄竜 — { ベル ロッシーニ
中半 北栄



テミオヒメ号

1. 生年月日 昭和48年4月3日
2. 生産地 天塩町
3. 生産者 石原毎雄
4. 通算成績 141戦21勝
5. 取得賞金額 12,000,000円
6. 性・毛色 雌栗
7. 血統

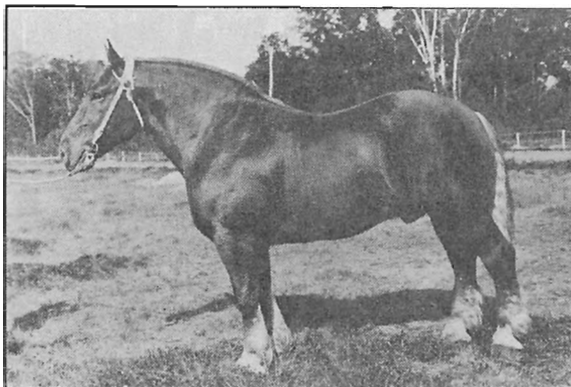
重半 花原 — { 重半 乗壺
中半 花石



トシクween号

1. 生年月日 昭和48年5月20日
2. 生産地 幕別町
3. 生産者 渡辺秀雄
4. 通算成績 143戦12勝
5. 取得賞金額 20,189,000円
6. 性・毛色 雌青
7. 血統

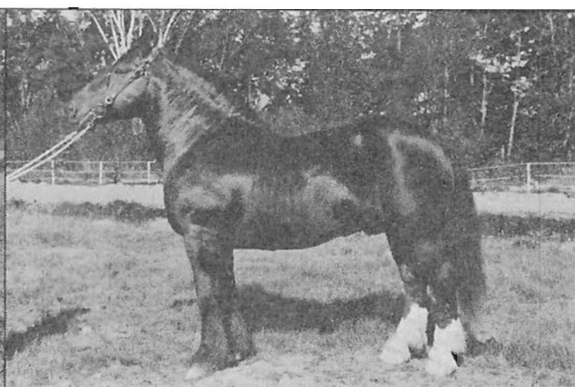
ベル 第三英信 — { ベル ウルバン
ベル 第二英信



ニットチドリ号

1. 生年月日 昭和48年4月25日
2. 生産地 池田町
3. 生産者 森 義雄
4. 通算成績 129戦14勝
5. 取得賞金額 11,946,000円
6. 性・毛色 騙 栗
7. 血統

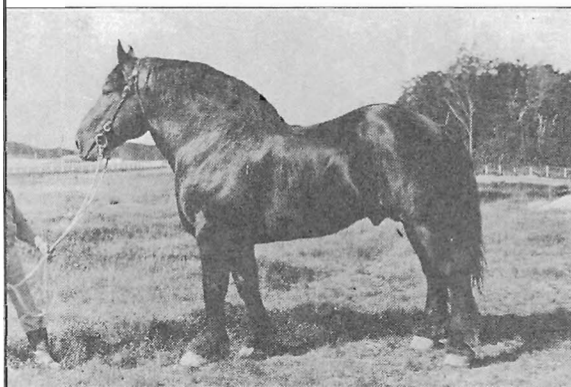
重半 森 神 — ブル キブロク
重系 パトリシャ二世



ネムロリュウジン号

1. 生年月日 昭和48年4月12日
2. 生産地 中標津町
3. 生産者 荒 武
4. 通算成績 128戦13勝
5. 取得賞金額 7,949,000円
6. 性・毛色 雄 青
7. 血統

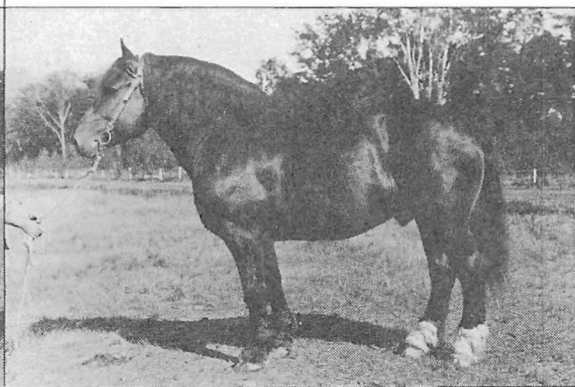
重半 玉 雪 — 中半 玉 根
ベル 初 雪



ハシリコマ号

1. 生年月日 昭和48年4月23日
2. 生産地 池田町
3. 生産者 椿 邦保
4. 通算成績 146戦15勝
5. 取得賞金額 15,053,000円
6. 性・毛色 雄 鹿
7. 血統

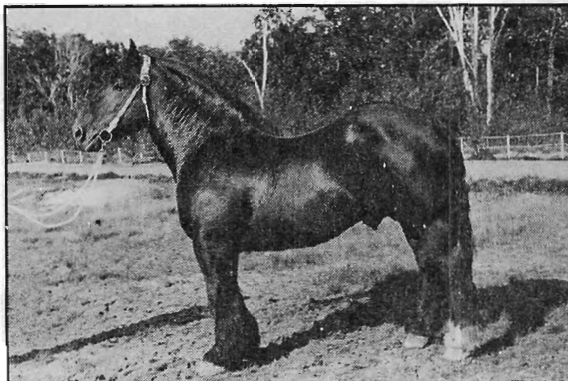
重半 神 玉 — ブル キブロク
ベル 第7エストレッサー



ヒカリオー号

1. 生年月日 昭和48年5月7日
2. 生産地 足寄町
3. 生産者 石井 実市
4. 通算成績 122戦18勝
5. 取得賞金額 10,813,000円
6. 性・毛色 雄 鹿
7. 血統

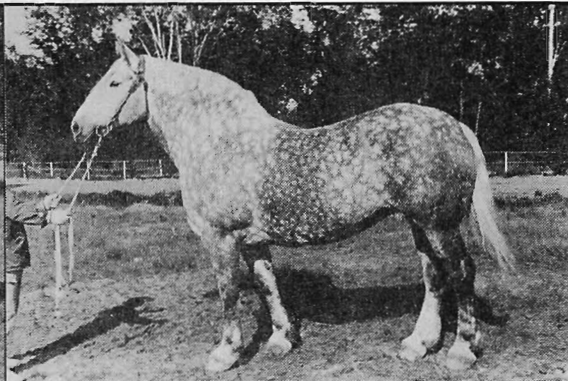
重半 宝 盛 — ブル ソイック
ベル系 第四初姫



ヒダカツバメ号

1. 生年月日 昭和48年4月10日
2. 生産地 浦幌町
3. 生産者 山久保 繁
4. 通算成績 138戦20勝
5. 取得賞金額 18,110,000円
6. 性・毛色 雄青
7. 血統

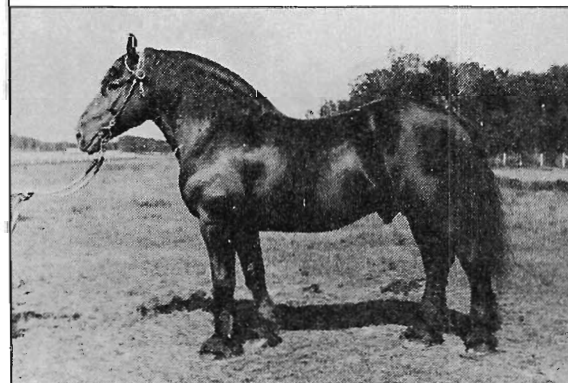
中半 藤 勇 — ブル系 第28コリガン
 — 中半 岩藤の四



ヒメサカエ号

1. 生年月日 昭和48年4月28日
2. 生産地 滝ノ上町
3. 生産者 三島 忠一
4. 通算成績 149戦19勝
5. 取得賞金額 21,469,000円
6. 性・毛色 雌芦
7. 血統

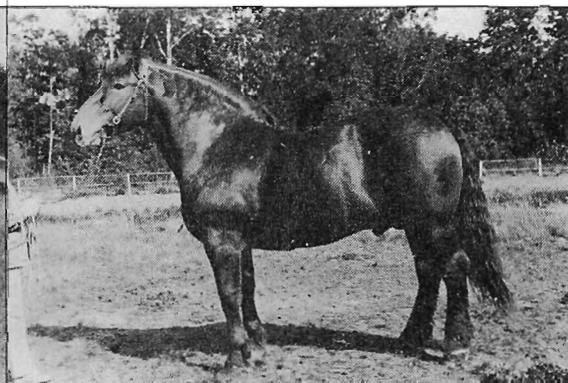
ペル系 優良 — ペル 得良
 — ペル系 優生



フクイチ号

1. 生年月日 昭和48年4月27日
2. 生産地 音更町
3. 生産者 平 潔
4. 通算成績 117戦18勝
5. 取得賞金額 4,431,000円
6. 性・毛色 雄青
7. 血統

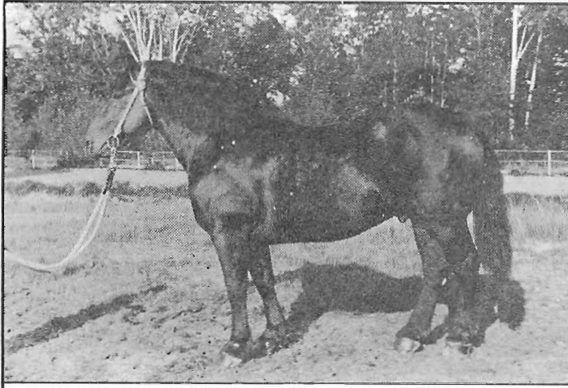
ペル 桜 月 — ペル 詠 旭
 — 重半 五 月



ブルタイガー号

1. 生年月日 昭和48年6月5日
2. 生産地 池田町
3. 生産者 加藤 甚一
4. 通算成績 134戦18勝
5. 取得賞金額 17,637,000円
6. 性・毛色 雄鹿
7. 血統

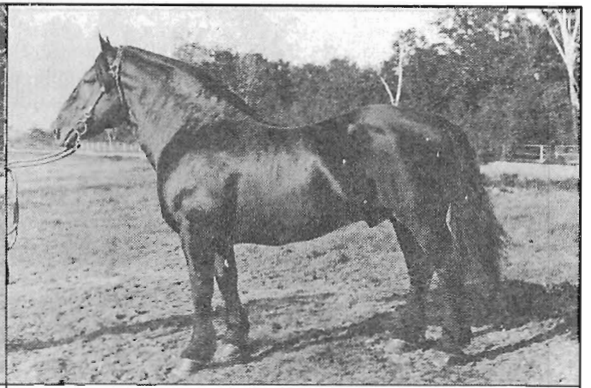
重系 楽 栄 — ペル バトリシア
 — 重半 楽 菊



ポ リ マ ー 号

1. 生 年 月 日 昭和48年4月9日
2. 生 産 地 別海町
3. 生 産 者 沼宮内 勇
4. 通 算 成 績 145戦12勝
5. 取 得 賞 金 額 13,239,000円
6. 性 ・ 毛 色 雄 鹿
7. 血 統

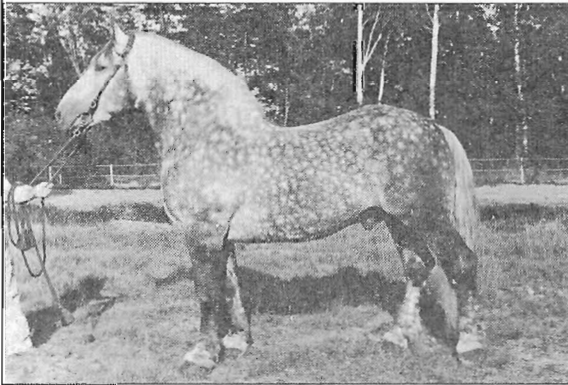
中半 錦 光 — { ブル 陣 宙
重半 福 姫



マ ツ イ サ ム 号

1. 生 年 月 日 昭和48年4月25日
2. 生 産 地 豊頃町
3. 生 産 者 武 内 昭 一
4. 通 算 成 績 115戦20勝
5. 取 得 賞 金 額 14,979,000円
6. 性 ・ 毛 色 雄 鹿
7. 血 統

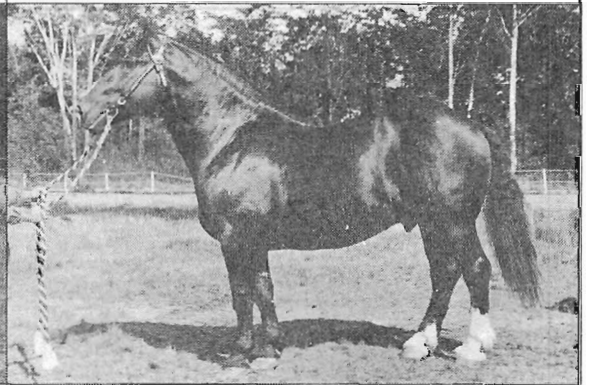
重半 勇 — { ブル 鉄 鯉
ペル系 第五宝



ミ ド リ シ ョ ウ 号

1. 生 年 月 日 昭和48年4月1日
2. 生 産 地 紋遊市
3. 生 産 者 東 川 勝 義
4. 通 算 成 績 120戦21勝
5. 取 得 賞 金 額 22,193,000円
6. 性 ・ 毛 色 雄 芦
7. 血 統

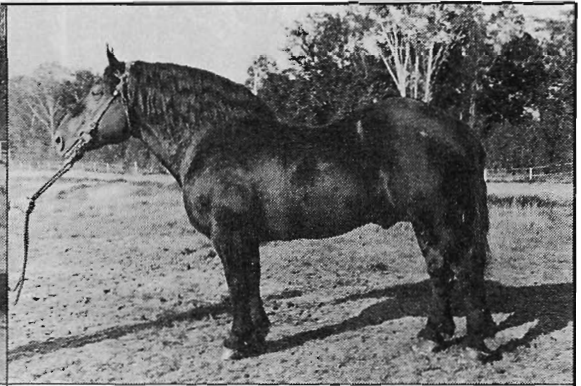
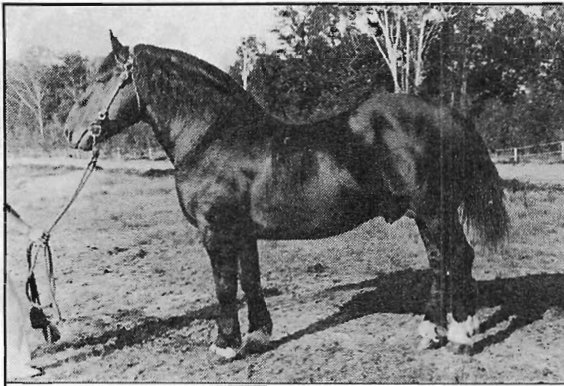
重系 大 洋 — { ペル 楓 朝
重系 栗 幸



ム ツ 号

1. 生 年 月 日 昭和48年5月2日
2. 生 産 地 阿寒町
3. 生 産 者 齋 藤 六 一
4. 通 算 成 績 127戦26勝
5. 取 得 賞 金 額 22,740,000円
6. 性 ・ 毛 色 雄 青
7. 血 統

重系 盛 春 — { ペル 二世ロッシーニ
半血 桜 姫



ユウガオ号

1. 生年月日 昭和48年4月15日
2. 生産地 網走市
3. 生産者 遠藤竹市
4. 通算成績 130戦20勝
5. 取得賞金額 16,298,000円
6. 性・毛色 雄 黒鹿
7. 血統

重系 大成 — ペル 2世 ロッシーニ
 — 半血 初花

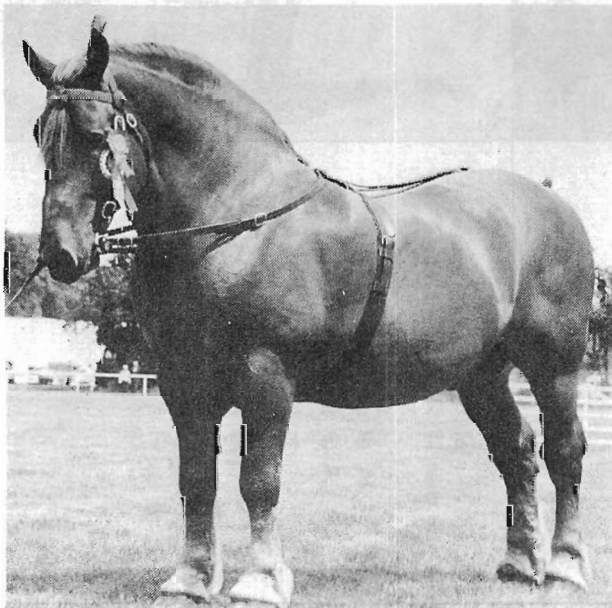
リウリキ号

1. 生年月日 昭和48年4月28日
2. 生産地 幕別町
3. 生産者 助川秋子
4. 通算成績 159戦17勝
5. 取得賞金額 23,923,000円
6. 性・毛色 雌 青
7. 血統

重系 久繁 — ペル 久都
 — 重系 山桜

まだ日本に輸入されたことのない馬の紹介

原産 イギリス サフォーク・ホース



この品種は肢が短く、樽のような軀幹を持っている。産駒は常に栗毛（7頭に1頭は栗毛）。

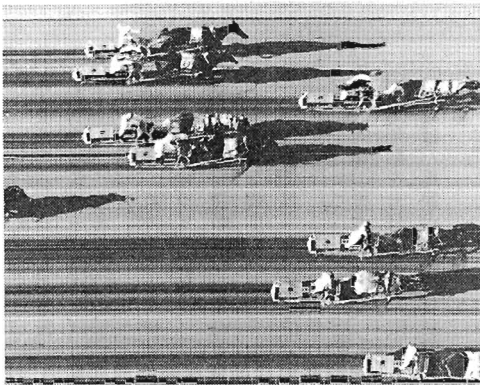
体高は1.65～1.77m、距毛の少ない四肢を持った唯一のイギリス原産の挽馬で、丈夫でおとなしいので飼育しやすく経済的であると言われている。

市宮競馬施行30周年

市宮競馬協議会設立15周年



市営競馬30年の歩み



対面着順写真

28

◎旭川、帯広、北見、岩見沢市営競馬発足

平地 帯広二回九日、旭川、北見

岩見沢各一回一三日 計五回二二日

ばんえい帯広、岩見沢各二回八日旭

川、北見各一回五日計六回一三日合

計一開催三五日間

◎国営競馬は民営移管となり、中央

競馬会が設立される。

32

◎八月北見市営(平地)競馬で馬不足のため、一日ニレースばんえい競走を織り込んだ混成番組を編成

37

◎地方競馬全国協会が設立され、騎手免許、馬登録業務が道から移管

38

◎馬主・調騎会設立

◎地全協による初の騎手免許実施

受験者三七三名、合格者三四六名

◎旭川、U字から直線コースに改善

同じく対面着順写真判定採用

39

◎体型による格付区分を体重制に改正

40

◎丁級馬能力調教検査実施

41

◎道営ばんえい競馬の中止

42

◎地全協より審判委員が派遣される

43

◎北海道市営競馬協議会設立

44

◎初代会長旭川市長五十嵐広三氏、初代事務局長内田靖夫氏就任

45

◎馬主会、騎手会分離独立

46

◎帯広、北見、岩見沢、直線コースに変更

47

◎帯広、北見、岩見沢対面着順写真判定採用

48

◎VTRパトロールの採用

49

◎ガードマンの採用

50

◎騎手服色、靴の統一

51

◎出走馬年齢を一三歳以下に制限

52

◎きゅう舎自衛委員会の設置

53

◎ばんえい競走制裁基準の作制

54

◎薬物検査の実施

55

◎格付区分の名称を甲乙丙丁A丁BからABCDに改正

56

◎拌別帽色及びゼッケンの採用

57

◎ばんえい競走PRのため会報を発刊

58

◎岩見沢総合スタンド落成

59

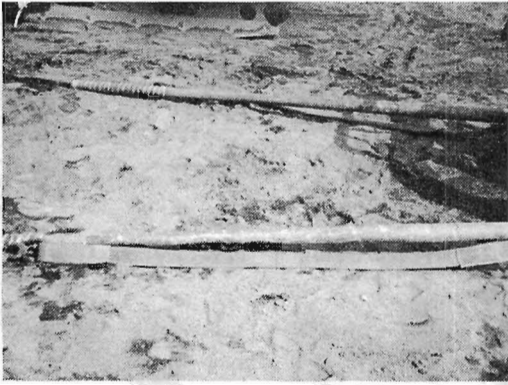
◎対面パトロールタワーを従来の八メートルから一五メートルに改善

60

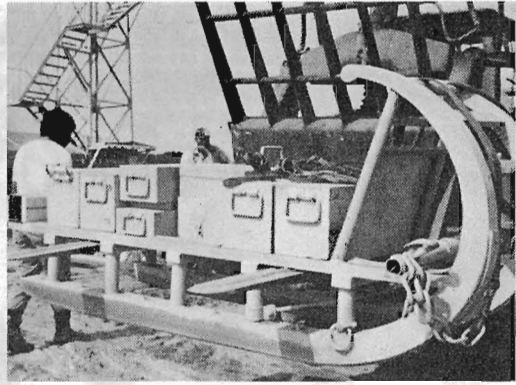
◎開催回数一回増で二二回七二日

61

◎鉄製橋、引木、グラスファイバー



グラスファイバー製かじ棒



鉄製橇

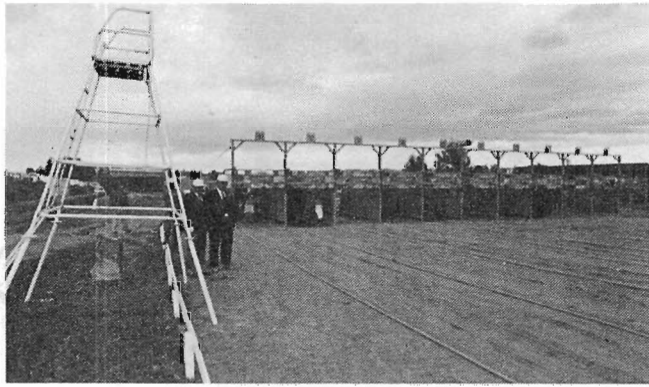
- ◎ 製かじ棒の採用
- ◎ スターティングゲートの設置
- ◎ 騎手重量靴の統一

48

- ◎ 馬資源対策の樹立推進
- (一) 四歳馬レースの新設
- (二) 新馬年齢制限八歳以下
- ◎ 開催回数二回増で一六回九六日
- ◎ 大井競馬場においてばんえいアート

47

- ◎ 開催回数二回増で一四回八四日
- ◎ VTR後方パトロールの増設
- ◎ 着順電光掲示の採用
- ◎ 地全協主催による騎手講習会の開催

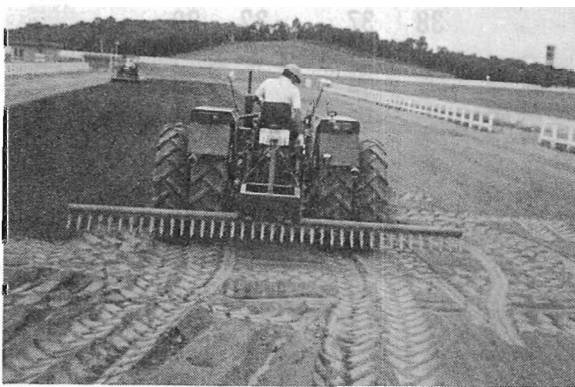


スターティングゲート

- ◎ 調教用鉄橇の整備
- ◎ 騎手試験、秋季に実施
- ◎ 地全協リーディングジョッキー賞新設

49

- ◎ 開催回数一回増で一七回一〇二日
- ◎ 北見競馬場移転新設、帯広競馬場



試作走路整備機

- ◎ ラクシオンを開催
- ◎ VTR前方パトロールの増設
- ◎ 体重制格付区分を取得賞金制に改正
- ◎ 走路整備機、撒水機を試作使用
- ◎ ばんえいハイライト放映
- ◎ きゆう舎馬房調教師割当制の実施
- ◎ きゆう舎管理規則の制定
- ◎ 帯広売得金上昇率全国第一位(一八・五%)
- ◎ 馬資源対策の推進
- (一) 新馬年齢を七歳以下に制限
- (二) 祭典ばん馬競走の保存奨励事業実施

52

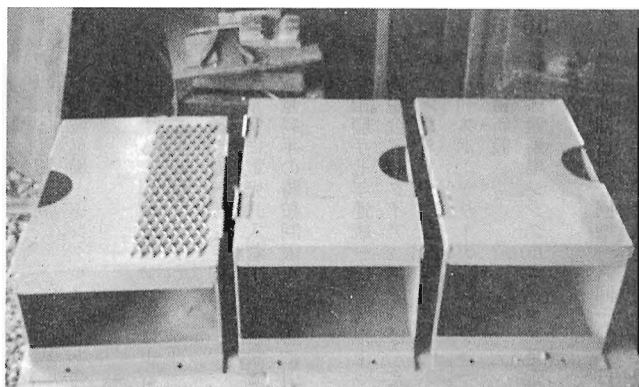
- ◎ 革製乗馬手綱(貸与)の統一
- ◎ 岩見沢競馬場、定額券発売機導入
- ◎ 地方競馬実施条例の全面改正
- カナミ号。
- ◎ 日本馬事協会、競走馬から種牡馬買上げを始める。荒井きゆう舎、タ

51

- ◎ 出走馬年齢を二歳以下に制限
- ◎ ばんえい公正対策推進
- (一) 鉄橇、重量物を全鉄製に改造
- (二) 市協職員を一二名増員
- (三) ガードマンの増員
- ◎ ばんえい競走売得金上昇率一一・八%で二年連続全国一位(全国平均一〇・一%)
- ◎ 出走馬年齢を二歳以下に制限
- ◎ ばんえい公正対策推進
- (一) 鉄橇、重量物を全鉄製に改造
- (二) 市協職員を一二名増員
- (三) ガードマンの増員

50

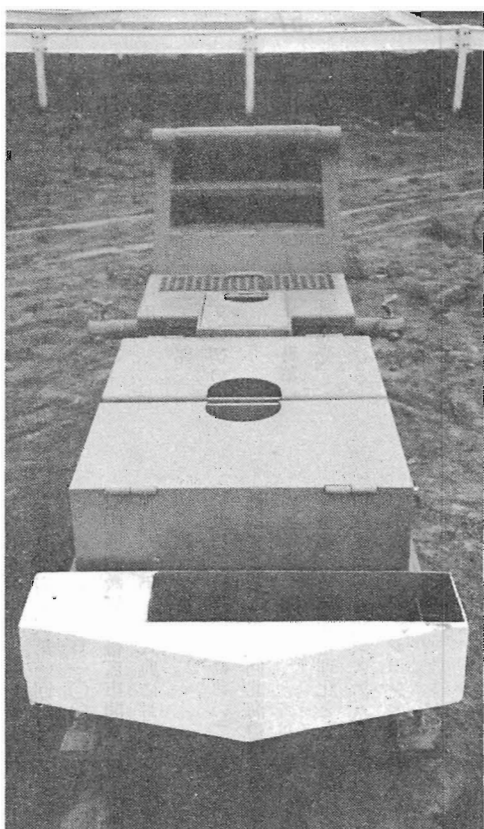
- ◎ スタンド新築落成
- ◎ 帯広、北見、岩見沢第二障害廃止
- ◎ 賞金前年比一九〇%の増額
- ◎ 赤外線水分計による馬場状況湿度表示を実施
- ◎ 減量騎手制度、牝馬減量の実施
- ◎ 調教師服、きゆう務員ズボン統一
- ◎ 北海道市営競馬協議会ばんえい競走生産奨励事業実施要綱の制定
- ◎ 馬診療所開設される
- ◎ ナイロンベルト製の胸引を採用
- ◎ ばんえい鉄橇不正事件発生
- ◎ 市協内田事務局長参与となり、事務局長に鈴木一彦氏が就任
- ◎ 騎手ヘルメット着用統一
- ◎ 新馬年齢制限五歳以下に
- ◎ 旭川競馬場移転新設落成
- ◎ ばんえい競走売得金上昇率一三〇%で全国一位(全国平均一〇三%)
- ◎ ばんえい競走売得金上昇率一一・八%で二年連続全国一位(全国平均一〇・一%)



箱型重量物 (全鉄製)



積載重量物 (全鉄製)



全鉄製棧 (2号)



けり止設置棧

53

◎調教騎手、騎乗騎手の兼業禁止(調騎分離)となる。

◎調騎会勇退退職給付制度発足

◎出走馬年齢を一〇歳以下に制限

◎市協創立一〇周年記念事業として

市協前事務局長内田靖夫氏執筆による「ばんえいまんがどくほん」発刊

◎ばんえい騎手提要完成

◎宇都宮競馬場において、ばんえい

アトラクション開催

◎棧の鼻木前方にけり止を設置

◎調教師服を紺の背広上下に統一
◎北海道ばんえい競馬馬主調騎会設立一五周年記念式挙行

54



走路撤水機

◎重賞競走用に紫色のゼッケンを採用

◎北見競馬場、シングルユニット発売機導入

◎走路整備用として横動式ワイドハローを二台購入

◎わらび型へのハミかんの嵌入防止のため胸締めキャップを採用

◎積載重量物の配置基準表を作成

◎防塵対策として、走路撤水機導入

◎岩見沢競馬場において、ファン投票による四・五歳選抜ボブ賞競走

実施

◎岩見沢競馬場において、ファン投票による四・五歳選抜ボブ賞競走

実施

◎岩見沢競馬場において、ファン投票による四・五歳選抜ボブ賞競走

実施

55

◎金山騎手、六年連続一〇〇勝以上
通算八〇〇勝達成

◎旭川競馬場、シングルユニット発売機導入

◎引退する一〇歳オープン馬による螢の光賞を新設

◎重賞競走の一部を定量化

◎検査室に電光式入着掲示板を設置

◎減量騎手の勝鞍制限を二五勝に引上げる

◎金山騎手七年連続一〇〇勝以上

◎馬主会とのタイアップで「ばんえいカレンダ―」二万部製作

◎日刊スポーツリレーディングジョッキ―賞新設

56

◎帯広競馬場シングルユニット発売機導入

◎開催回数一回増一八回一〇八日

◎岩見沢競馬場で八月三日から三日間にわたる集中豪雨のため新きゅう舎を中心に床上浸水等の被害

◎雪化粧の北見最終日、芦毛指定馬の「白馬賞」を実施

◎胴引はずれ防止ひもの採用

◎売得金総額前年対比九二・二%、一日平均八七・一%のばんえい初の大巾なダウンとなる

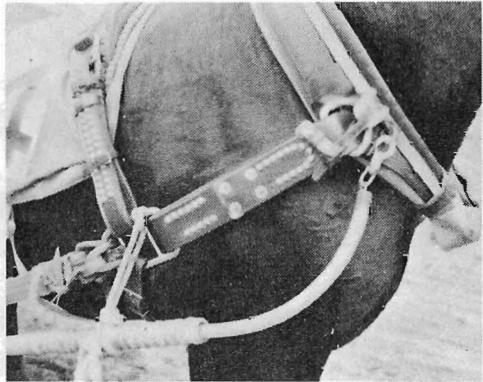
57

◎帯広競馬場において北見競馬第四、五回（一二日間）を場外発売、四億四四〇〇万円の好成績をあげる

◎開催回数二回増二〇回一二〇日

◎売得金一日平均前年対比が九〇・六%と二年連続のダウン

◎重賞競走の一着馬の生産者に対し生産者賞を支給



かじ棒絡み防止装置

◎地全協より発走委員が全開催派遣

◎かじ棒絡み防止装置を旭川競馬の初回から採用

◎金山騎手年間一〇〇勝以上八度目となり、岩見沢第一回第三日第一レースにおいて通算一〇〇〇勝を達成

◎中西調教師、帯広市開基百年市制施行五〇年記念式典において「産業功労賞」受賞

◎九日三日帯広市において、本会の補助による「第一回北海道優良種雄馬展示会」開催

◎番組、賞典の合理化として、中央情報処理電算化システム導入

◎機ひざ当クッションの設置

◎重賞競走用ゼッケンに馬名を記入した名札を挿入

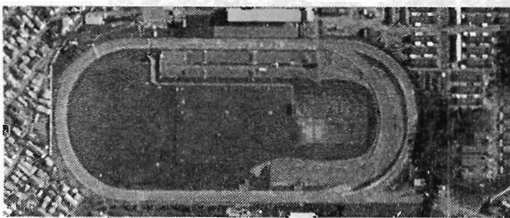
所在地 旭川市神居町上雨粉500
走路 平地 1,300 m
ばんえい 200 m

旭川



所在地 帯広市西13条南9丁目
走路 平地 1,570 m
ばんえい 200 m

帯広



所在地 北見市若松306番地
走路 平地 1,300 m
ばんえい 200 m

北見



所在地 岩見沢日の出444番地
走路 平地 1,200 m
ばんえい 200 m

岩見沢



北海道市営競馬協議会15年のあゆみ

事務局長 鈴木 一彦

昭和四十一年に道営のばんえい競走は中止となり、市営競馬はばんえい競走を専門に開催することになった。その当時の各市の執務員数は少く、市の職員だけでは開催は無理であったことと、将来に

つて四市の一部事務組合設立の足固めとして、昭和四十二年にばんえい競馬専門職員の団体を設立しなければならぬという気運が高まり、昭和四十三年二月に北海道市営競馬協議会が設立されました。旭川市長であった五十嵐広三氏を会長とし、札幌市中央区北五条西四丁目北海道労働会館五階に事務局を設置し、内田事務局長以下職員9名で業務を開始致しました。

本会の主な任務を二、三あげますと、競馬運営上の連絡調整

競馬専門職員の派遣と練成
施設及び競走用具の改善

等でありまして、本会設立の昭和四十三年からは、ばんえい競走のプロ化の推進と近代化に向っての幕あけとなった。

市営競馬協議会の歴史は、ばんえい競走の近代化と公正化に向っての改善につぐ改善の歴史と云うことになりましたが、昭和四十三年以降十五年間にわたる本会の歩みを述べてみたい。

昭和四十四年

帯広・北見・岩見沢の三場で対面着順判定写真を採用し、当時としては平地でも使用していないVTRによるパトロール写真の新技术を採用し公正確保に努めた。また、近代化に向って騎手服の指定と長靴の統一を実施した。売得金は二〇

億九千万円に上昇し、上昇率は一五四・七%の驚異の上昇率を示し、新記録となつた。

昭和四十五年

農林省の指示により薬物検査が実施され、また連勝枠別帽色とゼッケンが採用され、競馬は一段とカラフルになった。ばんえいのPR紙として、本会の会報第一号を作成し、関係者に配布した。

昭和四十六年

道を含めた五主催者による、一部事務組合設立の気運が高まってきたが、諸般の情勢から残念乍ら日の目を見る事ができなかった。それで、本会の執務体制の強化をすべきだと言うことで、職員も十五名に増員され、技術面の改善として、鉄そりとグラスファイバー製のかじ棒の採用スターティングゲートの新設等により、近代化と公正化に大幅な前進がみられた。

昭和四十七年

売得金は五十億円を突破し、上昇率は一三五・五%と大幅な伸びを示し、パトロール用VTRをスタート側に一台の増設とガードマンの導入により公正確保に努め、また着順の電光掲示板を新設し施設改善を図つた。

昭和四十八年

近代ばんえいの黎明の年であった。プロ化の第一歩としてきゆう舎関係者の経済安定化を図るため、賞金は前年比五六%増の二億五、五〇〇万円に増額し、開催回数は十六回となり売上は念願の一〇

〇億円を突破し、一日平均上昇率は一六五・三%の記録的な好成绩で終了した。番組面では体重別格付区分を取得賞金別区分とする大改革を実施し、また馬産関係では、祭典ばん馬保存奨励事業を予算化した。PR関係では、ばんえいハイライトのテレビ放映が開始され、大井競馬場においては、ばんえいアトラクションを実施する等、全国にばんえいの名を広めた。

昭和四十九年

本会の会長に松本勇旭川市長が就任された。開催回数は一七回に増え、賞金は前年比一九〇%の大幅増額となり、売上も一三六%の一四五億円に上昇した。競走面では第二砂障害の廃止、技術面では赤外線水分計で測定した馬場水分の発表、ゴールの照明灯の設置、対面タワーからのテレビ送像装置の新設、また毎年一万頭以上も減少し続ける農用馬管理者奨励金の交付を予算化し、事業開始後八年目にしてやっと昭和五十六年度からその雪崩現象から抜けることができた。なお、本会事業として、獣医師二名により、馬診療所が開設された。

昭和五〇年

本会の機構改革を実施し、二課四係に専門職と参与の職制を設け、鈴木事務局長以下二八名の体制となった。当年はオイルショックの後遺症で全国の上昇率は一〇一・一%に留まったがばんえいは二桁台の一・二・八%を確保する成績で終了したもの、あの悪夢のようなそり仕

掛事件が八月に発生し、抜本的な施行体制の改革をせまられ、この事件を契機として、十月に旭川市長から一部事務組合設立の提案がなされた。

昭和五一年

前年度の不祥事件の対策として、ばんえい史上で最も大きい改革の年となった。まず、執務体制の強化を第一とし、職員を九名増員し、嘱託職員を含めて三八名体制とした。一方ガードマンの増員による警備体制の強化、パトロールVTRを五台にする監視体制の強化、競走用そり及び重量物の抜本的な改善と、それ等を開催日に毎日検量を実施する等、公正確保に全精力を投入した年であった。

昭和五二年

本会も設立十年目を迎え、執務体制は六名増員でさらに強化され、四四名で執務することになった。運営面における改善は条例、規則の全面改正、制裁基準の一部改正、本会会長が認定するきゅう務員認定制度の設置、調騎完全分離等が実施され、施設面では岩見沢競馬場のトーター導入、競走用具では胴引の改良及び乗馬手綱の採用、スターティングゲートに「舟」を取付ける等の大改善を実施した。しかし、七月に走路内異物混入事件が発生し、再発防止のため走路の監視体制の抜本的見直しが行なわれることになった。売得金については念願の二〇〇億円を突破した。

昭和五三年

本会の会長に坂東徹旭川市長が就任さ

れた。前年発生の不祥事件の再発防止対策として、「走路点検要領」を設置し、走路監視用VTRカメラ二台による二四時間監視体制と、ガードマン二名による夜間監視を実施した。競走用具の改善では、胴引かけ金の改良、ゲート前扉の軽量化、ラッチレバーの改良、整馬ランプ設置による突進防止、ワイドロータリーハローと散水機の試作完成、走路水分の電光掲示等の改善がなされた。PR関係では、内田靖夫氏執筆による「ばんえいまんがどくほん」を十周年記念として発刊した。

昭和五四年

昭和五一年から始まった執務体制の増員計画に基づき、新規職員三名を採用、職員三三名嘱託一三名の四六名体制に強化された。競走用具の改善は、蹴傷防止のためそりのハナ木に「けり止」を設置し、また「胸締キヤップ」の装着を義務づけ、ハミカン嵌入事故を完全に解消することができた。第二障害専用VTR二台ときゅう舎正門ガードマン詰所に二四時間監視用VTRを新設した。北見競馬場にシングルユニット方式のトーターが導入された。

昭和五五年

地方競馬の全国的不振を後目に前年比一一・九%の二六九億円を売上げ、入場者は大望の五〇万人を突破して、五三万五八〇名の好成績であった。施行面では制裁基準の一部改正、地全協業務方法書の改正に伴う職能分離、パトロール用VTRのカラー化、検量室に電光式入

着表示板の新設等を実施し、また旭川競馬場にシングルユニット方式のトーターが導入された。PRでは馬主会とタイアップして「ばんえいカレンダー」を制作無料配布して好評を得た。

昭和五六年

全国的経済不況に加えて、二年続きの冷害、八月の集中豪雨と一五号台風による農作物の大被害のダブルパンチを受け、順風満帆で伸び続けた売上はばんえい史上かつて経験したことのない前年比八七・一%の不振な成績であった。公正確保では、制裁基準の改正、きゅう舎関係者の研修の強化等を実施し、期間で制裁処分が一件もない、いわゆるパーフェクトゲームを二回達成することができた。開催回数は省令の改正による、一回増の一八回となり、また帯広競馬場にトーターが導入され、四場共に電算化された。競走用具の改善では、胴引はずれ防止ひもの採用により事故の発生防止ができた。

昭和五七年

二年連続の売上低下で、本年も上昇率は九〇・六%に低下し、総売上は開催増と場外発売でやっと前年の売上を確保できた。施行面では開催回数二回増の二〇開催、寒冷密集地域指定の火、水曜日開催、電算化システム採用による端末機の設置、北見競馬場の帯広場外発売等を実施した。本会の執務体制は、職員三四名嘱託二一名合計五五名に加えて地全協から発走委員が新規に派遣され、執務体制は強化された。公正確保では、競走中の

事故対策で最も遅れをとっていたかじ棒がらみ防止に「かじ棒がらみ防止装置」を考察採用し、事故発生皆無の実績をつかった。

結びに

昭和四三年、職員九名、予算総額一六、五三二、〇〇〇円で発足した本会も、一五年を経過した今日は、職員数において約六倍の五五名、予算総額においては約三三倍の五四九、〇〇〇、〇〇〇円の規模まで成長し、ばんえい競馬の専門職の団体として「競走の公正は競馬のすべてである」ことをモットーとし競馬運営にあらゆる努力を惜しまず邁進する所存でありますのでよろしくご指導ご鞭撻下さいますことをお願い申し上げます。

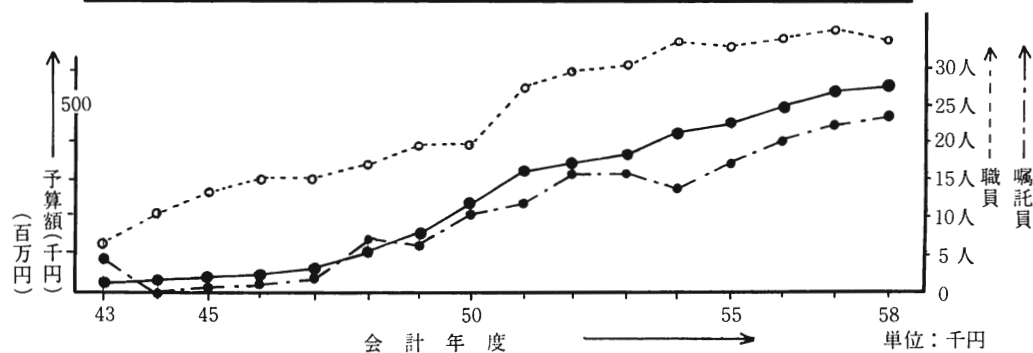


市営競馬施行30年の発売額及び出走頭数調

勝馬投票券発売成績累年比較

| 年度 | 入場人員 | 頭数 | 市 営 競 馬 | | | | 道営（ばんえい）競馬 | |
|----|---------|--------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|
| | | | 一 般 競 馬 | | ば ん え い 競 馬 | | 日数 | 発 売 総 額 |
| | | | 日数 | 発 売 総 額 | 日数 | 発 売 総 額 | | |
| 24 | | | | | | | 4 | 6,577,700 |
| 25 | | | | | | | 5 | 5,382,600 |
| 26 | | | | | | | 12 | 24,239,900 |
| 27 | | | | | | | 12 | 32,135,700 |
| 28 | | | 22 | 44,815,800 | 7 | 17,837,800 | 14 | 31,537,800 |
| 29 | | | 14 | 26,003,800 | 14 | 34,094,200 | 9 | 20,444,700 |
| 30 | | | 6 | 9,385,800 | 16 | 40,904,500 | 14 | 28,464,300 |
| 31 | | | 4 | 8,580,500 | 19 | 54,130,700 | 12 | 36,221,400 |
| 32 | 26,467 | | 8 | 14,500,800 | 22 | 66,912,900 | 17 | 47,667,900 |
| 33 | 34,030 | | 3 | 8,355,500 | 30 | 94,631,700 | 18 | 47,976,400 |
| 34 | | | 3 | 7,159,500 | 28 | 108,601,100 | 19 | 68,544,700 |
| 35 | 32,507 | | 4 | 11,140,500 | 30 | 119,002,200 | 22 | 91,956,600 |
| 36 | 36,420 | | 4 | 13,134,900 | 31 | 152,508,000 | 18 | 77,460,000 |
| 37 | 40,155 | 6,173 | | | 38 | 224,493,600 | 9 | 45,423,300 |
| 38 | 51,951 | 7,161 | | | 46 | 327,798,600 | 9 | 50,902,300 |
| 39 | 50,522 | 8,429 | | | 50 | 409,611,000 | 12 | 91,281,700 |
| 40 | 57,797 | 8,651 | | | 50 | 435,669,500 | 12 | 96,715,400 |
| 41 | 82,834 | 9,112 | | | 66 | 806,805,500 | | |
| 42 | 97,312 | 8,559 | | | 66 | 1,050,055,400 | | |
| 43 | 112,617 | 7,544 | | | 66 | 1,351,840,300 | | |
| 44 | 147,509 | 6,525 | | | 66 | 2,092,862,900 | | |
| 45 | 156,854 | 6,628 | | | 66 | 2,487,040,400 | | |
| 46 | 195,904 | 6,221 | | | 72 | 3,374,631,500 | | |
| 47 | 253,011 | 7,175 | | | 83 | 5,272,392,900 | | |
| 48 | 331,677 | 8,377 | | | 96 | 10,073,167,900 | | |
| 49 | 437,119 | 8,751 | | | 102 | 14,548,707,000 | | |
| 50 | 430,236 | 8,781 | | | 102 | 16,421,495,500 | | |
| 51 | 490,926 | 8,683 | | | 102 | 19,305,519,900 | | |
| 52 | 483,810 | 8,800 | | | 102 | 20,053,081,900 | | |
| 53 | 485,302 | 8,834 | | | 102 | 22,533,991,600 | | |
| 54 | 498,218 | 9,129 | | | 102 | 24,290,300,800 | | |
| 55 | 535,480 | 9,364 | | | 102 | 26,903,395,900 | | |
| 56 | 507,577 | 9,944 | | | 108 | 24,801,974,300 | | |
| 57 | 481,734 | 11,676 | | | 120 | 24,973,885,200 | | |

年度別予算額及び職員・嘱託員数調



| 年度 | 区分 | 一般会計 | 馬衛生事業会計 | 計 | 合計 | 職員数(人) | |
|----|----|---------|---------|---------|---------|--------|-----|
| | | | | | | 職 | 嘱託員 |
| 43 | 当初 | 15,390 | | 15,390 | 16,532 | 職 | 6 |
| | 補正 | 1,142 | | 1,142 | | 嘱託員 | 4 |
| 44 | 当初 | 20,826 | | 20,826 | 21,140 | 職 | 10 |
| | 補正 | 314 | | 314 | | 嘱託員 | 0 |
| 45 | 当初 | 29,409 | | 29,409 | 32,955 | 職 | 13 |
| | 補正 | 3,546 | | 3,546 | | 嘱託員 | 1 |
| 46 | 当初 | 41,880 | | 41,880 | 42,764 | 職 | 15 |
| | 補正 | 884 | | 884 | | 嘱託員 | 2 |
| 47 | 当初 | 6,1468 | | 61,468 | 65,804 | 職 | 15 |
| | 補正 | 4,336 | | 4,336 | | 嘱託員 | 3 |
| 48 | 当初 | 97,605 | | 97,605 | 110,526 | 職 | 16 |
| | 補正 | 12,921 | | 12,921 | | 嘱託員 | 6 |
| 49 | 当初 | 142,713 | 16,975 | 159,688 | 168,043 | 職 | 18 |
| | 補正 | 8,330 | 25 | 8,355 | | 嘱託員 | 6 |
| 50 | 当初 | 188,174 | 17,981 | 206,155 | 226,904 | 職 | 18 |
| | 補正 | 17,851 | 2,898 | 20,749 | | 嘱託員 | 10 |
| 51 | 当初 | 270,903 | 22,370 | 293,273 | 338,538 | 職 | 27 |
| | 補正 | 39,675 | 5,590 | 45,265 | | 嘱託員 | 11 |
| 52 | 当初 | 311,964 | 30,531 | 342,495 | 360,541 | 職 | 29 |
| | 補正 | 13,975 | 4,071 | 18,046 | | 嘱託員 | 15 |
| 53 | 当初 | 330,619 | 37,443 | 368,062 | 388,901 | 職 | 30 |
| | 補正 | 16,543 | 4,296 | 20,839 | | 嘱託員 | 15 |
| 54 | 当初 | 373,983 | 47,137 | 421,120 | 435,523 | 職 | 33 |
| | 補正 | 10,534 | 3,869 | 14,403 | | 嘱託員 | 13 |
| 55 | 当初 | 396,377 | 55,232 | 451,609 | 461,403 | 職 | 32 |
| | 補正 | 9,375 | 419 | 9,794 | | 嘱託員 | 16 |
| 56 | 当初 | 417,553 | 53,022 | 470,575 | 503,387 | 職 | 33 |
| | 補正 | 12,810 | 20,002 | 32,812 | | 嘱託員 | 18 |
| 57 | 当初 | 452,271 | 91,298 | 543,569 | 549,000 | 職 | 34 |
| | 補正 | 5,431 | — | 5,431 | | 嘱託員 | 21 |
| 58 | 当初 | 474,325 | 94,979 | 569,304 | | 職 | 33 |
| | 補正 | | | | | 嘱託員 | 22 |

本 会 職 員 名 簿

職 員

| 氏 名 | 役 職 名 | 開催執務委員名 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
|-------|-------|---------|----|----|----|--------|----|--------|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|
| 鈴木 一彦 | 事務局長 | 副 委 員 長 | | | | | | (7.11) | | | | | | | | | |
| 堀 武夫 | 庶務課長 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大原 尚 | 業務課長 | 公 正 審 判 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 室田 武司 | 専 門 職 | 投 票 | | | | (4.12) | | | | | | | | | | | |
| 中村 克一 | " | 整 理 本 部 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 横井 規雄 | 庶務第一係 | 総 務 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 斉藤 初男 | 庶務第二係 | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 串岡 博 | 業務第一係 | 馬 場 管 理 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中岡 英則 | 業務第二係 | 番 組 編 成 | | | | | | (6.1) | | | | | | | | | |
| 奥山 為男 | 主 査 | | | | | | | | | | | | (6.1) | | | | |
| 岩崎 善雄 | " | 発 走 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 穴吹 孝 | 技 師 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神谷 義昭 | 主 事 | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 滝田 穰二 | " | 総 務 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工藤 洋樹 | 技 師 | 整 理 本 部 | | | | | | (5.15) | | | | | | | | | |
| 新留 康文 | " | 獣 医 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 浜野 悟 | 主 事 | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本宿 芳一 | 技 師 | 検 量 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 安藤 修二 | 主 事 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 黒川 慎治 | " | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 番場 久雄 | " | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 源通 篤 | 技 師 | 決 勝 判 定 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 庄野 和洋 | 主 事 | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 古館 整 | " | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 渡辺 達生 | " | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 波能 勝則 | 技 師 | 番 組 編 成 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 広田 嘉章 | 主 事 | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本川 高雄 | 技 師 | 番 組 編 成 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 泉田盛雄 | " | 決 勝 判 定 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南 政博 | " | 番 組 編 成 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三浦 俊幸 | " | 馬 場 管 理 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 川岸 裕司 | " | 走 路 監 視 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木村 久夫 | 主 事 | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | |

| 氏名 | 役職名 | 開催執務委員名 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
|-------|-----|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 金子 直樹 | 技師 | 獣医 | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

職員退職者

-----は嘱託期間

| 氏名 | 役職名 | 開催執務委員名 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
|-------|--------|---------|----------|----|----|----|----|----|-----------------|----|----|----|-------|----|----|----|-----------|
| 内田 靖夫 | 前事務局長 | 公正審判 | ← | | | | | | | | | | ----- | | | | |
| 小路口 司 | " 庶務課長 | " | ← | | | | | | | | | | ----- | | | | |
| 角田 正義 | " | 投票 | (1.11) ← | | | | | | (7.10) → | | | | | | | | |
| 藤沢 博 | " | | | | | | | | | | | | | | | | ----- |
| 桑山 和子 | | | | | | | | | | | | | | | | | (5.31) → |
| 金谷 明彦 | | | | | | | | | | | | | | | | | (12.31) ↔ |
| 秋山 光雄 | 前主事 | 投票 | | | | | | | (4.12) ↔ (6.30) | | | | | | | | |
| 地徳登美枝 | " | | | | | | | | (5.17) ↔ (3.15) | | | | | | | | |
| 近藤 裕二 | " | 総務 | | | | | | | | | | | | | | | (4.25) → |
| 福島 正訓 | " 技師 | 獣医 | | | | | | | | | | | | | | | (3.26) ↔ |
| 飯田 裕美 | " 主事 | | | | | | | | | | | | | | | | (7.30) ↔ |
| 土井 伸幸 | " 技師 | 獣医 | | | | | | | | | | | | | | | (10.31) ↔ |
| 勝 泰彰 | " | " | | | | | | | | | | | | | | | (1.31) ↔ |
| 林 聡 | " | " | | | | | | | | | | | | | | | (2.1) ↔ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

嘱託員

-----は職員期間

| 氏名 | 役職名 | 開催執務委員名 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
|-------|-----|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| 藤沢 博 | 嘱託員 | 獣医 | | | | | | | | | | | | | | | ----- |
| 五十嵐武衛 | " | 場内整理 | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 桐林 義雄 | " | " | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 高野 邦彦 | " | 走路監視 | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 小川 正則 | " | 獣医 | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 吉本 勇雄 | " | 場内整理 | | | | | | | | | | | | | | | (9.1) ← |
| 武田 道夫 | " | 獣医 | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 岡田 一義 | " | " | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 高宮 寿男 | " | " | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 村上 祐吉 | " | 投票 | | | | | | | | | | | | | | | ← |
| 三浦 公夫 | " | 走路監視 | | | | | | | | | | | | | | | ← |

| 氏名 | 役職名 | 開催執務委員名 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
|-------|-----|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 倉本 光尊 | 囑託員 | 獣 医 | | | | | | | | | | | | | | ← | ← |
| 駒井 查 | " | 場 内 整 理 | | | | | | | | | | | | | | ← | ← |
| 前塚 武 | " | 獣 医 | | | | | | | | | | | | | | ← | ← |
| 深谷 逸郎 | " | 発 走 | | | | | | | | | | | | | | ← | ← |
| 田頭 政男 | " | 走 路 監 視 | | | | | | | | | | | | | | ← | ← |
| 鷺見 陽一 | " | 馬 場 管 理 | | | | | | | | | | | | | | ← | ← |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

退 職 者

| 氏名 | 役職名 | 開催執務委員名 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
|-------|------|---------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|
| 内田 靖夫 | 前囑託員 | 公 正 審 判 | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ← | → | | | | | | |
| 小路口 司 | " | " | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ----- | ← | → | ← | → | | | | |
| 広川 健治 | " | 獣 医 | | | (6.20) | | | | | | | | (11.30) | | | | |
| 佐川 良太 | " | 走 路 監 視 | | | (5.17) | | | | | | | | | | | (11.30) | |
| 光石 基 | " | 馬 場 管 理 | | | | (5.16) | | | | | | | | | | | |
| 和田 三郎 | " | 場 内 整 理 | | | | | (7.26) | | | | | (11.30) | | | | | |
| 横田 義信 | " | 投 票 | | | | | (8.1) | | | | | | | | | | |
| 岡田 克巳 | " | 獣 医 | | | | | | (4.9) | | | | | (11.30) | | | | |
| 中村 正明 | " | 走 路 監 視 | | | | | | | | (11.30) | ↔ | | | | | | |
| 畑山 鉄男 | " | 検 量 | | | | | | | | | ← | → | | | | | (11.30) |
| 佐藤 辰雄 | " | 場 内 整 理 | | | | | | | | | (11.30) | ↔ | | | | | |
| 黒田 一三 | " | 走 路 監 視 | | | | | | | | | (11.30) | ↔ | | | | | |
| 水木 金吾 | " | 場 内 整 理 | | | | | | | | | (11.30) | ↔ | | | | | |
| 清水上邦男 | " | 投 票 | | | | | | | | | | | (11.30) | | | | |
| 松尾 信三 | " | 馬 場 管 理 | | | | | | | | | | ← | → | | | | (11.30) |
| 阿部 信男 | " | 発 走 | | | | | | | | | | ← | → | | | | (12.31) |
| 梅原 正 | " | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | (11.30) |
| 佐々木高一 | " | 場 内 整 理 | | | | | | | | | | | | | (11.30) | | |
| 荒谷 春義 | " | 投 票 | | | | | | | | | | | | | | | (12.31) |
| 菅原 隆光 | " | " | | | | | | | | | | | | | | | (11.30) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

昭和58年度市営競馬日程表(予定)

旭川 北見 帯広 岩見沢

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|------|----|----|
| 4月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | ⑳/29 | 30 | |
| 5月 | ① | 2 | ③ | 4 | ⑤ | 6 | 7 | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉑ | 30 | 31 |
| 6月 | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | ⑰ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | ⑳ | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 7月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ㉑ |
| 8月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | ⑦ | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | ⑭ | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | ⑳ | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | ㉑ | 29 | 30 | 31 |
| 9月 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | ⑳/23 | 24 | ㉑ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 10月 | 1 | ② | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | ⑨ | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | ⑮ | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | ㉑ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | ㉒ | 31 |
| 11月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | ⑥ | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | ⑬ | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | ⑳ | 21 | 22 | ⑳/23 | 24 | 25 | 26 | ㉑ | 28 | 29 | 30 | |

昭和58年度道営競馬日程表(予定)

函館 岩見沢 旭川 帯広 札幌

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|------|----|----|
| 4月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | ⑳/29 | 30 | |
| 5月 | ① | 2 | ③ | 4 | ⑤ | 6 | 7 | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉑ | 30 | 31 |
| 6月 | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | ⑰ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | ⑳ | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 7月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ㉑ |
| 8月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | ⑦ | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | ⑭ | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | ⑳ | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | ㉑ | 29 | 30 | 31 |
| 9月 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | ⑳/23 | 24 | ㉑ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 10月 | 1 | ② | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | ⑨ | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | ⑮ | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | ㉑ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | ㉒ | 31 |
| 11月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | ⑥ | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | ⑬ | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | ⑳ | 21 | 22 | ⑳/23 | 24 | 25 | 26 | ㉑ | 28 | 29 | 30 | |



昭和58年 3月

札幌市北区北10条西4丁目北海道畜産会館2階 (TEL) 代表742—5345